安全衛生委員会

産業医　北村　龍彦、健康管理センター

近森会グループ安全衛生委員会は、現在 31 名で活動している。(表 1～2)

2022 年度の定期健康診断の受診率は 99.9%とほぼ 100%に近い受診率を保っている。また、運動機能検査は新型コロナ感染対策（以下コロナ対策）の為、休止中であるが、来年度からは一部実施を再開し、健康寿命延伸へ向けた取組を進めていきたい。（図 1～2、表 3・4-1～2）

有所見率についてみてみると、全国と高知県との比較（BMI 除外）では、全国は 58.7%、高知県は 63.7%、近森会グループは 42.4%と、県・全国の平均より低い。項目別では、血圧・血中脂質・肝機能などは低い割合になっている。（図 3）この理由は当グループの特性として、女性が多い職場（受診者における男女比は約 3 : 7、年齢比 ; 39 歳以下と 40 歳以上で約 6 : 4、平均年齢 ; 38.0 歳）であると考えられる。また、当グループでの年次推移（BMI 含む）では、有所見率の高い項目は BMI・血中脂質・肝機能・貧血・血糖と例年同様である。（図 4）これらの項目については、健診後のフォロー（産業医面談や保健指導、状況確認など）を実施している。（図 14-1～6、表 13-1～6）性差・年齢別では、全体として男性の有所見率が高い。性差の目立つ項目として男性は BMI･血圧･肝機能が高く､女性においては貧血が高い傾向にある。年齢別ではやはり 40 歳以上の有所見率が高い。（図 5-1～4）以上の結果より、女性の貧血対策を継続すること、また、中高年者（特に男性）を中心に、健康なうちからの生活習慣病対策が重要であることが分かる。

メタボリックシンドローム年次推移（40 代以上）では、有病者及び予備軍に該当する者が、男性に多い傾向は過去数年と同様である。（図 6-1～3、表 5-1～3）

メタボリックシンドロームの有病者および予備軍に該当する者に対しては、近森会健康保険組合（以下健康保険組合）からの委託を受けて特定保健指導（以下特保）を実施しており、今年度の実施件数は 36 件であった。また、特保の対象者以外へも独自の基準を設け保健指導の勧奨を行い 24 件の保健指導を実施した。健診結果表のコメント記載による指導勧奨のみでは申出者が少ない為、来年度に向けて代替案を検討し、健診後の対応をより積極的かつ丁寧に行いたいと考える。引き続き生活習慣の改善等の対策により、職員の健康寿命の延伸および健康リスクの低減に努めていきたい。

特定業務従事者健診は、電離放射線、特定化学物質・有機溶剤、深夜勤に従事する方を対象として年 2 回実施している。

電離放射線対策として、2021 年 4 月から電離放射線障害防止則（眼の水晶体の被ばく限度の引き下げなど）の改正に伴う眼の被ばく線量低減対策が必要となっている。

（眼の被ばく線量：150ｍＳｖ/年→100ｍＳｖ/5 年かつ 50ｍＳｖ、年間 20ｍＳｖ（平均）へ変更）

電離健康診断年次推移より、2022 年度 20ｍＳｖ超えの者は 3 名であり、これは前年度一年間の被ばく線量での報告となる。（図 16-1～3）この 3 名に対して、防護眼鏡の変更や眼専用の測定器（以下、ドジリス）導入を行い、今年度は 20ｍＳｖ以下になると思われる。

画像診断部と共に関係者による検討・対策を進めており、眼の被ばく線量の高い者へは優先順位をつけてドジリス適用（11 名→23 名へ）、監視強化（月 1.6ｍＳｖ超え確認、年間 10ｍＳｖ超えの者にはアラーム線量報告書を通知し注意喚起や防護眼鏡の変更）､防護具管理体制の構築を行った。また、眼の被ばく線量の監視拡大を目的にガラスバッジの保有個数の見直しも進めている。ガラスバッジの未装着・装着不備をなくす働きとして啓蒙活動（合同運営会議での周知、結果表への添付など）を行った。

引き続き眼の被ばく線量低減対策に取り組んでいきたいと考える。

2022 年度の特定化学物質健康診断の実施者は 8 名、有機溶剤対健康診断は 5 名であり特に問題なしである。

労働安全衛生法の新たな化学物質規制（安衛法施行令の一部改正）が 2022 年 5 月 31 日に公布され、規制項目ごとに、2023 年 4 月 1 日、2024 年 4 月 1 日と順次施行される。今回の変更点

について、作業主任者（化学物質管理者）である病理検査室副技師長と問題ない事を確認した。2023 年度から安全衛生委員会にて現場での管理状況について報告を行っていく予定である。

その他には、職業感染予防対策の一環として感染対策委員会と連携し、日本環境感染学会の指針に基づき、感染症検診の実施および予防可能なウィルス疾患に対してワクチン接種を実施している。

感染症検診実施者数（187 名→214 名）は増加し、B 型肝炎ワクチン接種対象者数も（39 名→44 名）と、増加している。一方で、職種別 HBs 抗体陽性率においては昨年度と比較し、陽性率は減少（67.3%→66.8%）している。今年度より連絡調整を何度か実施した上で接種終了とならなかった者への個別対応は行わず、次年度スケジュールにて対応となったため、接種率は 95.7%であった。（図 7-1～10、表 6-1～9）また、2023.2 月時点の全職員における抗体保有率を算出した。近森病院の職員全体では 96.1%の抗体陽性率であった。（図 7-11～14、表 6-10～13）

インフルエンザワクチン接種については、今年度も職員と外部委託業者を対象として接種を行った。接種費用については、職員のうち健康保険組合被保険者のみ、全額補助が継続され、無料化となっている。近森会グループ職員の接種者数は 2052 名(昨年 1941 名)、接種率は 88.7%(昨年 87.4%)と、やや増加した。（図 8-1～7、表 7-1～5）今年度は、ワクチン数の確保ができ、休職中の職員も接種対象とできた。

麻疹・風疹・水痘・ムンプスの抗体獲得およびワクチン接種については、2015 年 9 月入職者より入職前までに完了して頂く運用となっている。在職者も含め、2023.2 月時点の全職員における各種抗体保有率を算出した。近森病院では、麻疹 90.7%、風疹 87.9%、水痘 99.3%、ムンプス 94.8%であった。（図 9-1～16、表 8-1～16）

結核予防対策として、2014 年度から新入職員と感染の危険性が高い部署および検査に従事する在職者に対してインターフェロンーγ（IGRA）を用いた T-SPOT.TB 検査を実施している。（図 10、表 9）陽性結果や、判定不能、保留となった職員には産業医面談を行い、適切な対応を行なっている。

2019 年度から職員へ免疫獲得状況を管理できる「免疫カード」を配布しており、定期的に更新発行・新規発行への対応を行っている。

職員の子宮頸がん予防を目的に、希望者を募って子宮頚がんワクチンの接種も行っている。（図 11、表 10）

健康づくり活動では、各種スポーツ大会は休止中であるが、運動対策として、全職員対象に階段昇降推進のため、階段利用勧奨のポスターを定期的にサイボウズに掲示している。

産業衛生活動の一環として、過重労働対策、口腔衛生活動、メンタルヘルス対策、喫煙対策、腰痛対策、職場巡視を実施している。

過重労働対策としては、総務課協力のもと時間外労働時間の把握を継続している。2019 年 4 月 1 日に「働き方改革関連法」が施行され、当グループでも長時間労働者に対する面接指導の運用を開始した。介入基準を独自に設けており、今年度 6 月からは一月当り 80 時間超えではなく、70 時間超えに引き下げることで早期介入、対応を可能とした。（図 17）引き続き、1 年間で月 45 時間超えが 5 回以上の者や総残業時間が 600 時間以上の者にも現時点で、4 名の職員に介入している。引き続き、健康管理・安全配慮義務の観点からの対策を進める。

口腔衛生活動では、6 月の「歯と口の衛生週間」には歯みがきに関する衛生行動を促進するため、虫歯、歯周病に対してセルフケアとプロケアの大切さについてパンフレットをサイボウズに掲示することで、全職員への啓蒙を実施した。11 月の「いい歯の日」には、高知県歯科衛生士会が新たに作成したパンフレットを提供いただき、サイボウズへ掲示した。また、合わせて県内のイベントについても情報提供した。

喫煙対策では、2017 年から当院敷地内および周辺道路等での全面禁煙、職員の就業時間中の禁煙を定めたほか、健康管理センターでは、ポピュレーションアプローチ（禁煙通信の発行による全職員への啓発活動）およびハイリスクアプローチ（職員健診時の喫煙者への禁煙チャレンジの呼びかけ、ニコチンガムの無料配付等）を実施することで喫煙対策に積極的に取り組んできた。近森会グループ職員の全体喫煙率は、平均 9.0%（喫煙者数：168 名）で、昨年 8.9%（喫煙者数 : 163 名）からは横ばいの傾向である。年代別では、40 代・50 代の喫煙率が 12.6%

（昨年度 40 代は 12.8%、50 代は 12.8%）であり最も高い。性別では、男性の喫煙率が平均 17.5%（昨年度 15.1%）とやや増加傾向であったが、女性の喫煙率は、平均 5.1%（昨年度 6.0%）と減少傾向である。（図 12-1～6、表 11-1～6）喫煙率、喫煙者数ともに下げ止まりの傾向が見られる。そのため、今後は現行の活動に加えて、健康保険組合とも協力し禁煙支援の幅を広げる（禁煙補助剤の自費購入に対して費用補助を実施する）ことで、より積極的なハイリスクアプローチを実施し、さらなる喫煙率低下を目指した活動を継続していきたい。

メンタルヘルス対策として、7 年目となるストレスチェックを実施した。2022 年度のグループ全体の実施者・受検率は 1676 名：92.9%（昨年度 1625 名：90.4%）であり、全国平均の受検率 78%（2017 年度）よりも高い。高ストレス判定者・割合は 155 名：9.2%（昨年度 144 名：8.9%）、全国平均約 10%と言われており当グループでも同様の傾向がみられた。医師面談申出者は 6 名：0.4%（昨年度 5 名：0.3%）という結果であった。（図 15-1～4、表 14-1～4）面談申出者の内 5 名は、近森病院総合心療センターを選択され、心理士による事前面接の後、医師面接まで実施した方は 4 名であった。残り 1 名は産業医を選択されたが、健康管理センター保健師による事前面接にて医師面接の意思を表明されず、事前面接のみ実施となった。申出のない者へは、再申請期間を設けた後、産業保健スタッフとしての心の健康相談を案内した。今後の課題として、集団分析を行い、職場環境の改善へと繋げられるよう検討を進めて行きたいと考えている。

心の健康相談について、利用者は昨年と比べて、実人数・延べ件数ともに減少傾向となった。（図 13、表 12）所属長からの相談や介入依頼で心の健康相談に至るケースも依然多く、ラインによるケアの重要性は同様である。休職者数は減少傾向であり、心療内科・精神科へ通院している新規報告者も昨年に比べて減少し 13 件であった。2021 年度からは本人・所属長・産業保健スタッフがそれぞれの役割をもって連携することで円滑な職場復帰を目指す「復職支援制度実施要綱」の運用が開始している。今後もセルフケア、ラインケアを含めた職員への啓蒙・啓発活動などの予防活動に力を入れるとともに、復職支援体制を継続していく。

腰痛対策として、2021 年 12 月より安全衛生委員会の下部組織としてノーリフティングケア推進 WG を設置し、院内業務における腰痛発生予防を目的とした活動を進めている。今年度はノーリフティングケア推進ＷＧと共に、検査部や画像診断部、放射線科など、患者移乗の機会が多く腰痛発生リスクの高い部署に対して、腰痛ラウンドを実施し、必要な補助具の導入の検討、補助具の使用方法の技術指導を行った。腰痛予防体操と足と靴の悩み個別相談も新型コロナウイルスの感染状況をみながら活動継続中である。

職場巡視として、労災発生時の現場確認を 2017 年 4 月から開始している。労災発生状況（労基報告用）では、2022 年度の労災発生件数は 11 件（←21 件）と減少した。また、事故の型別では、「動作の反動・無理な動作」が 5 件（←8 件）と最も多い。詳細をみると、区分内訳では腰痛関連、原因内訳では患者移乗、職種内訳ではリハ部が最も多くなっている。昨年増加していた「転倒・転落」の発生が今年度は 0 件（←6 件）であった。（図 18-1～7、表 15-1～7）

今年度は昨年の腰痛関連・転倒の労災発生件数増加を受けて、前述にあるように腰痛予防にも積極的に取り組んでいる。転倒については、階段での踏み外しや高年齢者の道路でのつまずきによる負傷を背景に、作業環境面での改善対応や安全衛生通信での階段昇降時の注意喚起を行った。来年度は健康管理の視点から、各自の下肢筋力の確認および増進を目的に握力測定などを実施する予定である。

また、温湿度調査から暑熱対策として提案していた入浴介助時の氷結ベルト使用について、看護部や施設用度課と調整を行い、正式な導入となった。安全衛生通信でも熱中症予防の啓発ポスターを提示した。

腰痛（補助具設置）、転倒（改善措置の場所）、暑熱（氷結ベルト設置）対策について、その後の使用状況を調査するなど、労災発生の低減および職場環境の改善に繋げていきたい。

ハラスメント対策では、他委員会で担当していた研修計画・実施を引継ぎ、来年度実施に向けて検討をしていくこととなった。

最後に健康管理センターを基点とし、健康の確保、維持・増進に対する職員の関心がさらに向上することにより、事業所における安全衛生水準を自律的に高めて、職員・家族の健康寿命の延伸、健康経営に寄与できるような活動を充実させていきたいと考える。

2022年度安全衛生委員会活動一覧

表1

A，衛生管理活動	
1、定期健康診断（感染症検診含む）	職員；受診者数・受診率→延べ 2843名（99.9%） 外部； 事業所（延べ64名）
2、雇入時健康診断（T-SPOT.TB検査含む）	※メタボリックシンドローム調査　*図6-1～6-3 表5-1～5-3
3、特定業務従事者健診（電離放射線、深夜勤、特定化学物質・有機溶剤）	上期→電離放射線（324名）深夜勤（797名）特定化学物質（9名）有機溶剤（5名） 下期→電離放射線（307名）深夜勤（763名）特定化学物質（8名）有機溶剤（5名） 眼の水晶体の被ばく線量低減対策を継続中　2021.12～ *図16-1～16-3
4、健康測定（THP事業）	・コロナ感染対策の為、休止
5、給食業務従事者健診	毎月実施（赤痢、サルモネラ、O157・26・111） *12月、1月はノロ検査を追加実施
6、B型肝炎ワクチン接種	＊図7-1～7-14　表6-1～6-13
7、インフルエンザワクチン接種	＊図8-1～7、表7-1～7-5
8、麻疹・風疹・水痘・ムンプス抗体保有確認	2015年9月1日新入職員より入職日までに免疫獲得を行うよう運用変更 感染症情報の個人カード作成・配付　2019.8～ *図9-1～9-16 表8-1～8-16
9、子宮頚がんワクチン接種	*図11、表10
10、エイズキャンペーン	ポスター掲示など啓蒙活動実施
11、職場巡視	腰痛ラウンドの実施　本院（配車センター、画像診断部、放射線科、生理検査室）
12、安全衛生委員会（健康増進委員会）12回/年	第4木曜日
13、労働災害防止対策	労災発生の報告に対して調査・介入（随時）　2017.4～ *図18-1～18-7, 表15-1～15-7
B，健康づくり活動・産業保健活動	
1、運動会	中止
2、運動	階段昇降推進（全職員へ向けて階段利用推進ポスターをサイボウズへ掲示）
3、球技大会	
バレーボール大会（年1回）	中止
ソフトボール大会（年1回）	中止
4、過重労働対策	時間外労働時間調査中、長時間労働者への面談勧奨継続　2019.4～　*図17
5、腰痛予防対策	・担当PTによる腰痛指導やフットケア ・ノーリフティングケア推進WG設置　2021.12～ 各施設の取組を紹介（通信にて）、腰痛ラウンドや労災対応実施
6、喫煙対策	＊職員の就業中禁煙（休憩時間含む）実施　2017.7～ 広報活動、指導・相談への対応強化 ・禁煙通信発行（隔月）　・ニコチンガムの無料配付継続中　2018.5～
7、メンタルヘルス対策	広報活動の強化、相談への対応、復職支援制度実施要綱作成・運用開始　2021.10～
8、ストレスチェック	＊図15-1～4、表14-1～4
9、ハラスメント対策	研修会の開催や啓蒙活動の企画・検討
10、口腔衛生活動	歯の衛生週間に合わせて、6月・11月にサイボウズにてポスター掲示。
11、保健指導（特定保健指導含む）	対象者への指導勧奨継続、健保組合との連携強化、特保システム導入2021.10～
12、健康相談（疾病含む）	随時
13、広報活動	安全衛生通信発行（毎月）、各種イベント・勉強会案内（随時）
C，その他	
1、全国安全週間	7月1日～7月7日　　（6月1日～6月30日は準備期間）
2、全国労働衛生週間	10月1日～10月7日　　（9月1日～9月30日は準備期間）
3、年末年始無災害運動	12月1日～1月15日

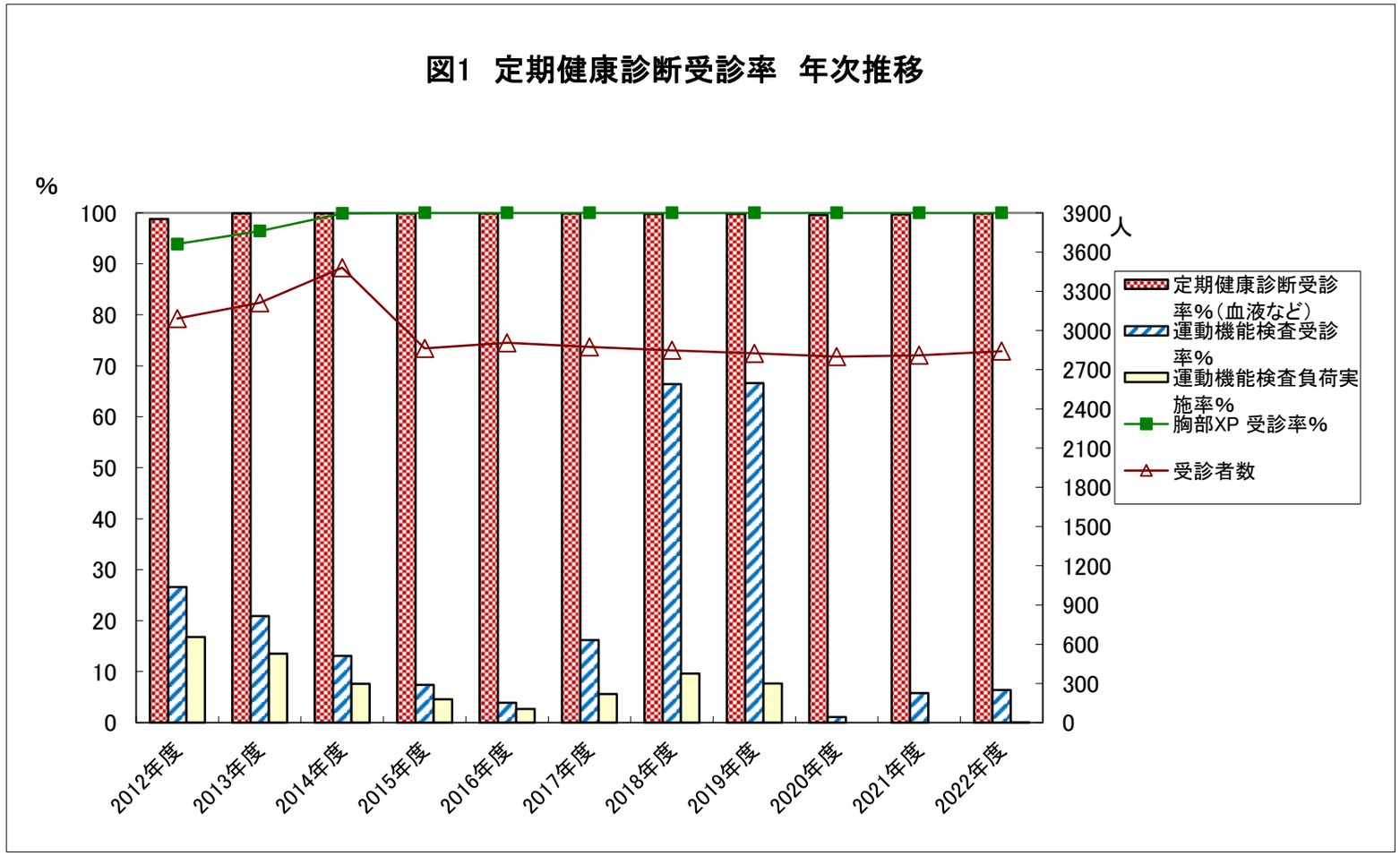
表２

医　　師　（産 業 医）	北村　龍彦	管　理　部	寺田　文彦
医　　師	浅羽　宏一	人　事　部	浦部　孔明
看　護　部	中島　久美	看　護　部	西村　剛
看　護　部（リハ）	増田　千恵	臨床栄養部	内山　里美
看　護　部（リハ）	植田　彩子	臨床栄養部	久保山　碧衣
看　護　部（オルソ）	中谷　明未	薬　剤　部	丸岡　由貴
臨床検査部	水田　綾香	画像診断部	佐野　寿人
理学療法科（オルソ）	塩田　直隆	施設用度課	（調 整 中）
理学療法科（オルソ）	小松　弘典	医　事　課	上甲　浩道
理学療法科	前田　秀博	総　務　課	山村　純子
理学療法科（リハ）	高芝　潤	理学療法科（リハ）	岩佐　恵子
ファミーユ	西岡　由江	健康保健組合	田村　裕彦
健康管理センター	小笠原　真佐与	リハ部	和田　寿美
健康管理センター	山中　真理菜	健康管理センター	村上　麻世
健康管理センター	坂本　悠	健康管理センター	林本　千紘
健康管理センター	藤野　朋子		

＊2023年3月時点

表3　定期健康診断受診率の年次推移（オルソ・ファミーユ高知含む）

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
定期健康診断対象者数	3129	3226	3485	2867	2907	2877	2856	2832	2810	2820	2843
受診者数	3091	3213	3481	2864	2906	2874	2849	2825	2800	2811	2842
定期健康診断受診率%（血液など	98.8	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.8	99.8	99.6	99.7	99.9
運動機能検査受診率%	26.6	20.9	13.1	7.4	3.9	16.2	66.4	66.6	1.1	5.8	6.4
運動機能検査負荷実施率%	16.8	13.5	7.6	4.6	2.7	5.6	9.6	7.7	0	0	0.04
胸部XP 対象者数	1600	1632	1766	1906	1943	1929	1898	1879	1854	1853	1869
胸部XP 受診者数	1502	1574	1765	1906	1943	1929	1898	1879	1854	1853	1869
胸部XP 受診率%	93.9	96.4	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100



※2015年度より健診運用見直し→上期：全職員、下期：特定業務従事者のみとした。
健康診断受診率は常に99%以上を保っている。2018年度より運動機能検査推進（握力必須）としていたが2020年度以降はコロナ対策の為休止とした。

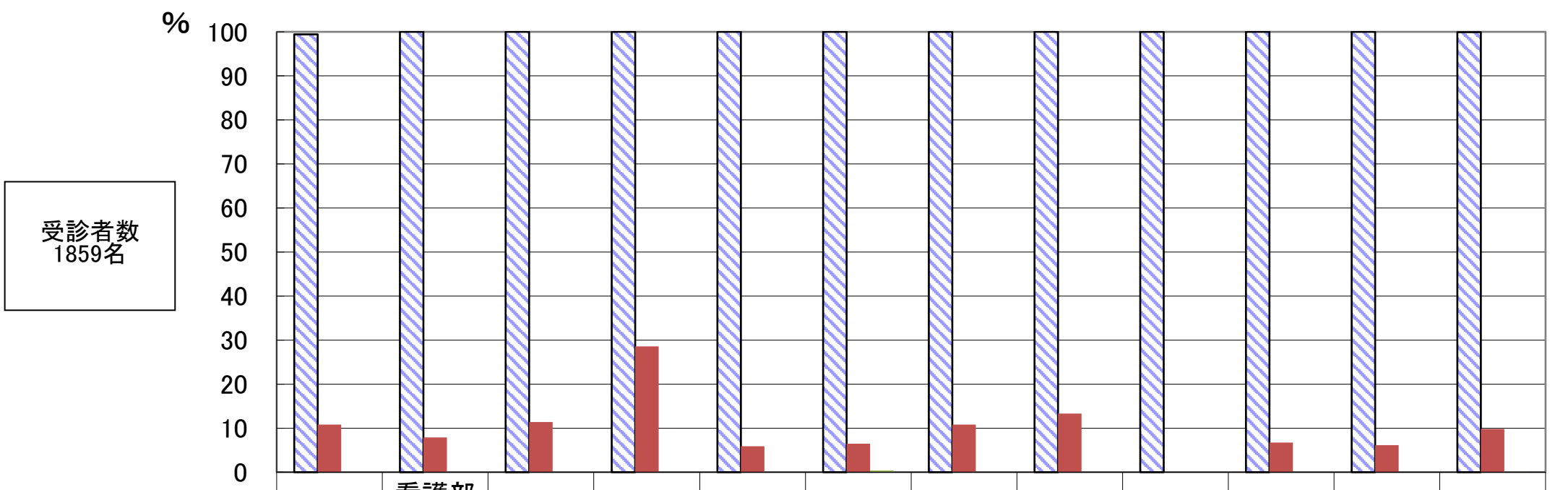
表４－１
定期健康診断所属別実施率（2022年上期）

所属	対象者数	受診者数	運動機能検査	
			実施者	負荷あり
医師	167	166	18	0
看護部（介護部含む）	849	849	67	0
薬剤部	44	44	5	0
検査部	56	56	16	0
画像診断部	34	34	2	0
PT.OT.ST科	278	278	18	1
臨床工学部	37	37	4	0
臨床栄養部	30	30	4	0
心理室・SW	32	32	0	0
管理部	252	252	17	0
支援員	81	81	5	0
合計	1860	1859	156	1

表４－２

所属		運動機能検査	
	定期健康診断 受診率％（血液etc.）	運動機能検査 実施率％	運動機能検査 負荷実施率％
医師	99.4	10.8	0.0
看護部（介護部含む）	100.0	7.9	0.0
薬剤部	100.0	11.4	0.0
検査部	100.0	28.6	0.0
画像診断部	100.0	5.9	0.0
PT.OT.ST科	100.0	6.5	0.4
臨床工学部	100.0	10.8	0.0
臨床栄養部	100.0	13.3	0.0
心理室・SW	100.0	0.0	0.0
管理部	100.0	6.7	0.0
支援員	100.0	6.2	0.0
平均	99.9	9.8	0.0

図2　近森会グループ　定期健康診断所属別実施率（2022年上期）

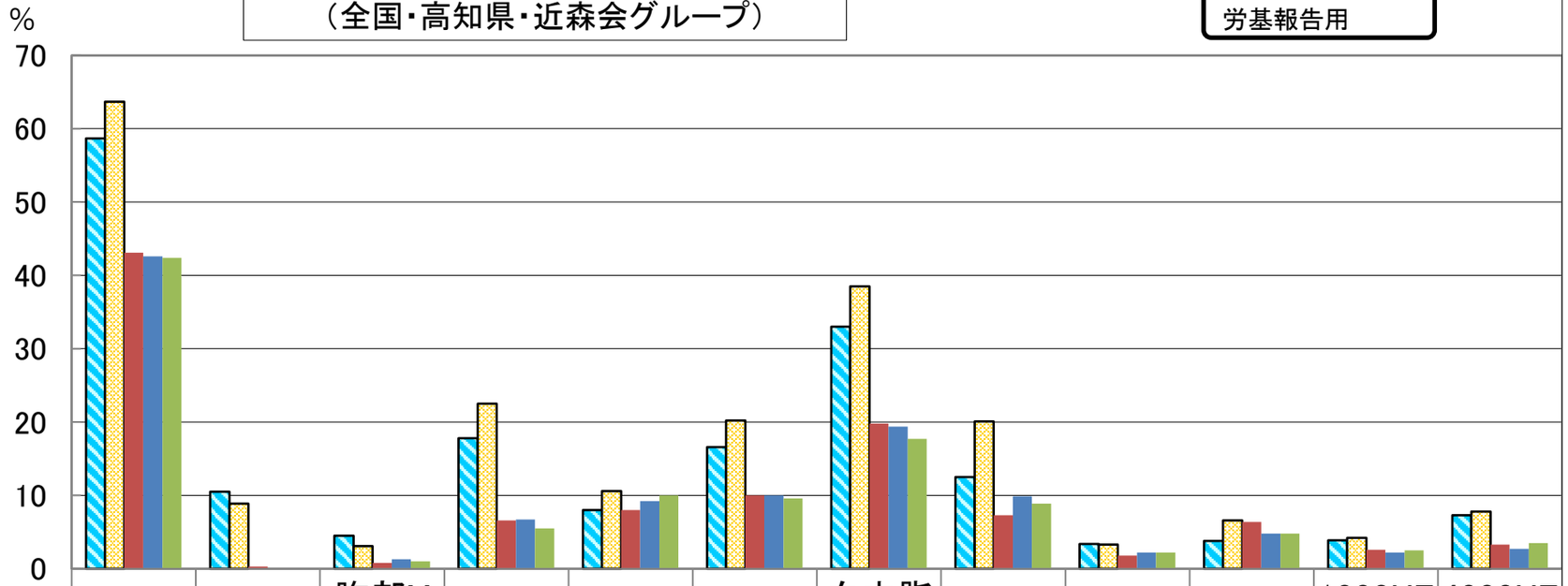


	医師	看護部（介護部含む）	薬剤部	検査部	画像診断部	PT.OT.ST科	臨床工学部	臨床栄養部	心理室・SW	管理部	支援員	平均
定期健康診断受診率％（血液etc.）	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9
運動機能検査実施率％	10.8	7.9	11.4	28.6	5.9	6.5	10.8	13.3	0.0	6.7	6.2	9.8
運動機能検査負荷実施率％	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

定期健康診断受診率：ほとんどの部署が100％
運動機能検査実施率：新型コロナウイルス感染のリスクを下げるために握力検査の実施勧奨を新入職員および希望者に限定。
運動負荷検査実施率：新型コロナウイルス感染のリスクを下げるために運動負荷検査の実施勧奨を全面中止。

図3　定期健康診断項目別有所見率の比較
（全国・高知県・近森会グループ）

労基報告用



	総合	心電図	胸部XP	血圧	貧血	肝機能	血中脂質	血糖	尿糖	尿蛋白	1000HZ聴力	4000HZ聴力
全　国2021	58.7	10.5	4.5	17.8	8.0	16.6	33.0	12.5	3.4	3.8	3.9	7.3
高知県2021	63.7	8.9	3.1	22.5	10.6	20.2	38.5	20.1	3.3	6.6	4.2	7.8
近森会ｸﾞﾙｰﾌﾟ2020(上期)	43.1	0.3	0.8	6.6	8.0	10.0	19.8	7.3	1.8	6.4	2.6	3.3
近森会ｸﾞﾙｰﾌﾟ2021(上期)	42.6	0.1	1.3	6.7	9.2	10	19.4	9.9	2.2	4.8	2.2	2.7
近森会ｸﾞﾙｰﾌﾟ2022(上期)	42.4	0	1.0	5.5	10.0	9.6	17.7	8.9	2.2	4.8	2.5	3.5

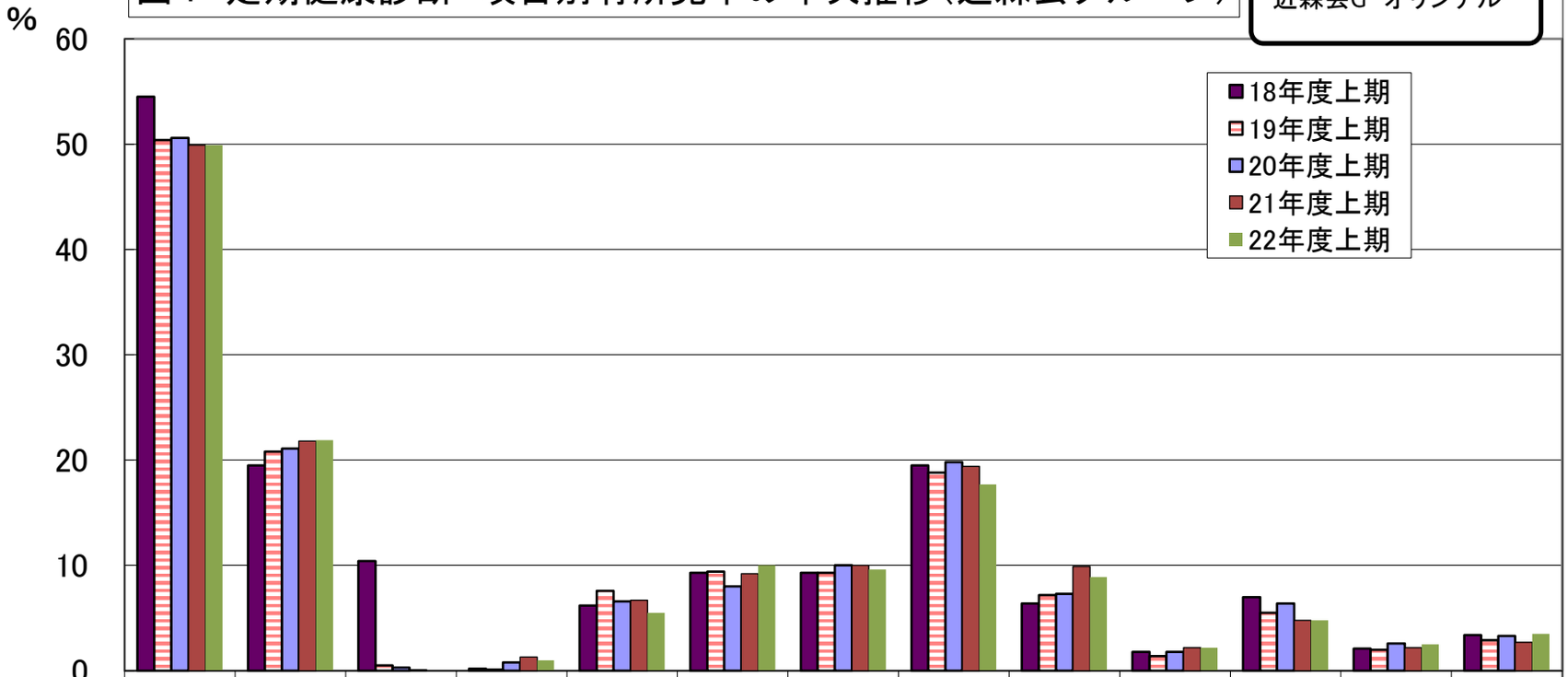
■近森会Gの傾向～全国・高知県との比較～

総合での有所見率：全国・高知県よりも低い（高知県63.7、全国58.7、近森会G42.4）
項目別での有所見率：全国と比較して血中脂質・肝機能・血糖などは低い

※ 考えられる理由→近森会Gの特性：39歳以下の女性が多い職場である。
（男女比約3：7、年齢比39歳以下40歳以上は約6：4、平均年齢；38.0歳）

図4　定期健康診断　項目別有所見率の年次推移（近森会グループ）

近森会G　オリジナル



	総合	BMI	心電図	胸部XP	血圧	貧血	肝機能	血中脂質	血糖	尿糖	尿蛋白	1000Hz聴力	4000Hz聴力
18年度上期	54.5	19.5	10.4	0.2	6.2	9.3	9.3	19.5	6.4	1.8	7.0	2.1	3.4
19年度上期	50.4	20.8	0.5	0.1	7.6	9.4	9.3	18.8	7.2	1.4	5.5	2.0	2.9
20年度上期	50.6	21.1	0.3	0.8	6.6	8.0	10.0	19.8	7.3	1.8	6.4	2.6	3.3
21年度上期	49.9	21.8	0.1	1.3	6.7	9.2	10.0	19.4	9.9	2.2	4.8	2.2	2.7
22年度上期	49.9	21.9	0	1.0	5.5	10.0	9.6	17.7	8.9	2.2	4.8	2.5	3.5

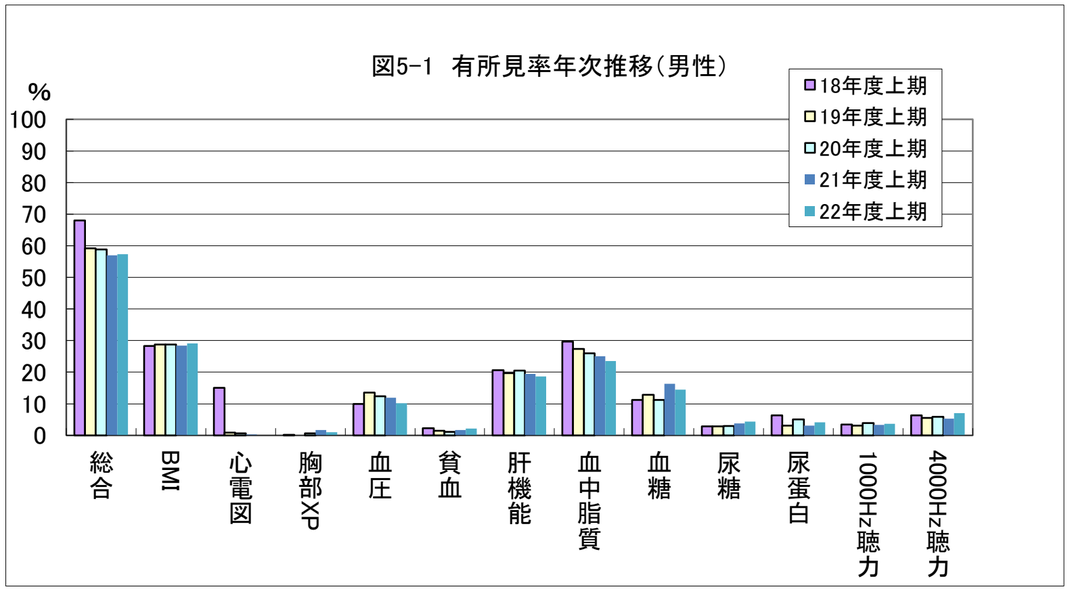
総合での有所見率；2022年度はほぼ横ばい。（54.5→50.4→50.6→49.9→49.9）

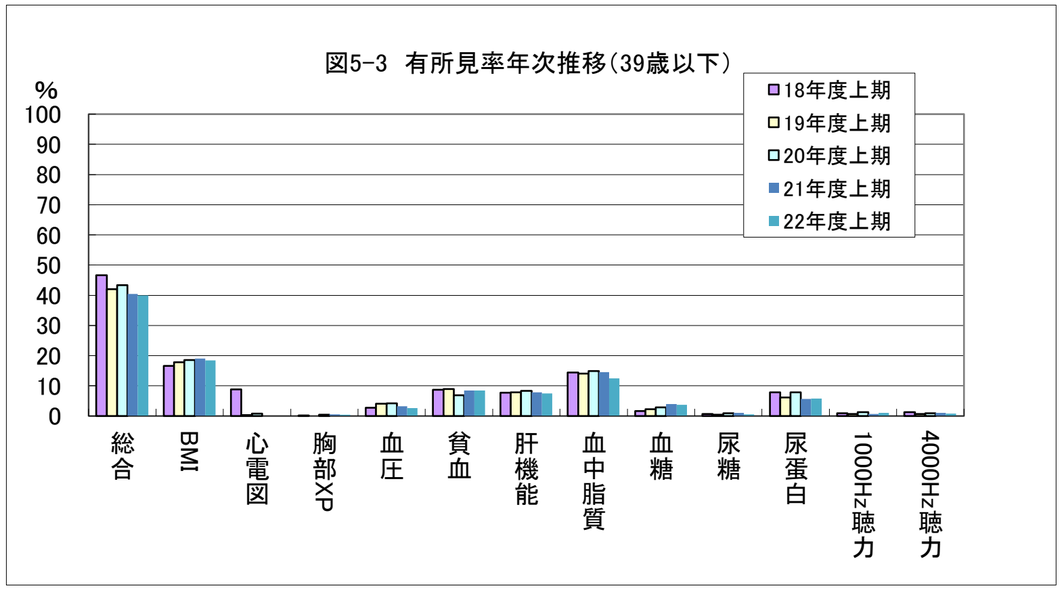
項目別での有所見率；昨年度とほぼ同じ傾向。（BMI、血中脂質、貧血、肝機能、血糖）

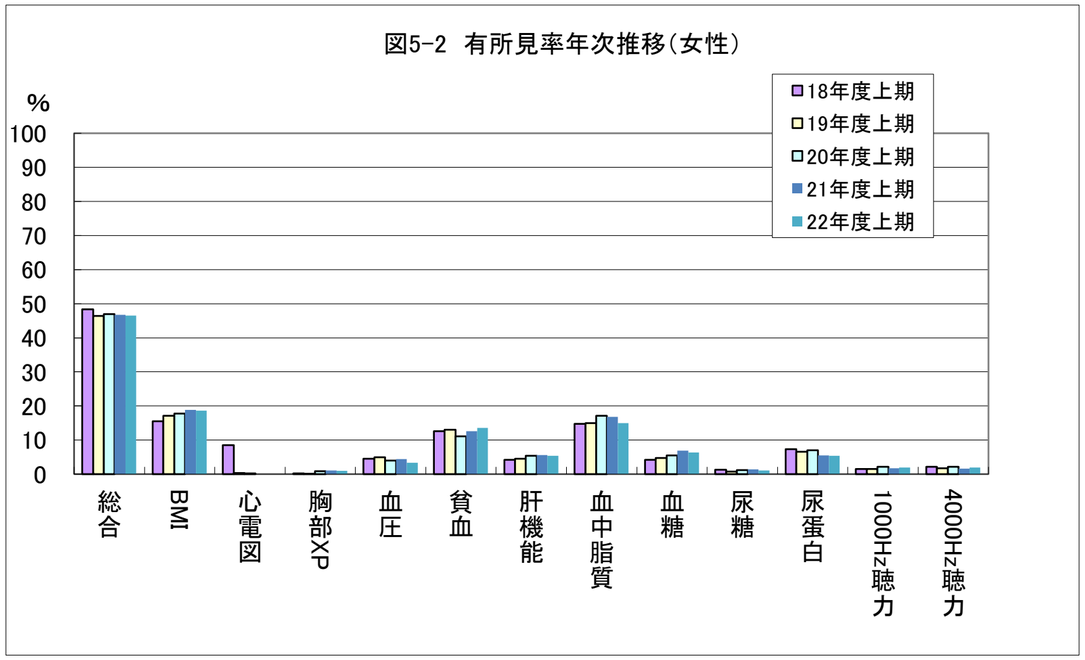
BMIは少しずつ増加傾向（19.5→20.8→21.1→21.8→21.9）

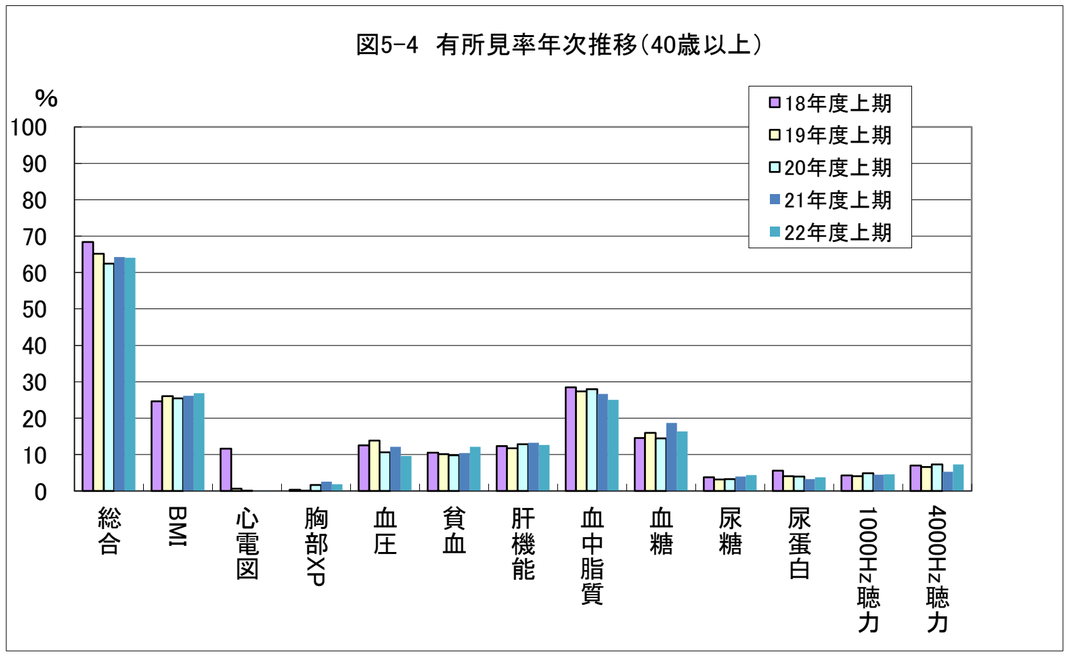
貧血はやや増加（9.3→9.4→8.0→9.2→10.0）

定期健康診断 「性別・年代別比較」









男性の有所見率が高い
男性→BMI・血中脂質・肝機能・血糖が高い、女性→BMI・脂質・貧血が高い
40歳以上の有所見率が高い

↓

女性の貧血対策の継続、中高年(特に男性)を中心に生活習慣病対策が重要

「メタボリックシンドローム年次推移（40代以上）」

図6-1メタボリックシンドローム該当者の年次推移（40代以上）

メタボリックシンドローム「予備軍」「有病者」の定義

＜必須項目＞

ウエスト周囲径　男性≧85cm
女性≧90cm

＋

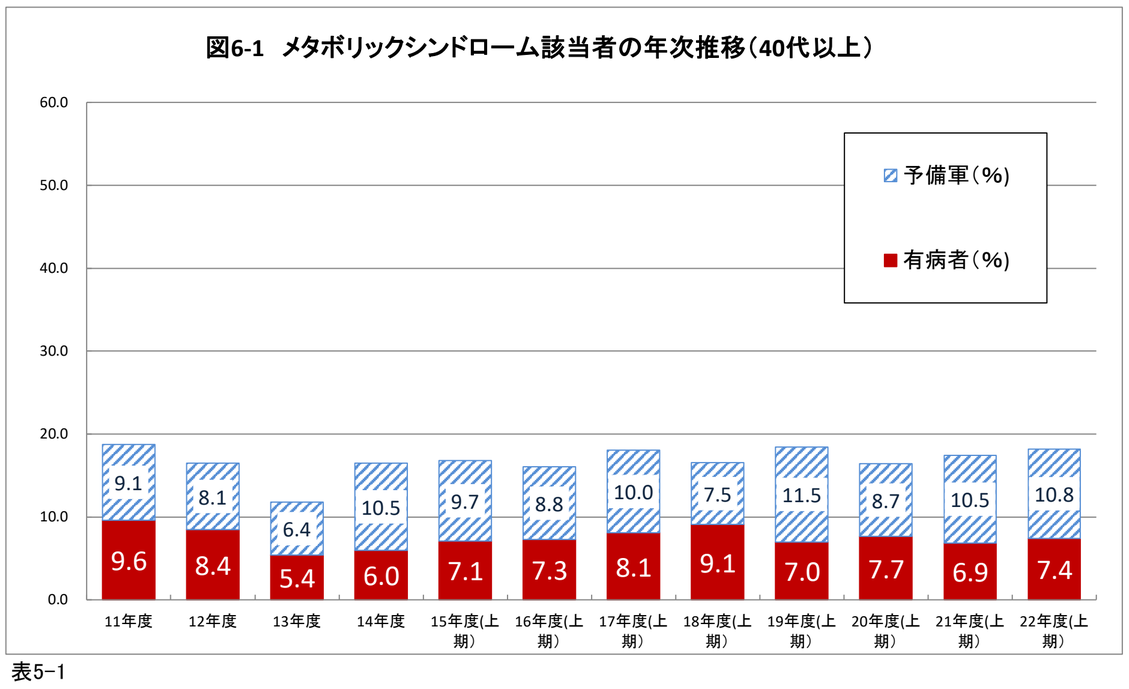
＜選択項目＞

高トリグリセライド血症≧150mg/dl
かつ、または
低HDLコレステロール血症＜40mg/dl

収縮期血圧≧130mg/dl
かつ、または
拡張期血圧≧85mg/dl

空腹時血糖値≧110mg/dl

※必須項目を満たし、選択項目を1つ満たしているものを「予備軍」、2～3つ満たしているものを「有病者」とする。



有病者および予備軍に該当する者が男性に多い傾向は例年同様であり、全体としてほぼ横ばい

↓

リスクグループのみでなく、職員全体へのポピュレーションアプローチによる生活習慣の見直しの強化が必要

表5-1

40代以上	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度（上期）	16年度（上期）	17年度（上期）	18年度（上期）	19年度（上期）	20年度（上期）	21年度（上期）	22年度（上期）
有病者	59	67	48	62	45	48	56	62	50	57	54	60
予備軍	56	64	57	109	61	58	69	51	82	65	83	87
非該当者+腹囲正常者	499	663	787	868	526	555	568	570	584	622	650	662
計	614	794	892	1039	632	661	693	683	716	744	787	809

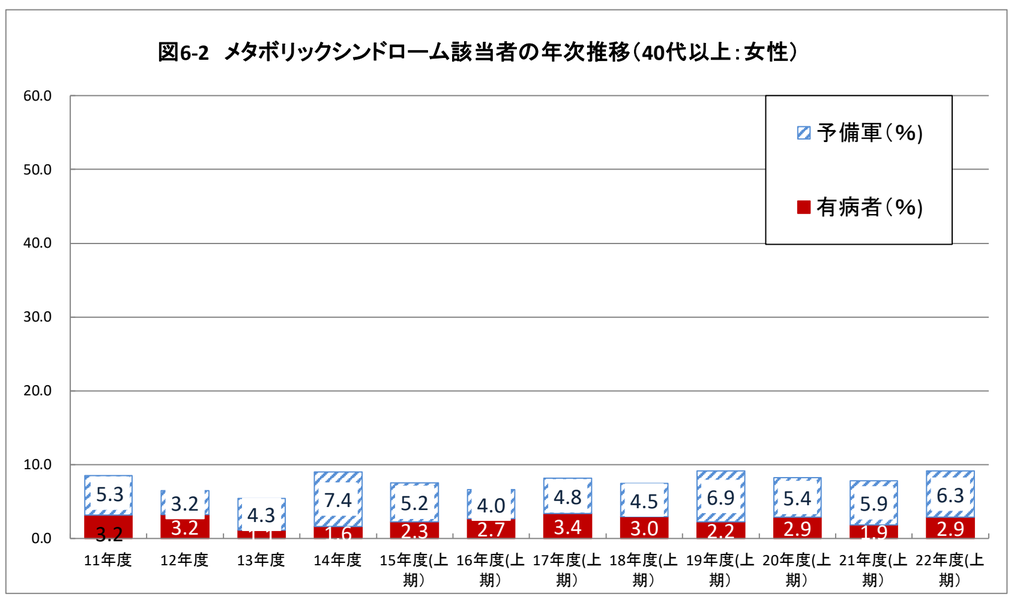


表5-2

40代以上女性	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度（上期）	16年度（上期）	17年度（上期）	18年度（上期）	19年度（上期）	20年度（上期）	21年度（上期）	22年度（上期）
有病者	15	18	7	12	10	12	16	14	11	15	10	16
予備軍	25	18	27	54	23	18	23	21	34	28	32	35
非該当者+腹囲正常者	429	519	593	665	406	422	437	435	447	479	497	507
計	469	555	627	731	439	452	476	470	492	522	539	558

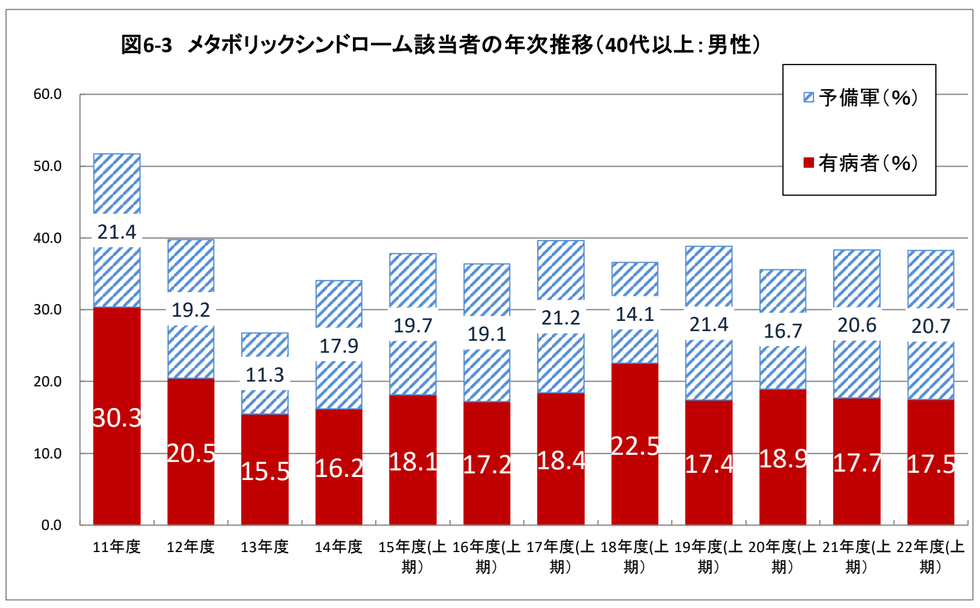
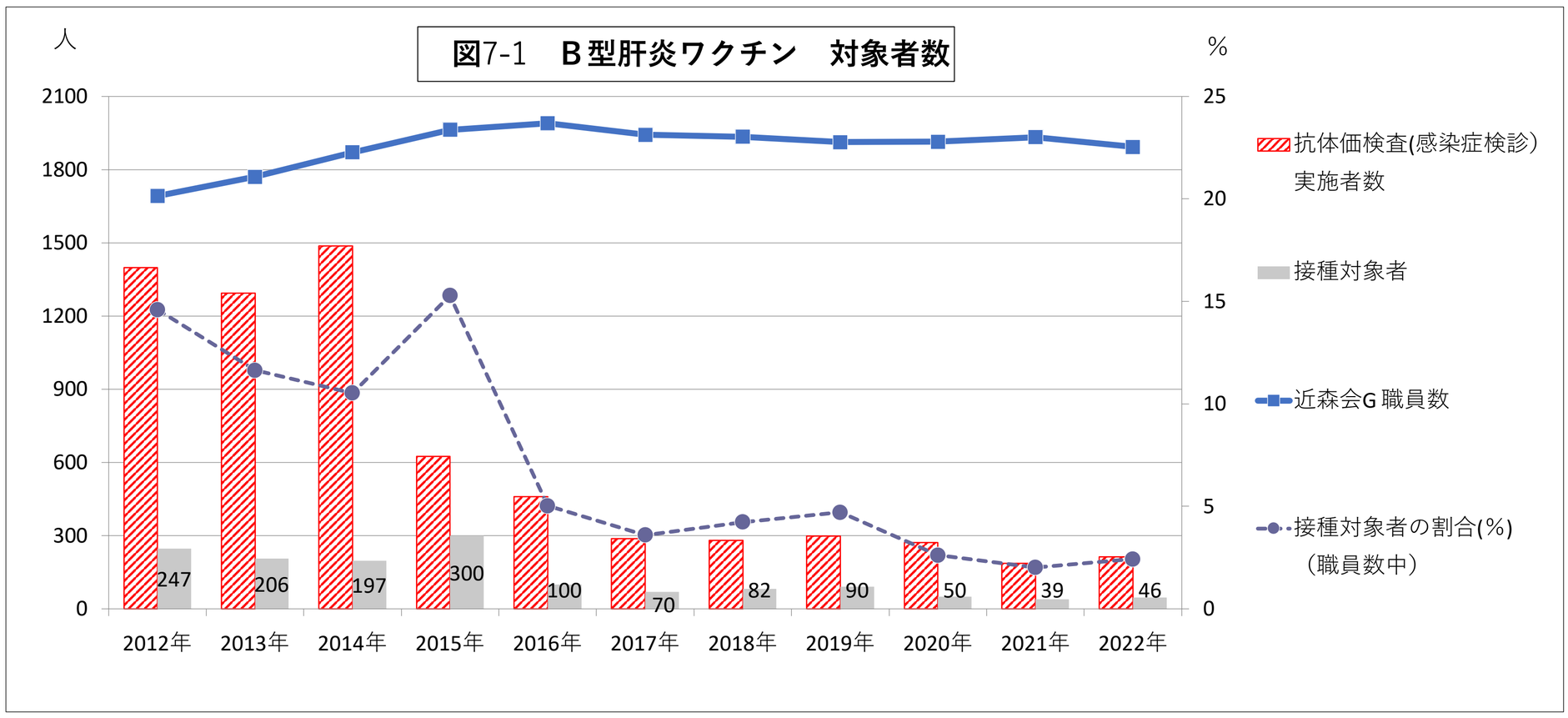


表5-3

40代以上男性	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度（上期）	16年度（上期）	17年度（上期）	18年度（上期）	19年度（上期）	20年度（上期）	21年度（上期）	22年度（上期）
有病者	44	49	41	50	35	36	40	48	39	42	44	44
予備軍	31	46	30	55	38	40	46	30	48	37	51	52
非該当者+腹囲正常者	70	144	194	203	120	133	131	135	137	143	153	155
計	145	239	265	308	193	209	217	213	224	222	248	251

■B型肝炎ワクチン接種■（2023年3月現在）



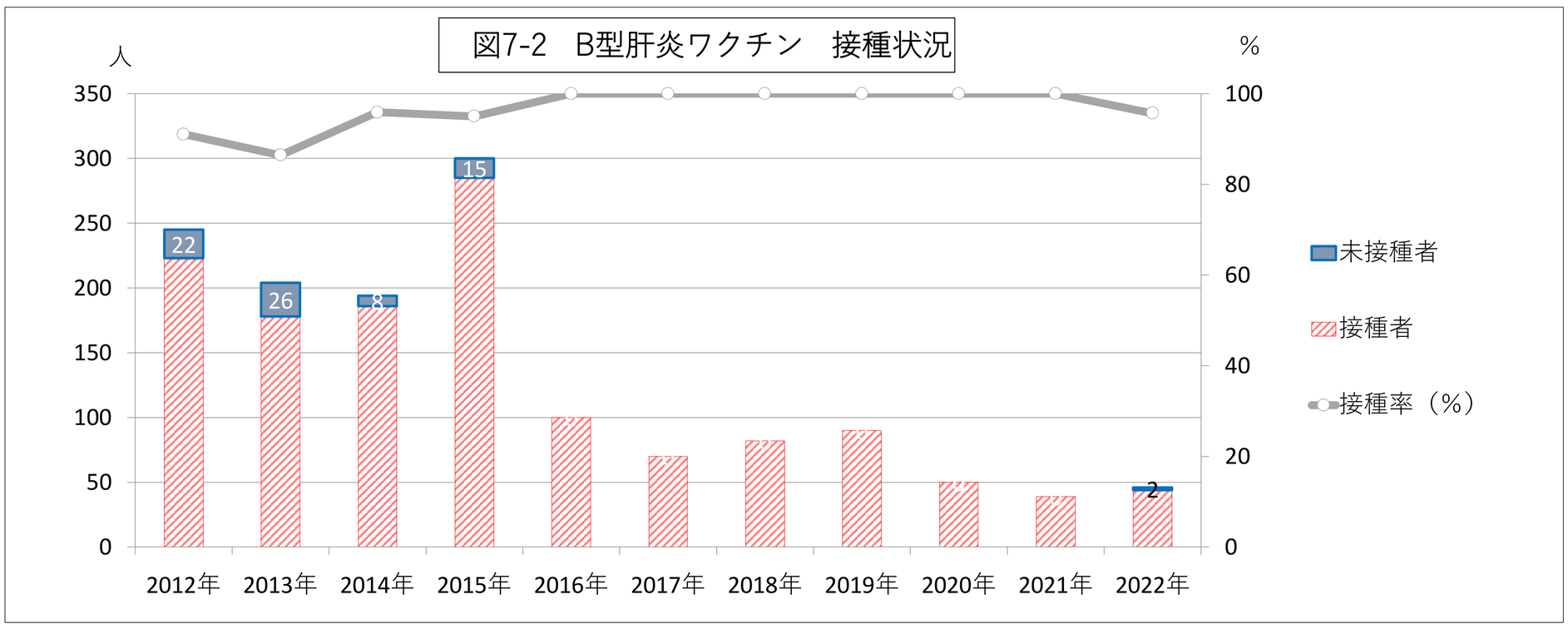


表6－1

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
近森会G 職員数	1692	1771	1871	1963	1990	1943	1935	1913	1914	1933	1893
抗体価検査(感染症検診) 実施者数	1398	1294	1487	625	459	288	280	299	272	187	214
接種対象者	247	206	197	300	100	70	82	90	50	39	46
接種対象者の割合(%) （職員数中）	14.6	11.6	10.5	15.3	5.0	3.6	4.2	4.7	2.6	2.0	2.4
接種者	223	178	186	285	100	70	82	90	50	39	44
未接種者	22	26	8	15	0	0	0	0	0	0	2
接種率（%）	91.0	86.4	95.9	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	95.7

【2015年度からの変更点】
・接種を義務付ける職種の範囲を変更した。
〈2014年まで＞
医師・看護師・ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ・臨床工学技師・放射線技師・検査技師・介護福祉士・ＭＳＷ・薬剤師・管理栄養士
〈2015年以降＞
近森会グループの全職員（事務職を対象として追加した）
・ＨＢｓ抗体価が陰性化した者への追加接種（ブースター）を廃止した。
・過去にＨＢｓ抗体獲得歴がある者はワクチン接種対象外とした。
・1クール接種後に抗体価検査を実施し、陰性の場合は1回追加接種後に抗体確認実施とした。陰性の場合は接種継続し、翌年に抗体確認を実施、2クール接種でも抗体陽性化がみられない場合は「ワクチン不応者」とみなし、対応終了とした。

【2022年度からの変更点】
・連絡調整を何度か実施した上で接種終了とならなかった者への個別対応は行わず、次年度スケジュールにて対応となった。

【2022年度B肝ワクチン対象者は･･･】
①2021年のB肝ワクチン接種（1クール目）にて、抗体が陽転しなかった者
②2021年下期入職者のうちHBs抗原・HBs抗体が陰性かつ45歳未満の者
③2022年上期入職者のうちHBs抗原・HBs抗体が陰性かつ45歳未満の者

● 2022年度　職種別HBs抗体陽性率　●(2023年2月時点)

表6-2

	所属	感染症検査実施者	HBs抗体（+）	HBs抗原（+）	HB s 抗原・抗体（-）45歳未満	HB s 抗原・抗体（-）45歳以上	陽性率	陰性率
近森病院	医師	39	29	0	8	2	74.4%	25.6%
	看護部	72	50	0	21	1	69.4%	30.6%
	理学療法部	4	4	0	0	0	100.0%	0.0%
	管理部(リハ・オル	32	11	0	15	6	34.4%	65.6%
	薬剤部	6	3	0	3	0	50.0%	50.0%
	臨床工学部	3	2	0	1	0	66.7%	33.3%
	臨床検査部	7	5	0	2	0	71.4%	28.6%
	臨床栄養部	7	3	0	4	0	42.9%	57.1%
	医療福祉部	2	1	0	1	0	50.0%	50.0%
	作業療法部	3	3	0	0	0	100.0%	0.0%
	画像診断部	3	2	0	1	0	66.7%	33.3%
	近森病院付属看護	3	1	0	2	0	33.3%	66.7%
	合計	181	114	0	58	9	63.3%	36.7%

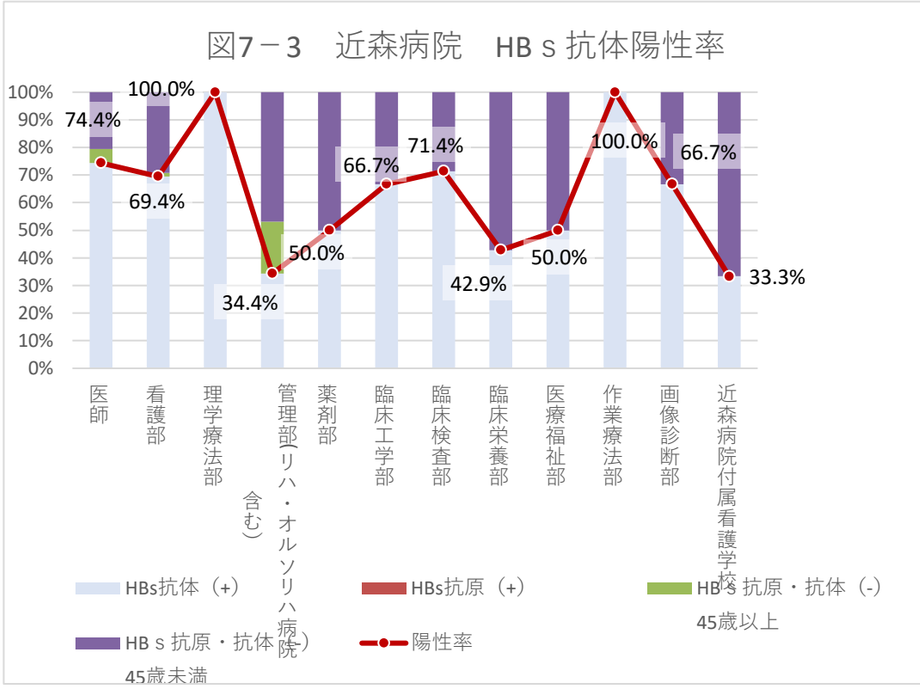


表6-3

	所属	感染症検査実施者	HBs抗体（+）	HBs抗原（+）	HB s 抗原・抗体（-）45歳未満	HB s 抗原・抗体（-）45歳以上	陽性率	陰性率
リハ病院	看護部	5	3	0	1	1	60.0%	40.0%
	理学療法部	4	3	0	1	0	75.0%	25.0%
	作業療法部	6	3	0	3	0	50.0%	50.0%
	介護福祉部	1	0	0	1	0	0.0%	100.0%
	合計	16	9	0	6	1	46.3%	53.8%

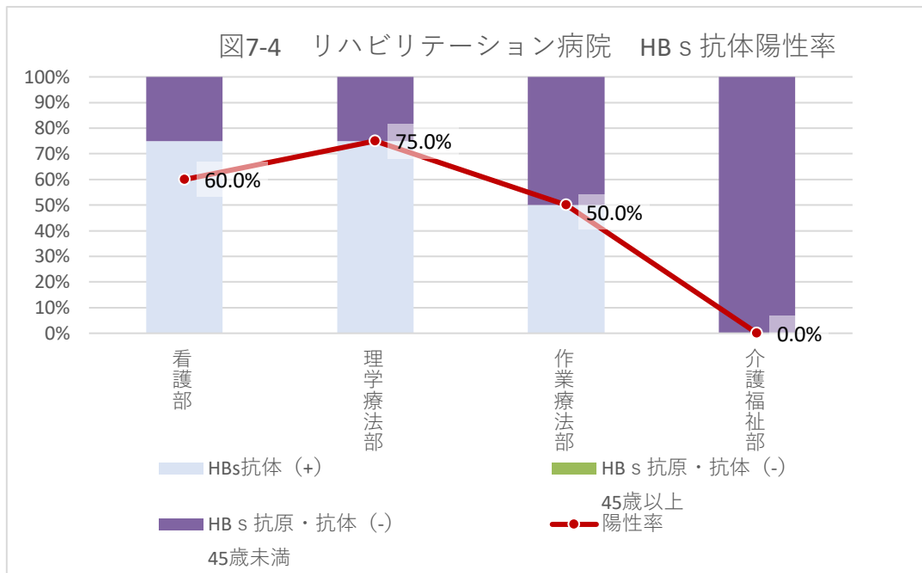


表6-4

	職種	感染症検査実施者	HBs抗体（+）	HBs抗原（+）	HB s 抗原・抗体（-）45歳未満	HB s 抗原・抗体（-）45歳以上	陽性率	陰性率
オルソ病院	作業療法部	2	2	0	0	0	100.0%	0.0%
	理学療法部	3	2	0	1	0	66.7%	33.3%
	看護部	3	3	0	0	0	100.0%	0.0%
	合計	8	7	0	1	0	88.9%	11.1%

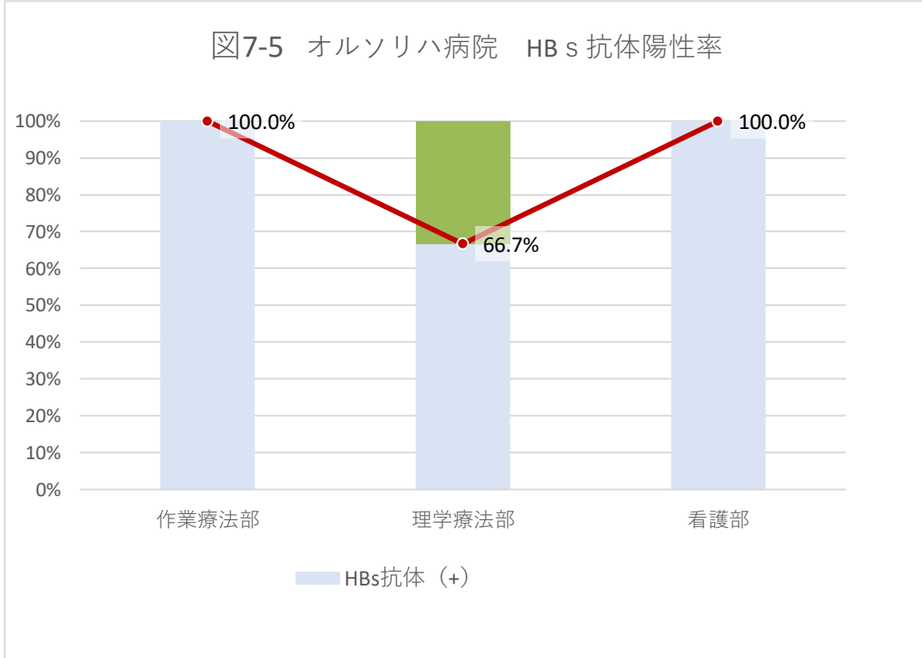
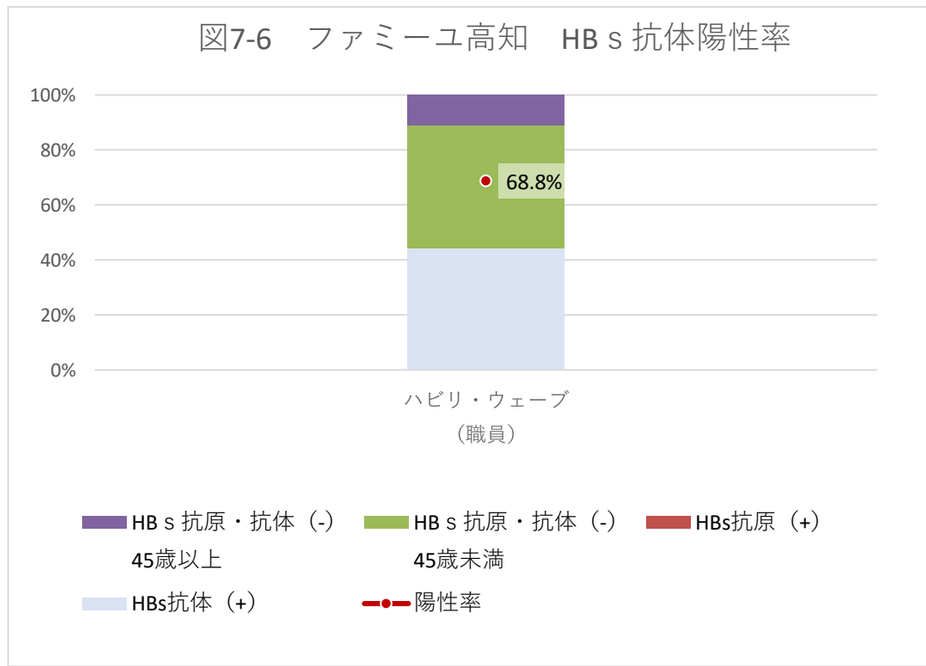


表6-5

	職種	感染症検査実施者	HBs抗体（+）	HBs抗原（+）	HB s 抗原・抗体（-）45歳未満	HB s 抗原・抗体（-）45歳以上	陽性率	陰性率
高知ファミーユ	ハビリ・ウェーブ（職員）	9	4	0	4	1	68.8%	31.3%
	合計	9	4	0	4	1	68.8%	31.3%

総合計	214	134	0	69	11	66.8%	33.2%



●　2022年度　職種別HBワクチン接種率　●　（2023年2月現在）

表6-6

	職種	HB s 抗原・抗体陰性者	HBsワクチン接種対象者	接種終了者	接種対応予定者	接種率
近森病院	医師	8	1	1	0	100.0%
	看護部	21	10	9	1	90.0%
	管理部(リハ・オルソリハ	15	15	15	0	100.0%
	薬剤部	3	3	3	0	100.0%
	臨床工学部	1	1	1	0	100.0%
	臨床検査部	2	1	1	0	100.0%
	臨床栄養部	4	2	2	0	100.0%
	医療福祉部	1	1	1	0	100.0%
	画像診断部	1	1	1	0	100.0%
	近森病院付属看護	2	2	2	0	100.0%
	合計	58	37	36	1	99.0%

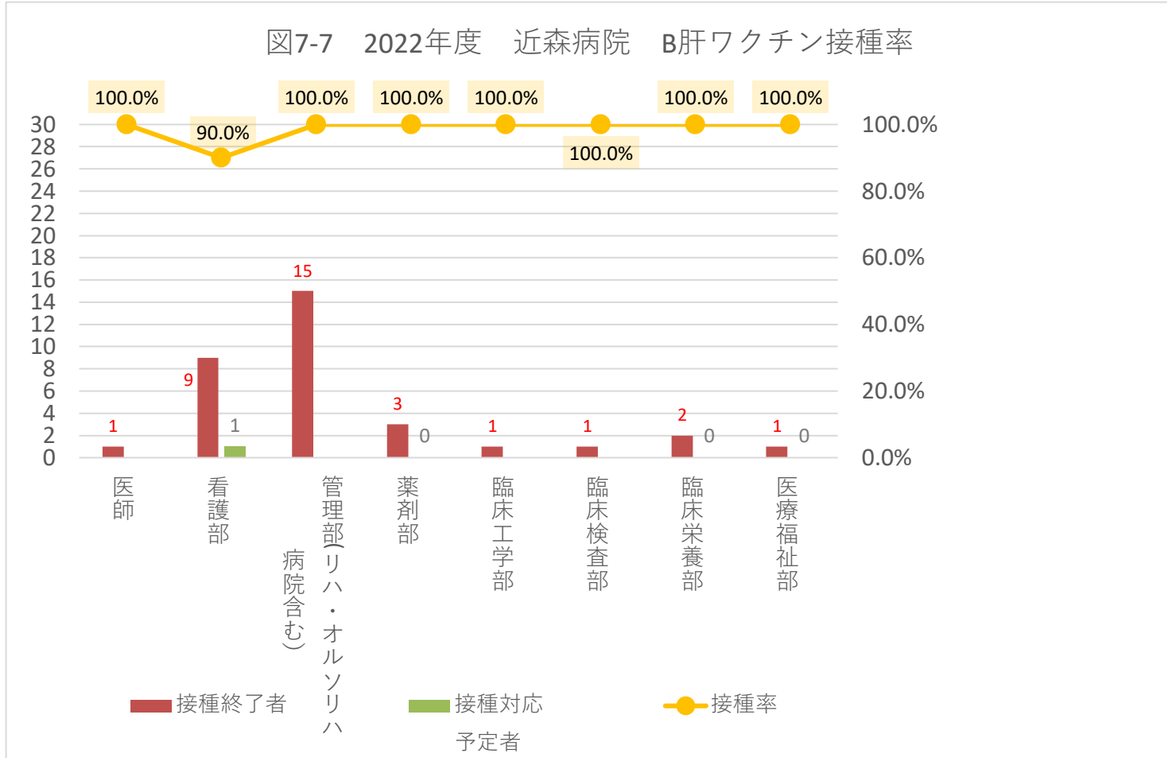


表6-7

	職種	HB s 抗原・抗体陰性者	HBsワクチン接種対象者	接種終了者	接種対応予定者	接種率
リハ病院	看護部	3	2	2	0	100.0%
	作業療法部	2	2	2	0	100.0%
	医療福祉部	1	1	1	0	100.0%
	合計	6	5	5	0	100.0%

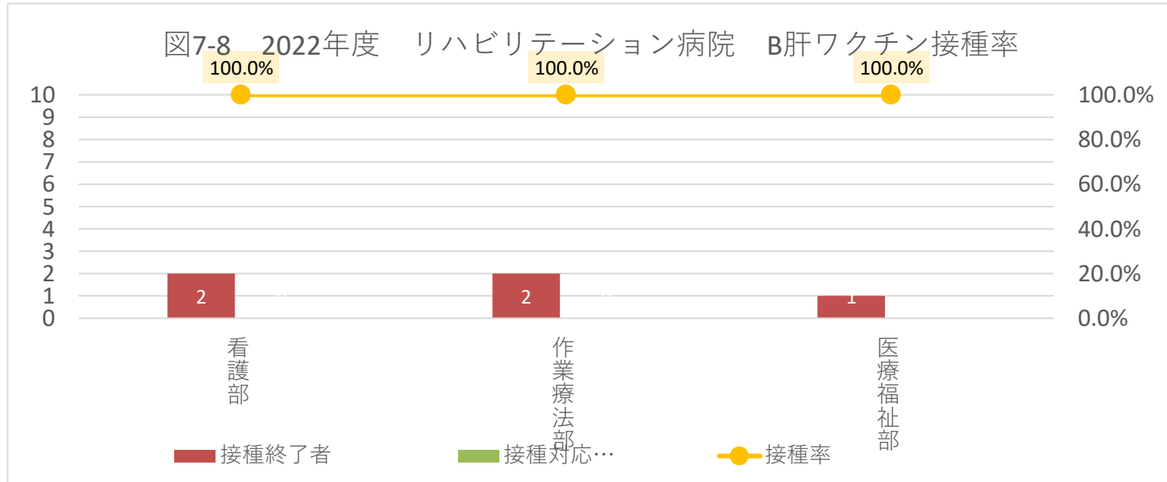


表6-8

	職種	HB s 抗原・抗体陰性者	HBsワクチン接種対象者	接種終了者	接種対応予定者	接種率
オルソリハ病院	理学療法部	1	1	0	1	0.0%
	合計	1	1	0	1	0.0%

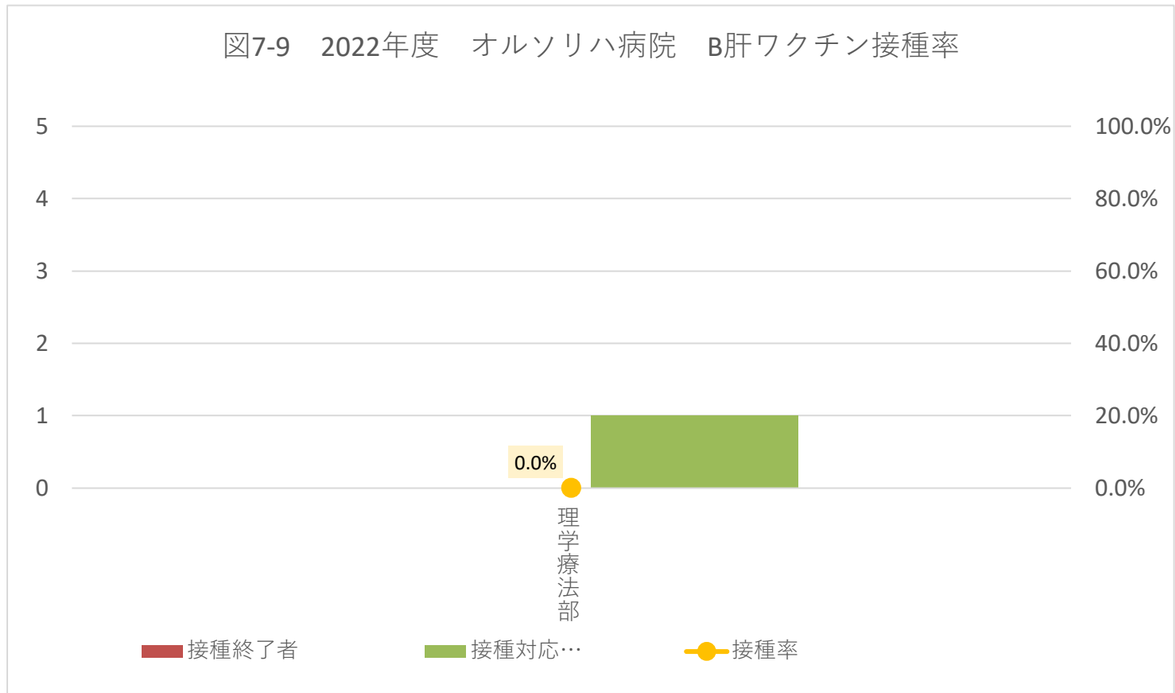
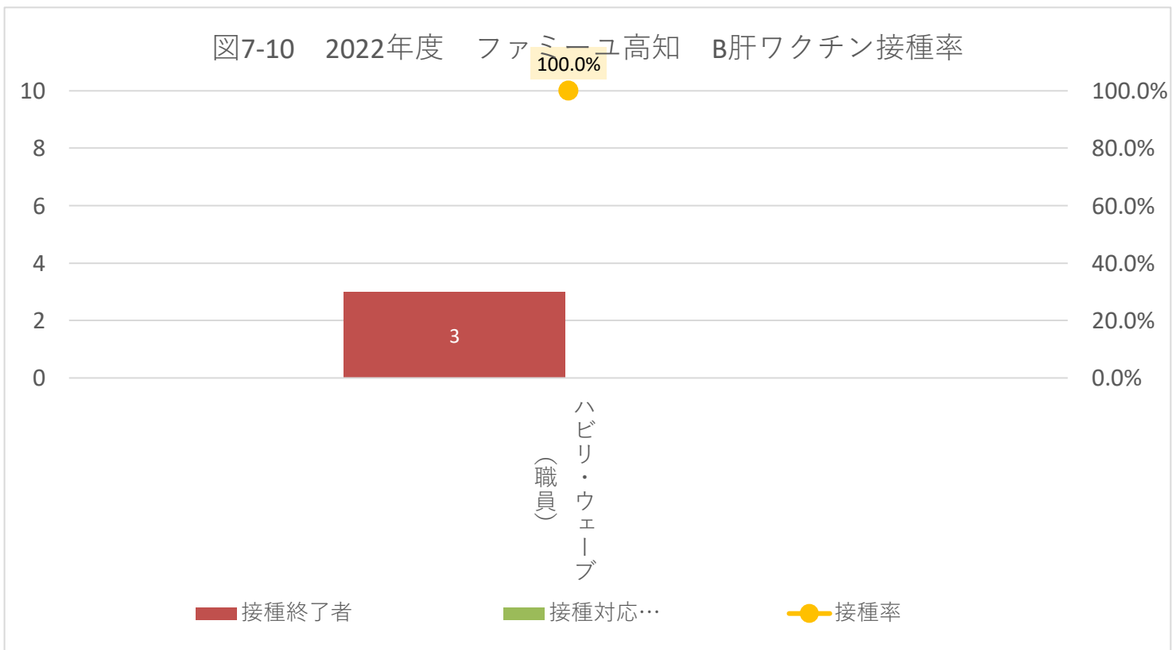


表6-9

	職種	HB s 抗原・抗体陰性者	HBsワクチン接種対象者	接種終了者	接種対応予定者	接種率
ファミーユ高知	ハビリ・ウェーブ（職員）	4	3	3	0	100.0%
	合計	4	3	3	0	100.0%



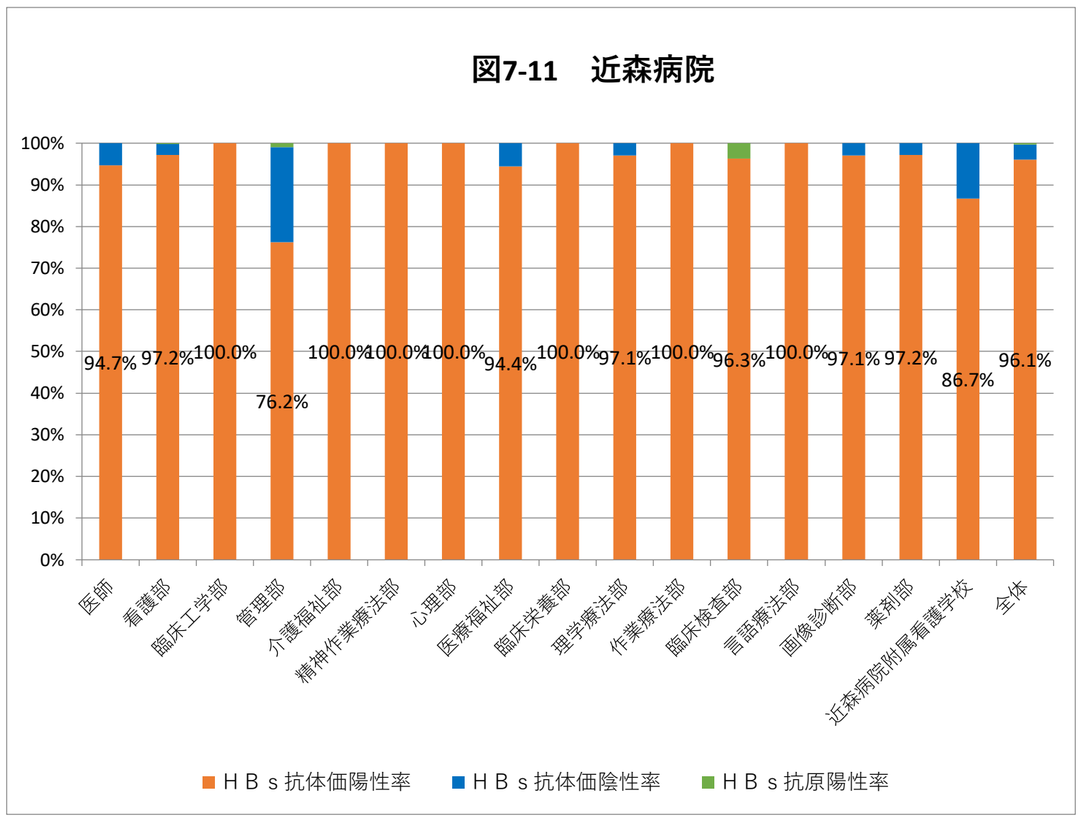
HBs抗体陽性率

2023/2時点

●近森病院

表6-10

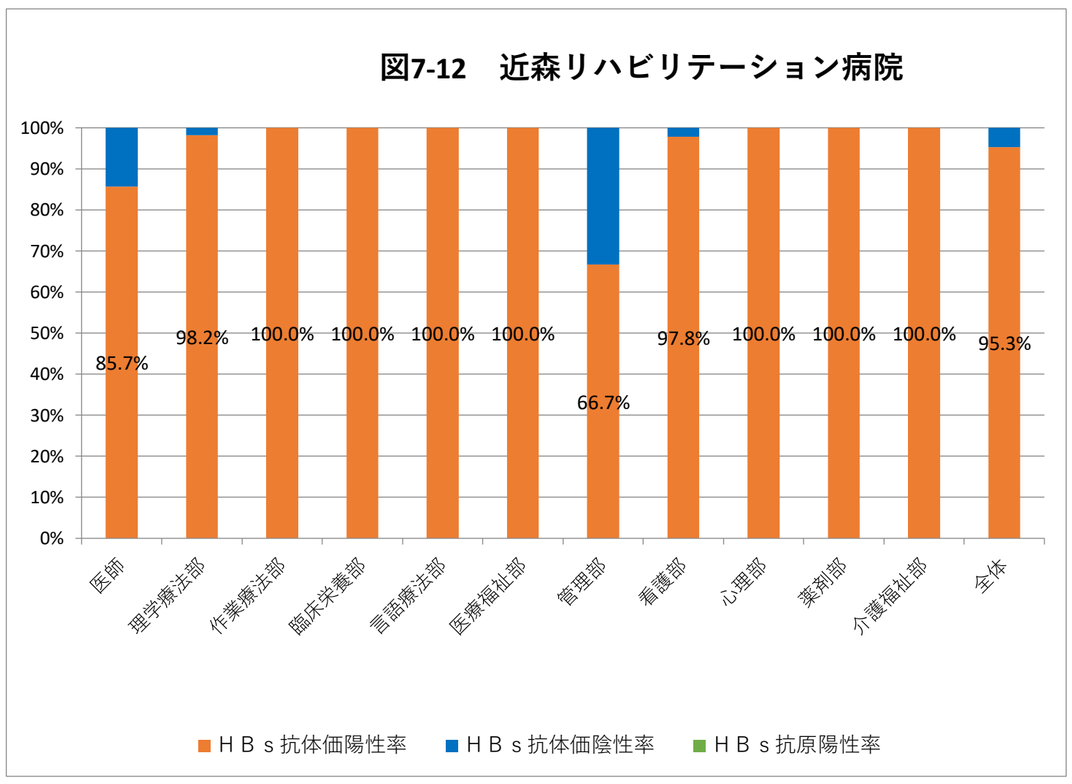
	HBs抗体陽性者数	HBs抗体陰性者数	HBs抗原陽性者数	職員数	HBs抗体価陽性率	HBs抗体価陰性率	HBs抗原陽性率
医師	142	8	0	150	94.7%	5.3%	0.0%
看護部	619	17	1	637	97.2%	2.7%	0.2%
臨床工学部	34	0	0	34	100.0%	0.0%	0.0%
管理部	157	47	2	206	76.2%	22.8%	1.0%
介護福祉部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
精神作業療法部	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%
心理部	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%
医療福祉部	17	1	0	18	94.4%	5.6%	0.0%
臨床栄養部	22	0	0	22	100.0%	0.0%	0.0%
理学療法部	67	2	0	69	97.1%	2.9%	0.0%
作業療法部	24	0	0	24	100.0%	0.0%	0.0%
臨床検査部	52	0	2	54	96.3%	0.0%	3.7%
言語療法部	8	0	0	8	100.0%	0.0%	0.0%
画像診断部	33	1	0	34	97.1%	2.9%	0.0%
薬剤部	35	1	0	36	97.2%	2.8%	0.0%
近森病院附属看護学校	13	2	0	15	86.7%	13.3%	0.0%
全体	1233	79	5	1317	96.1%	3.6%	0.3%



●近森リハビリテーション病院

表6-11

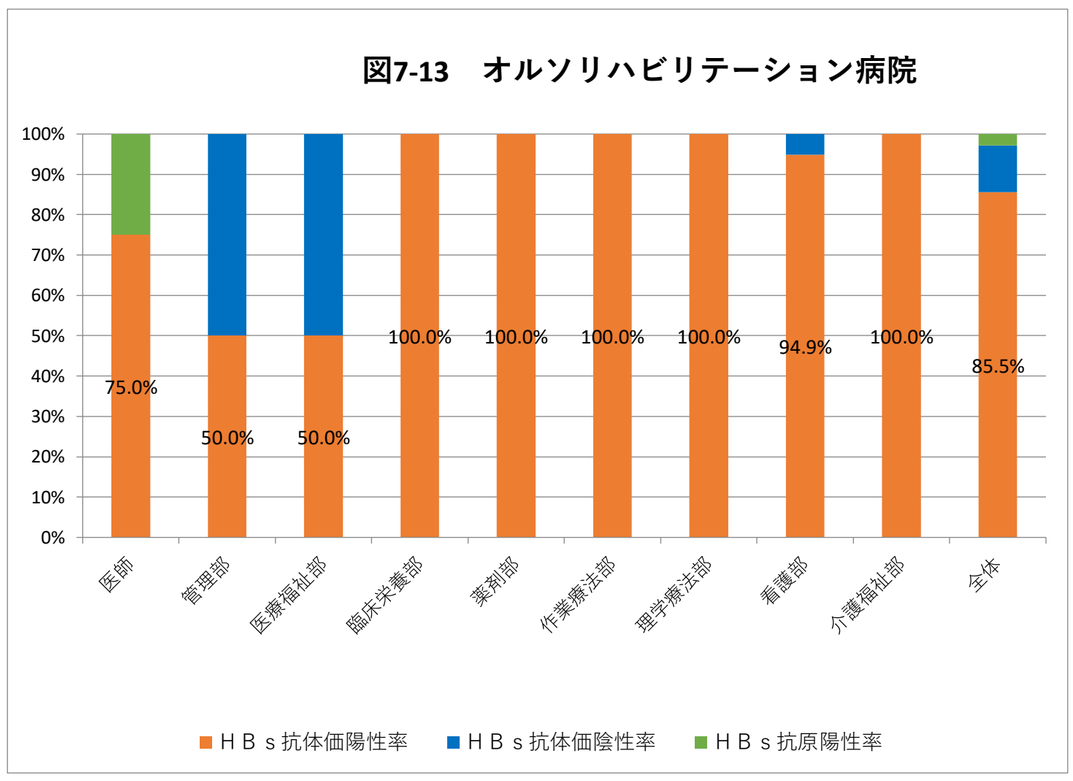
	HBs抗体陽性者数	HBs抗体陰性者数	HBs抗原陽性者数	職員数	HBs抗体価陽性率	HBs抗体価陰性率	HBs抗原陽性率
医師	6	1	0	7	85.7%	14.3%	0.0%
理学療法部	56	1	0	57	98.2%	1.8%	0.0%
作業療法部	46	0	0	46	100.0%	0.0%	0.0%
臨床栄養部	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%
言語療法部	24	0	0	24	100.0%	0.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%
管理部	2	1	0	3	66.7%	33.3%	0.0%
看護部	91	2	0	93	97.8%	2.2%	0.0%
心理部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
薬剤部	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%
介護福祉部	30	0	0	30	100.0%	0.0%	0.0%
全体	273	5	0	278	95.3%	4.7%	0.0%



●オルソリハビリテーション病院

表6-12

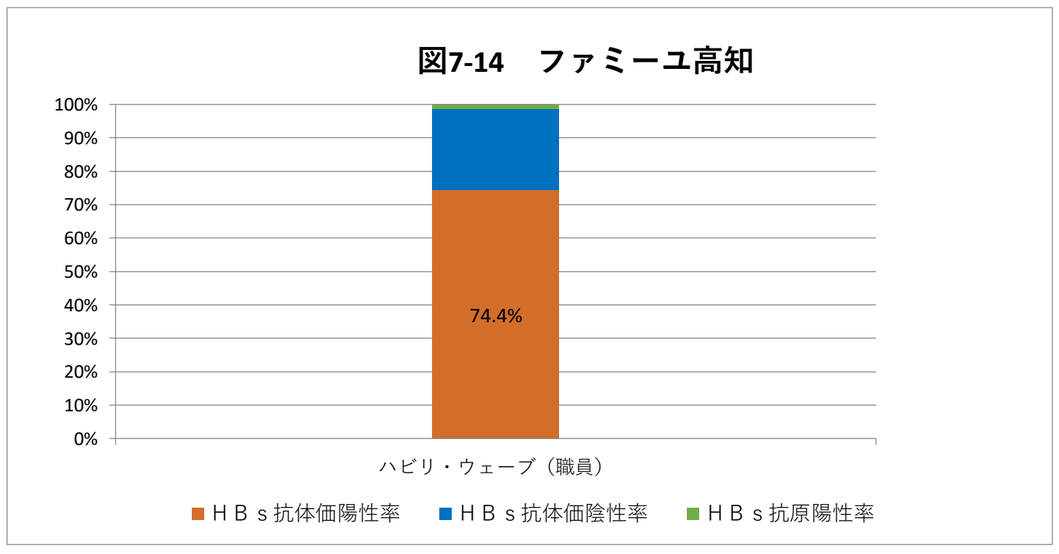
	HBs抗体陽性者数	HBs抗体陰性者数	HBs抗原陽性者数	職員数	HBs抗体価陽性率	HBs抗体価陰性率	HBs抗原陽性率
医師	3	0	1	4	75.0%	0.0%	25.0%
管理部	6	6	0	12	50.0%	50.0%	0.0%
医療福祉部	1	1	0	2	50.0%	50.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
薬剤部	1	0	0	1	100.0%	0.0%	0.0%
作業療法部	9	0	0	9	100.0%	0.0%	0.0%
理学療法部	31	0	0	31	100.0%	0.0%	0.0%
看護部	56	3	0	59	94.9%	5.1%	0.0%
介護福祉部	8	0	0	8	100.0%	0.0%	0.0%
全体	117	10	1	128	85.5%	11.7%	2.8%



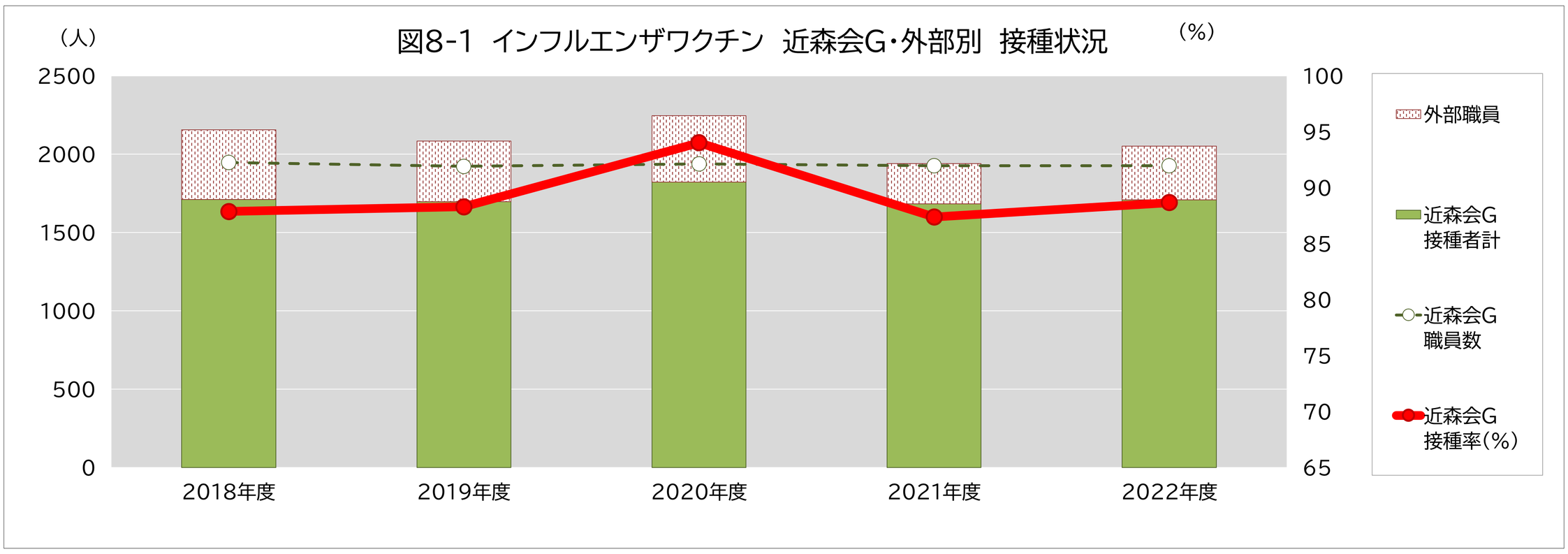
●ファミーユ高知

表6-13

	HBs抗体陽性者数	HBs抗体陰性者数	HBs抗原陽性者数	職員数	HBs抗体価陽性率	HBs抗体価陰性率	HBs抗原陽性率
ハビリ・ウェーブ（職員）	58	19	1	78	74.4%	24.4%	1.3%
全体	58	19	1	78	74.4%	24.4%	1.3%



■インフルエンザワクチン接種■



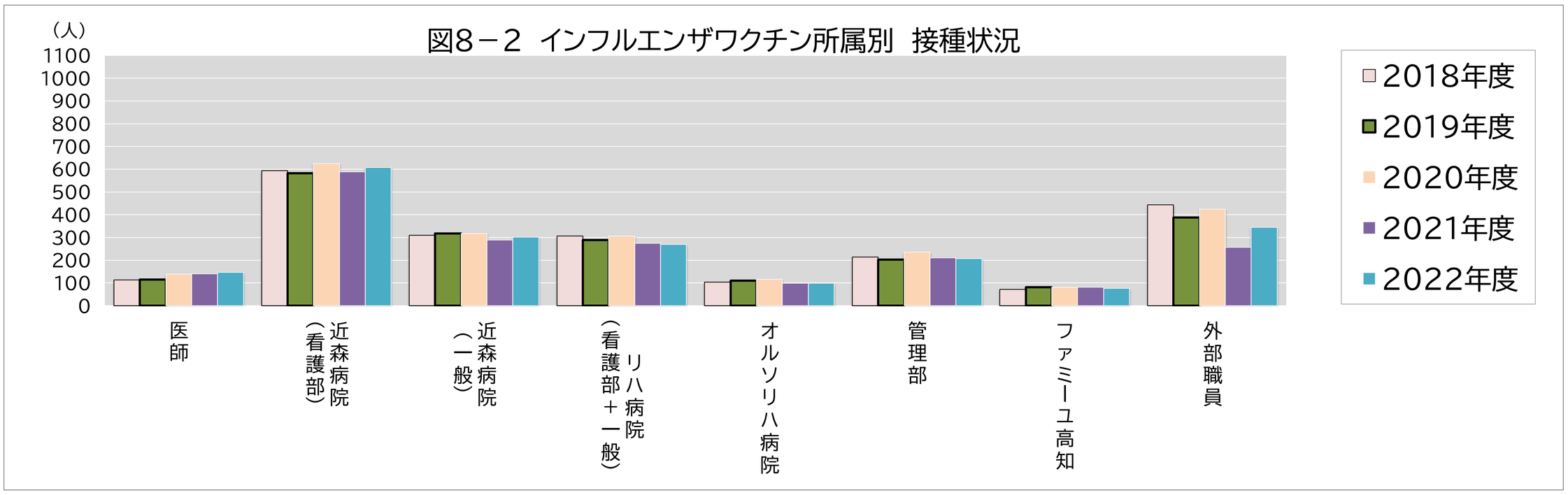


表７－１ 接種者数の推移

所属、部署など	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
医師	113	115	138	141	146
近森病院（看護部）	593	583	625	589	608
近森病院（一般）	309	318	318	288	301
リハ病院（看護部＋一般）	306	288	307	275	269
オルソリハ病院	104	110	117	99	99
管理部	214	202	236	211	208
ファミーユ高知	72	82	82	81	77
外部職員	444	387	424	257	344
近森会G 接種者計	1711	1698	1823	1684	1708
接種者 総合計	2155	2085	2247	1941	2052
近森会G 接種率（%）	87.9	88.3	94.0	87.4	88.7

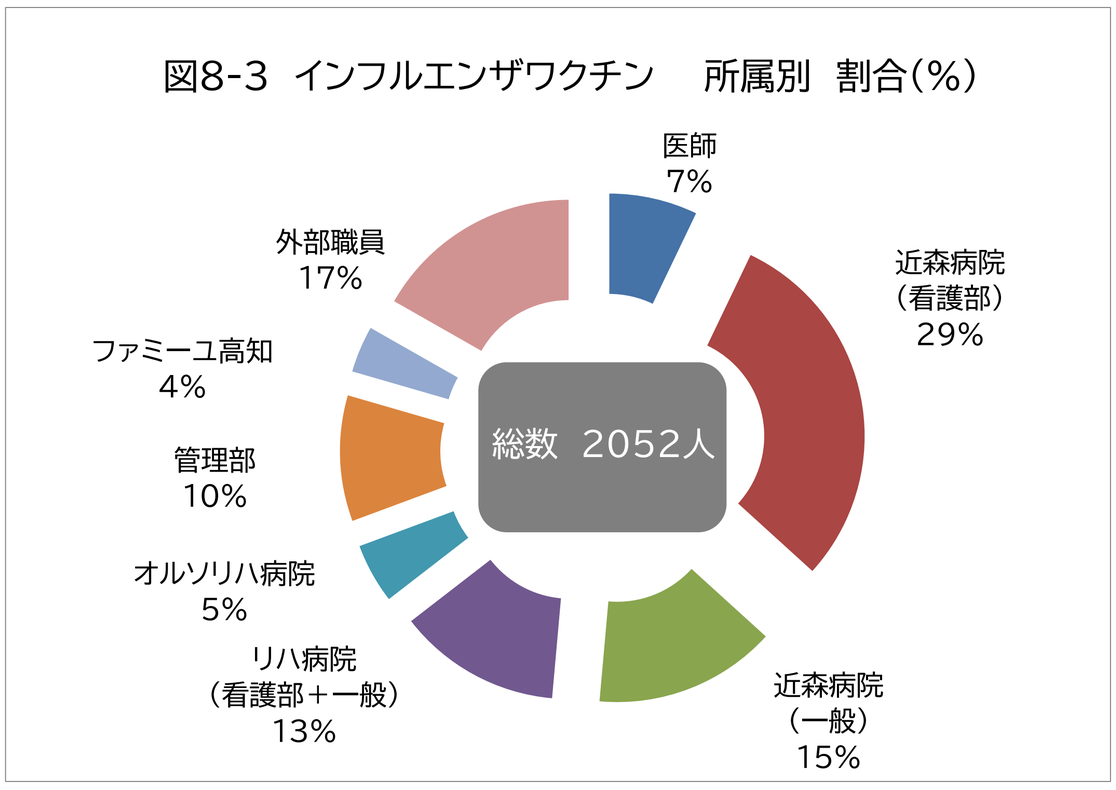


表７－２ 病院別接種率

2022年	近森病院（管理部含む）	リハ病院	オルソリハ病院	ファミーユ高知
対象者	1417	291	121	97
接種者	1253	275	103	77
接種率（%）	88.4	94.5	85.1	79.4

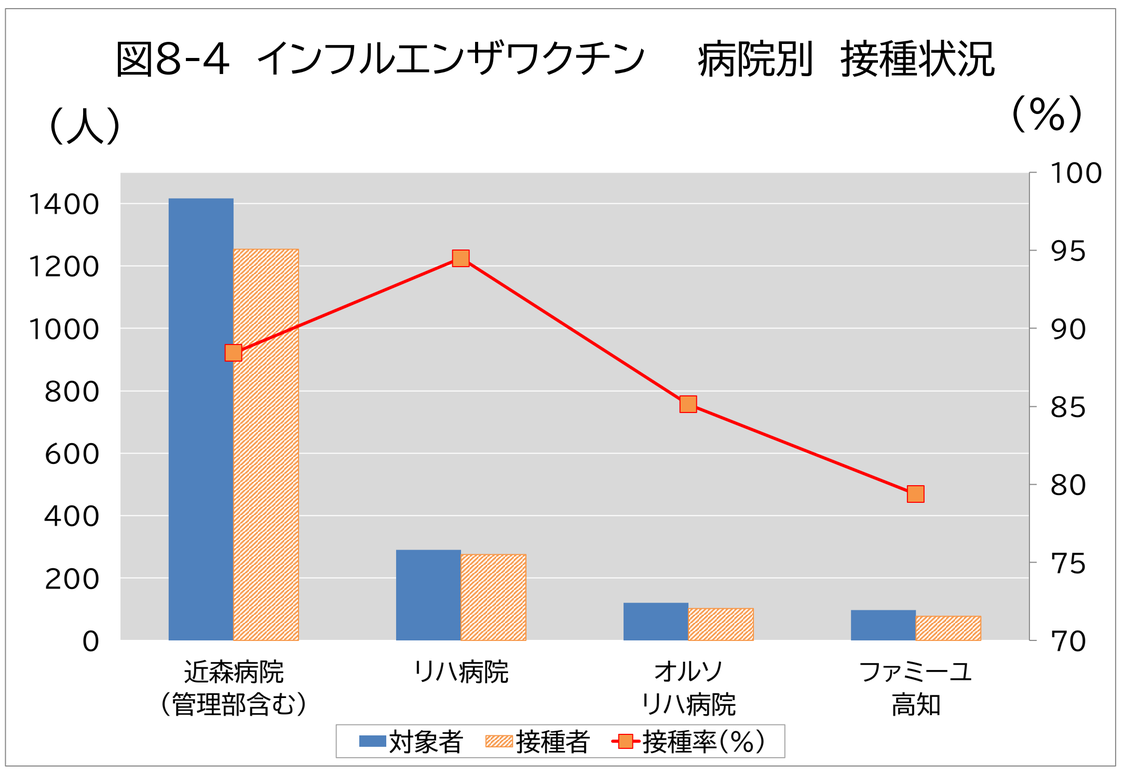


表７－３

近森病院	職員数	接種人数	接種率
医師	155	136	88%
看護部・介護福祉部	667	608	91%
臨床心理士	3	3	100%
薬剤部	40	38	95%
画像診断部	34	23	68%
検査部	55	52	95%
臨床工学技士	37	31	84%
理学療法科	69	64	93%
作業療法科	30	27	90%
言語療法科	10	6	60%
医療福祉部	18	18	100%
臨床栄養部	25	23	92%
看護学校設立事務局	17	16	94%
管理部（リハ・オルソ含む）	257	208	81%
合計	1417	1253	88.4%

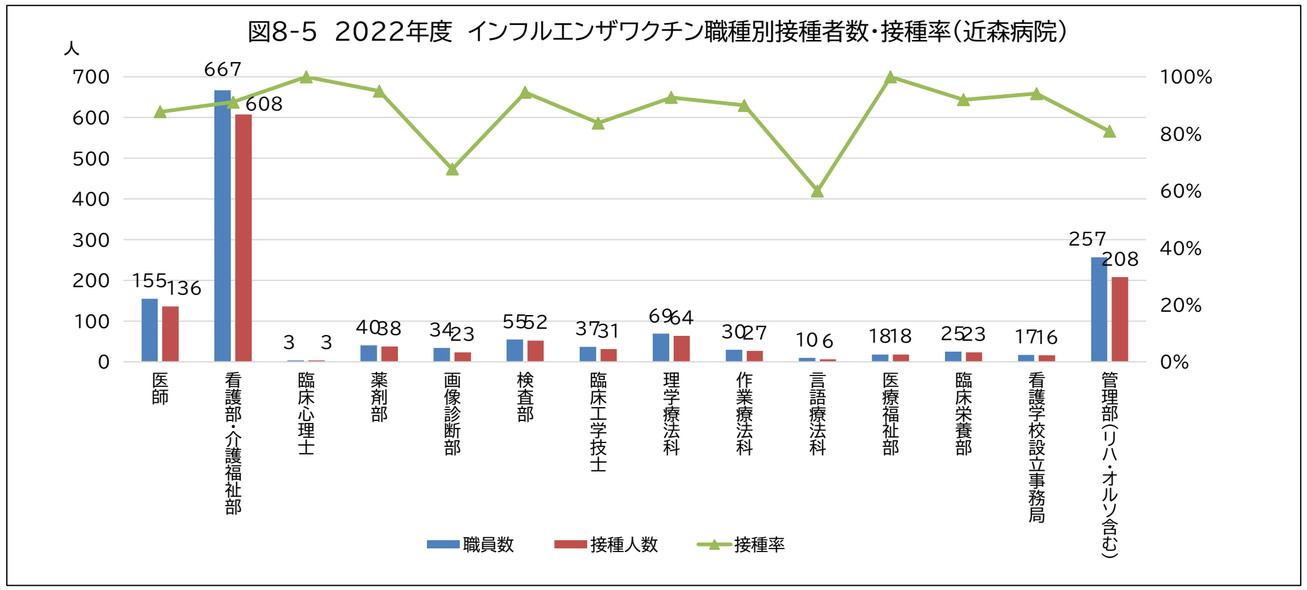


表７－４

リハ病院	職員数	接種人数	接種率
医師	7	6	86%
看護部・介護福祉部	134	128	96%
理学療法科	63	57	90%
作業療法科	48	46	96%
言語療法科	23	23	100%
臨床心理士	2	2	100%
薬剤部	4	4	100%
臨床栄養部	4	4	100%
医療福祉部	6	5	83%
合計	291	275	94.5%

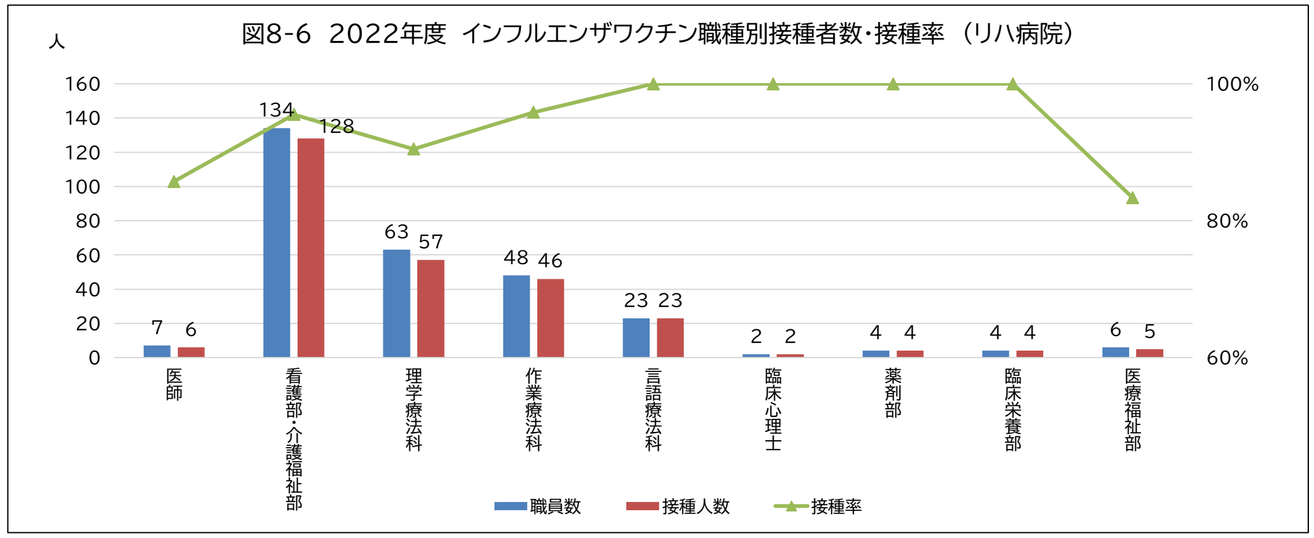
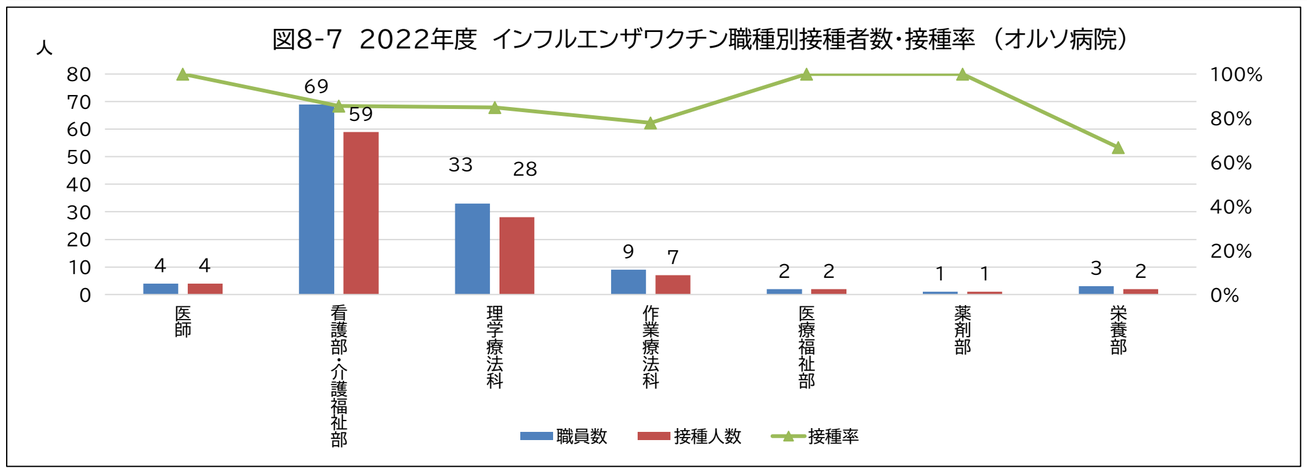


表７－５

オルソリハ病院	職員数	接種人数	接種率
医師	4	4	100%
看護部・介護福祉部	69	59	86%
理学療法科	33	28	85%
作業療法科	9	7	78%
医療福祉部	2	2	100%
薬剤部	1	1	100%
栄養部	3	2	67%
合計	121	103	85.1%



	職員数	接種人数	接種率
ファミーユ高知	97	77	79%
合計	97	77	79.4%

	職員数	接種人数	接種率
近森会G　総合計	1926	1708	88.7%

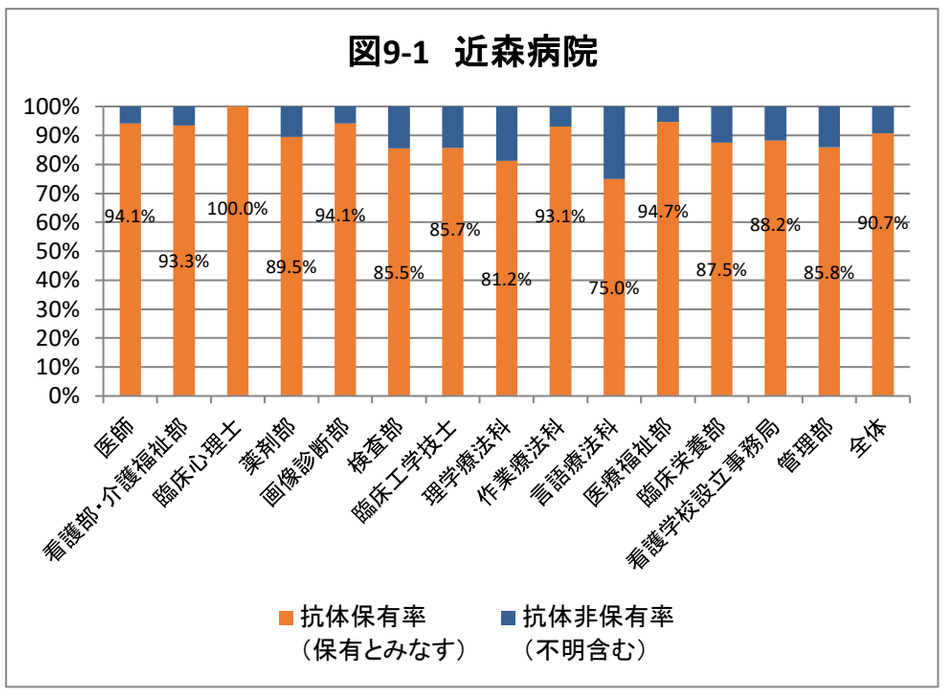
麻疹　抗体保有率

2023/02/16時点

● 近森病院

表8-1

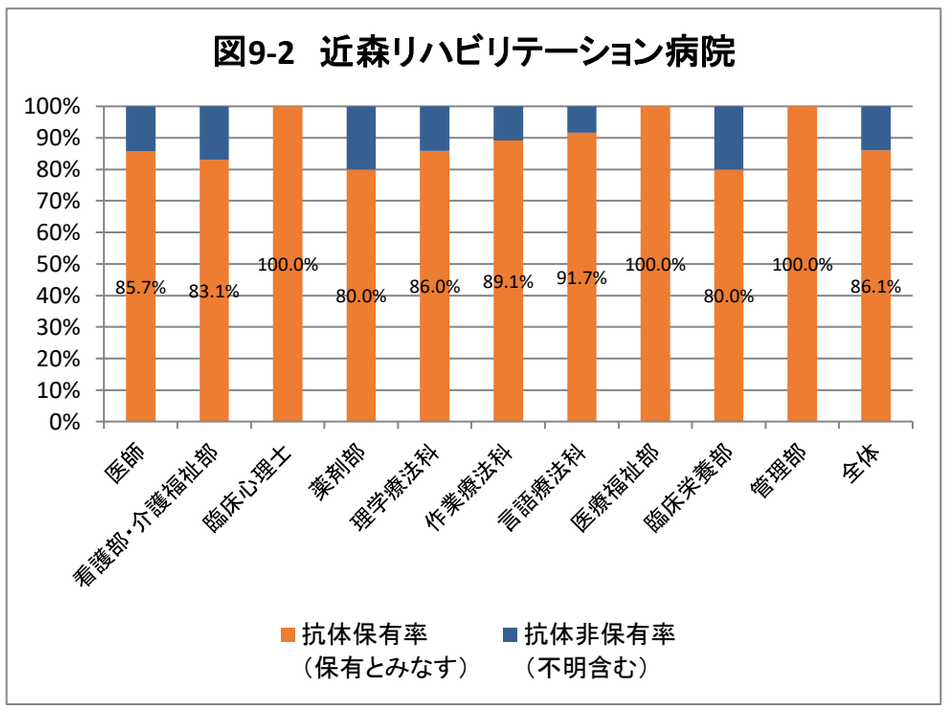
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	144	9	153	94.1%	5.9%
看護部・介護福祉部	603	43	646	93.3%	6.7%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	34	4	38	89.5%	10.5%
画像診断部	32	2	34	94.1%	5.9%
検査部	47	8	55	85.5%	14.5%
臨床工学技士	30	5	35	85.7%	14.3%
理学療法科	56	13	69	81.2%	18.8%
作業療法科	27	2	29	93.1%	6.9%
言語療法科	6	2	8	75.0%	25.0%
医療福祉部	18	1	19	94.7%	5.3%
臨床栄養部	21	3	24	87.5%	12.5%
看護学校設立事務局	15	2	17	88.2%	11.8%
管理部	194	32	226	85.8%	14.2%
全体	1230	126	1356	90.7%	9.3%



● 近森リハビリテーション病院

表8-2

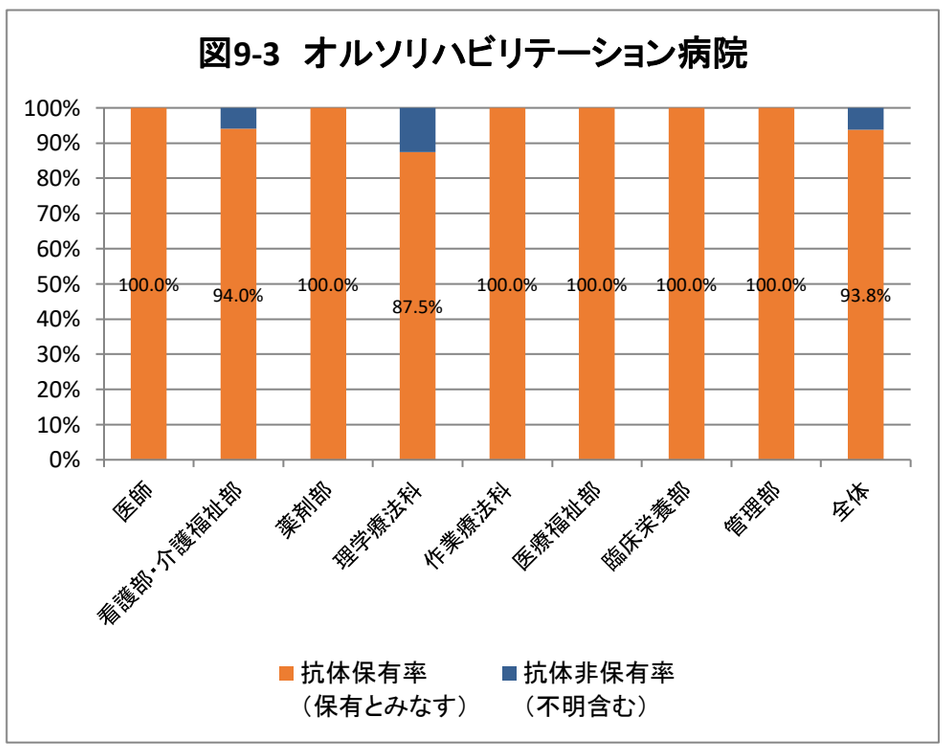
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	6	1	7	85.7%	14.3%
看護部・介護福祉部	103	21	124	83.1%	16.9%
臨床心理士	2	0	2	100.0%	0.0%
薬剤部	4	1	5	80.0%	20.0%
理学療法科	49	8	57	86.0%	14.0%
作業療法科	41	5	46	89.1%	10.9%
言語療法科	22	2	24	91.7%	8.3%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	4	1	5	80.0%	20.0%
管理部	4	0	4	100.0%	0.0%
全体	241	39	280	86.1%	13.9%



● オルソリハビリテーション病院

表8-3

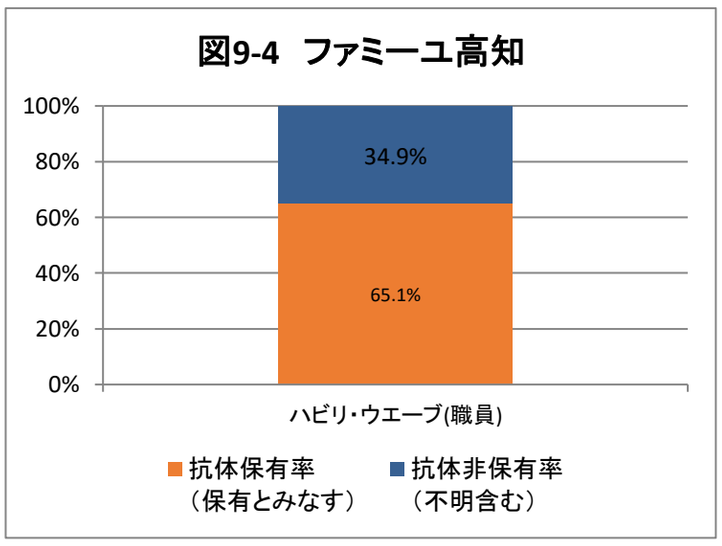
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	4	0	4	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	63	4	67	94.0%	6.0%
薬剤部	1	0	1	100.0%	0.0%
理学療法科	28	4	32	87.5%	12.5%
作業療法科	9	0	9	100.0%	0.0%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	12	0	12	100.0%	0.0%
全体	121	8	129	93.8%	6.2%



● ファミーユ高知

表8-4

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
ハビリ・ウエーブ(職員)	54	29	83	65.1%	34.9%
全体	54	29	83	65.1%	34.9%



補足

2023年2月16日時点在職者対象

抗体保有とは・・・抗体価陽性（基準を満たす）または規定のワクチン接種回数を満たしている

2015年9月1日～2017年10月31日のファミーユ入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

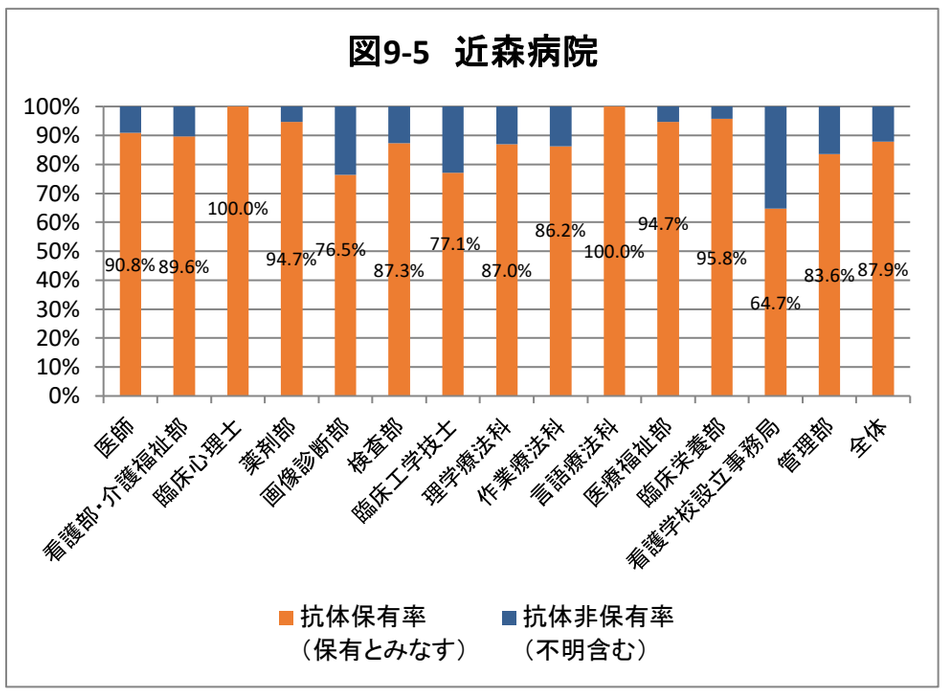
風疹　抗体保有率

2023/02/16時点

● 近森病院

表8-5

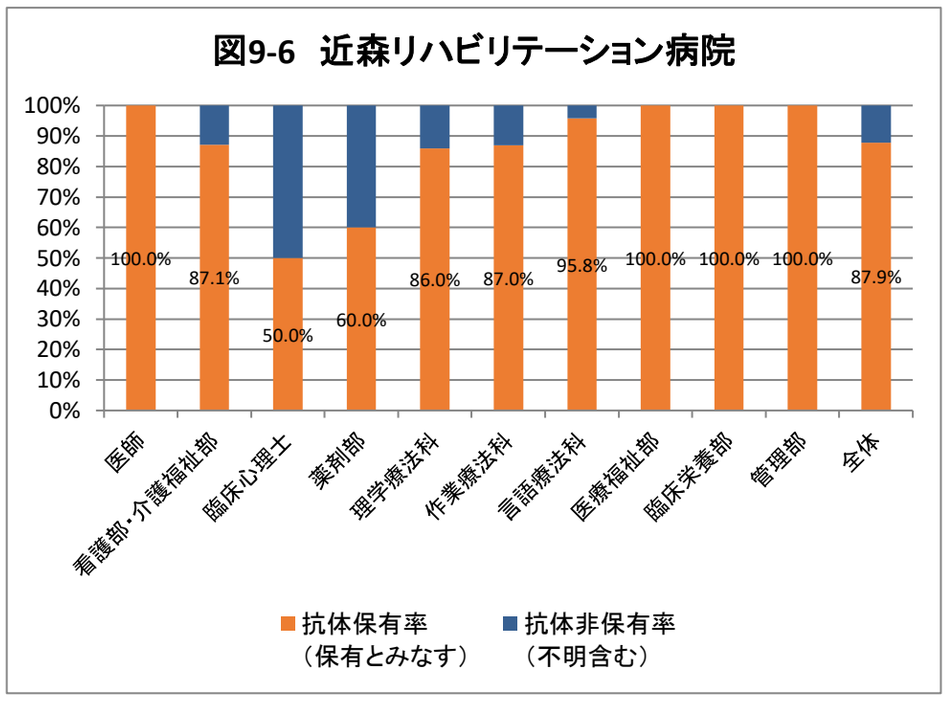
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	139	14	153	90.8%	9.2%
看護部・介護福祉部	579	67	646	89.6%	10.4%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	36	2	38	94.7%	5.3%
画像診断部	26	8	34	76.5%	23.5%
検査部	48	7	55	87.3%	12.7%
臨床工学技士	27	8	35	77.1%	22.9%
理学療法科	60	9	69	87.0%	13.0%
作業療法科	25	4	29	86.2%	13.8%
言語療法科	8	0	8	100.0%	0.0%
医療福祉部	18	1	19	94.7%	5.3%
臨床栄養部	23	1	24	95.8%	4.2%
看護学校設立事務局	11	6	17	64.7%	35.3%
管理部	189	37	226	83.6%	16.4%
全体	1192	164	1356	87.9%	12.1%



● 近森リハビリテーション病院

表8-6

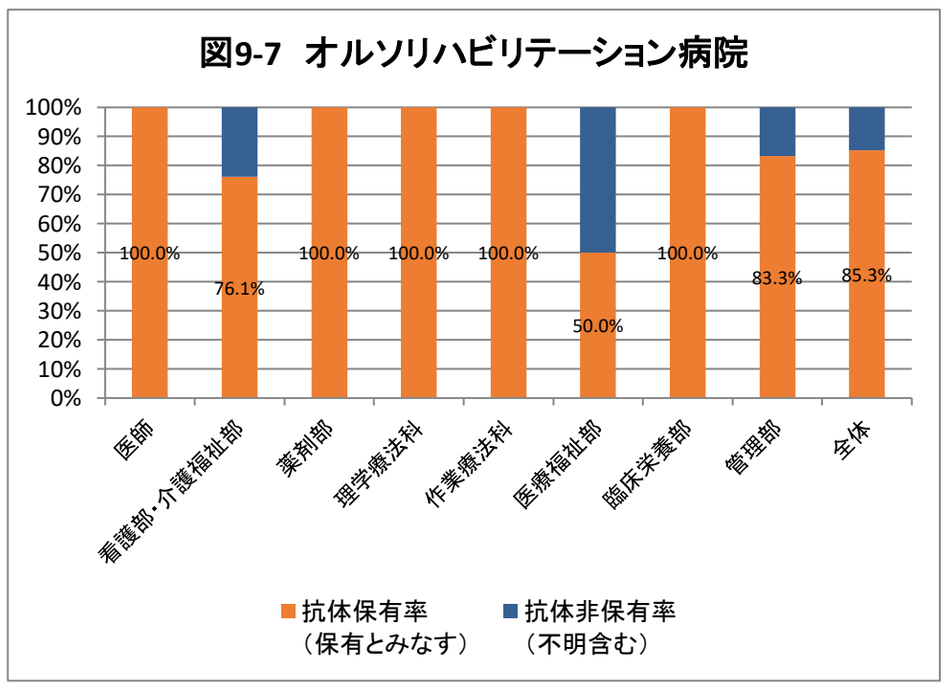
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	7	0	7	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	108	16	124	87.1%	12.9%
臨床心理士	1	1	2	50.0%	50.0%
薬剤部	3	2	5	60.0%	40.0%
理学療法科	49	8	57	86.0%	14.0%
作業療法科	40	6	46	87.0%	13.0%
言語療法科	23	1	24	95.8%	4.2%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	5	0	5	100.0%	0.0%
管理部	4	0	4	100.0%	0.0%
全体	246	34	280	87.9%	12.1%



● オルソリハビリテーション病院

表8-7

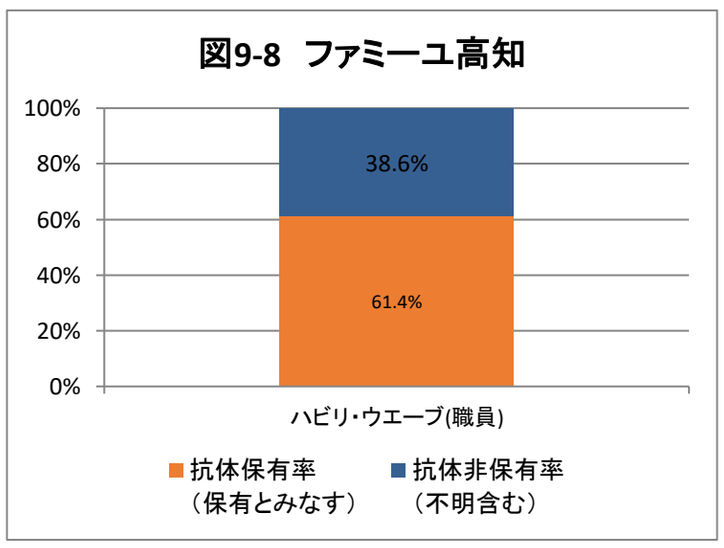
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	4	0	4	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	51	16	67	76.1%	23.9%
薬剤部	1	0	1	100.0%	0.0%
理学療法科	32	0	32	100.0%	0.0%
作業療法科	9	0	9	100.0%	0.0%
医療福祉部	1	1	2	50.0%	50.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	10	2	12	83.3%	16.7%
全体	110	19	129	85.3%	14.7%



● ファミーユ高知

表8-8

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認	抗体保有率（保有とみな	抗体非保有率（不明含む）
ハビリ・ウエーブ(職員)	51	32	83	61.4%	38.6%
全体	51	32	83	61.4%	38.6%



補足

2023年2月16日時点在職者対象

抗体保有とは・・・抗体価陽性（基準を満たす）または規定のワクチン接種回数を満たしている

2015年9月1日～2017年10月31日のファミーユ入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

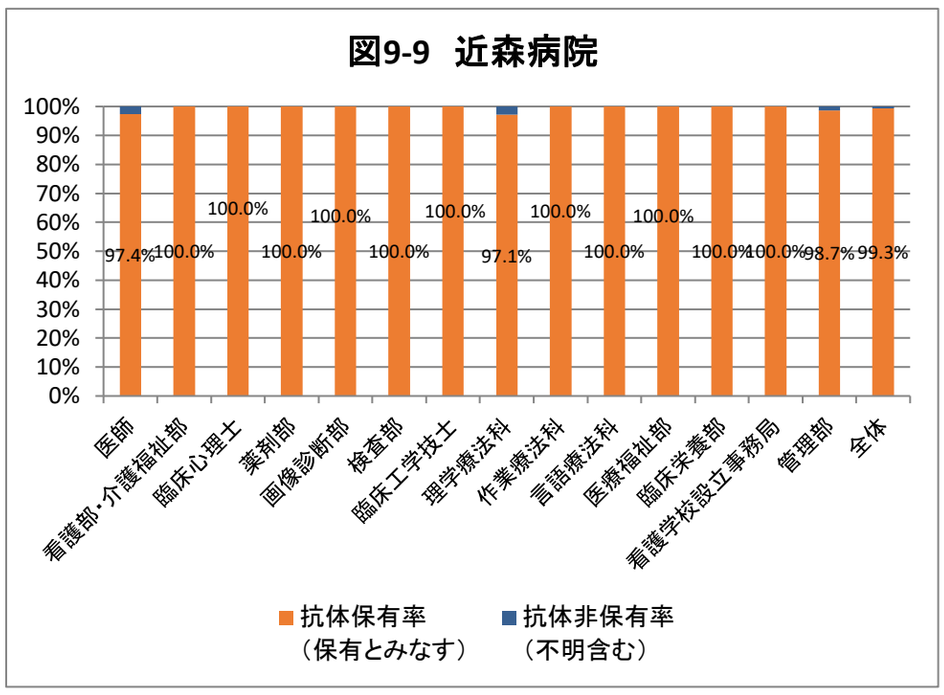
水痘　抗体保有率

2023/02/16時点

● 近森病院

表8-9

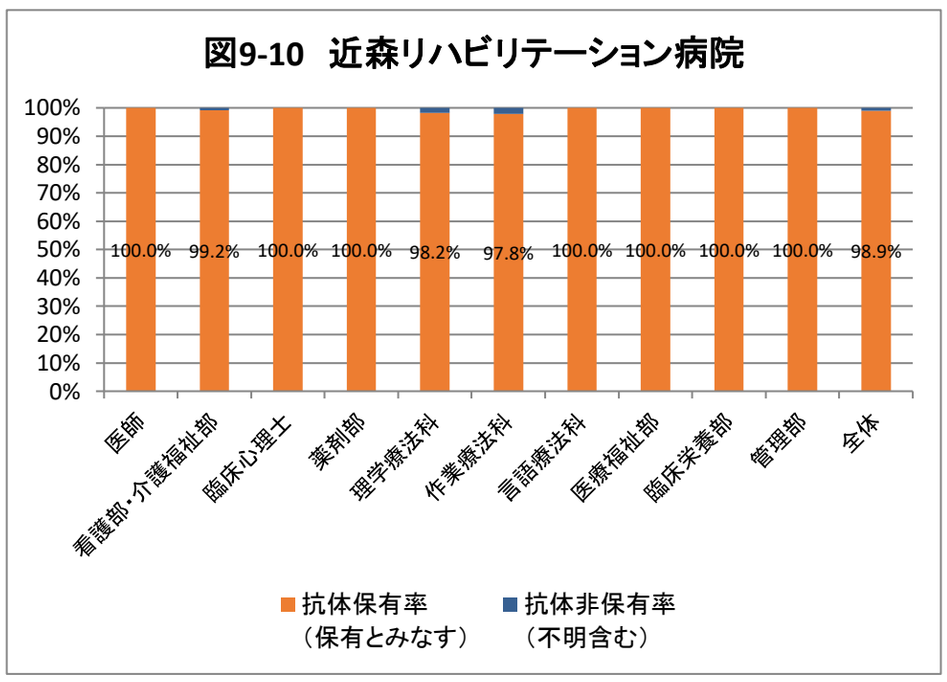
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	149	4	153	97.4%	2.6%
看護部・介護福祉部	646	0	646	100.0%	0.0%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	38	0	38	100.0%	0.0%
画像診断部	34	0	34	100.0%	0.0%
検査部	55	0	55	100.0%	0.0%
臨床工学技士	35	0	35	100.0%	0.0%
理学療法科	67	2	69	97.1%	2.9%
作業療法科	29	0	29	100.0%	0.0%
言語療法科	8	0	8	100.0%	0.0%
医療福祉部	19	0	19	100.0%	0.0%
臨床栄養部	24	0	24	100.0%	0.0%
看護学校設立事務局	17	0	17	100.0%	0.0%
管理部	223	3	226	98.7%	1.3%
全体	1347	9	1356	99.3%	0.7%



● 近森リハビリテーション病院

表8-10

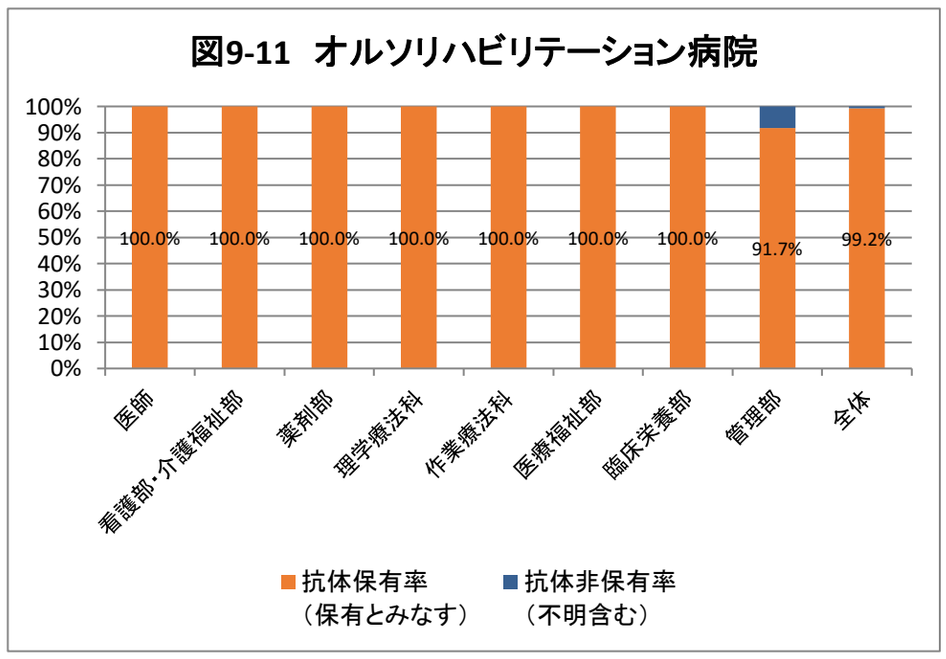
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	7	0	7	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	123	1	124	99.2%	0.8%
臨床心理士	2	0	2	100.0%	0.0%
薬剤部	5	0	5	100.0%	0.0%
理学療法科	56	1	57	98.2%	1.8%
作業療法科	45	1	46	97.8%	2.2%
言語療法科	24	0	24	100.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	5	0	5	100.0%	0.0%
管理部	4	0	4	100.0%	0.0%
全体	277	3	280	98.9%	1.1%



● オルソリハビリテーション病院

表8-11

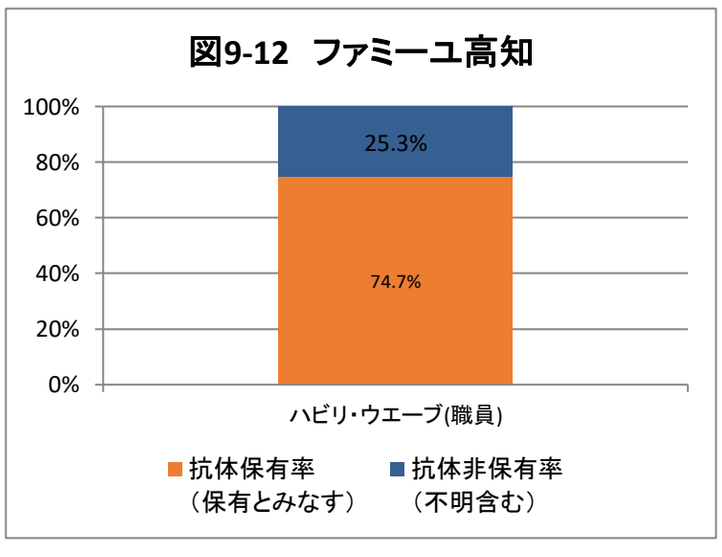
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	4	0	4	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	67	0	67	100.0%	0.0%
薬剤部	1	0	1	100.0%	0.0%
理学療法科	32	0	32	100.0%	0.0%
作業療法科	9	0	9	100.0%	0.0%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	11	1	12	91.7%	8.3%
全体	128	1	129	99.2%	0.8%



● ファミーユ高知

表8-12

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認	抗体保有率（保有とみな	抗体非保有率（不明含む）
ハビリ・ウエーブ(職員)	62	21	83	74.7%	25.3%
全体	62	21	83	74.7%	25.3%



補足

2023年2月16日時点在職者対象

抗体保有とは・・・抗体価陽性（基準を満たす）または規定のワクチン接種回数を満たしている

2015年9月1日～2017年10月31日のファミーユ入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

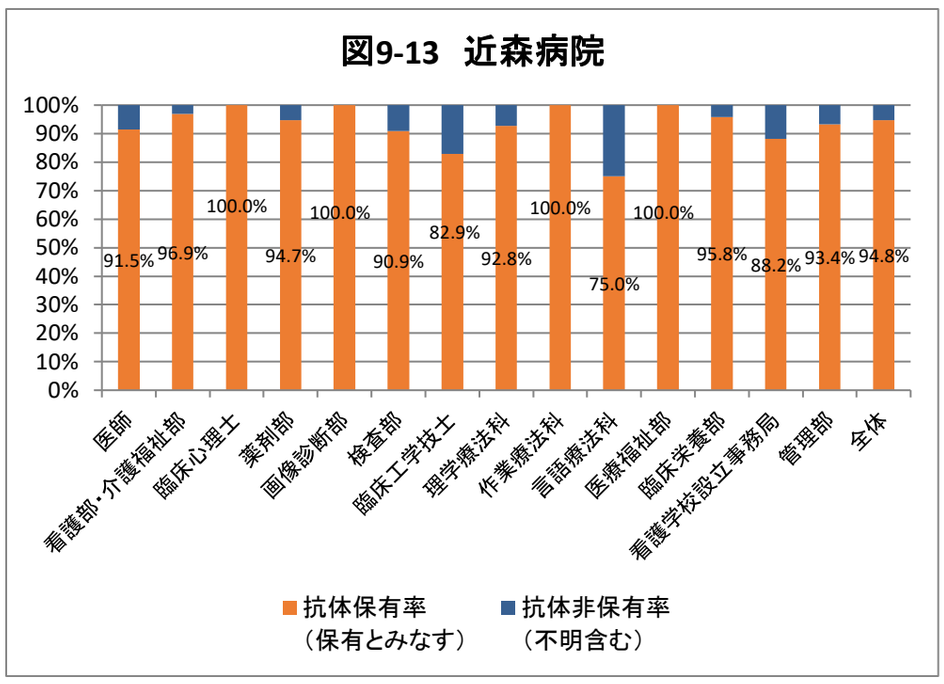
ムンプス　抗体保有率

2023/02/16時点

● 近森病院

表8-13

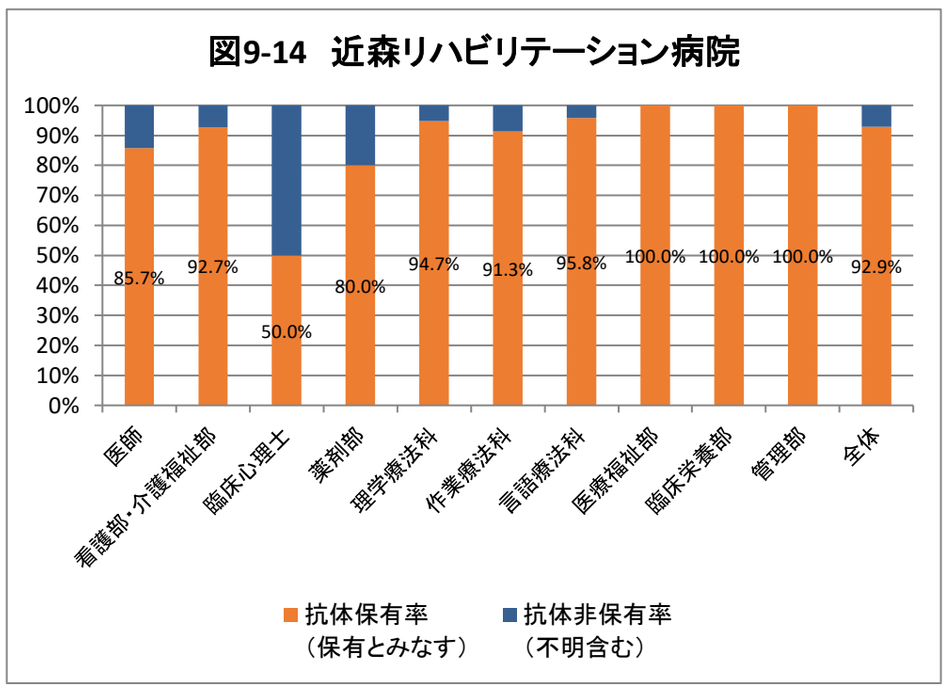
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	140	13	153	91.5%	8.5%
看護部・介護福祉部	626	20	646	96.9%	3.1%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	36	2	38	94.7%	5.3%
画像診断部	34	0	34	100.0%	0.0%
検査部	50	5	55	90.9%	9.1%
臨床工学技士	29	6	35	82.9%	17.1%
理学療法科	64	5	69	92.8%	7.2%
作業療法科	29	0	29	100.0%	0.0%
言語療法科	6	2	8	75.0%	25.0%
医療福祉部	19	0	19	100.0%	0.0%
臨床栄養部	23	1	24	95.8%	4.2%
看護学校設立事務局	15	2	17	88.2%	11.8%
管理部	211	15	226	93.4%	6.6%
全体	1285	71	1356	94.8%	5.2%



● 近森リハビリテーション病院

表8-14

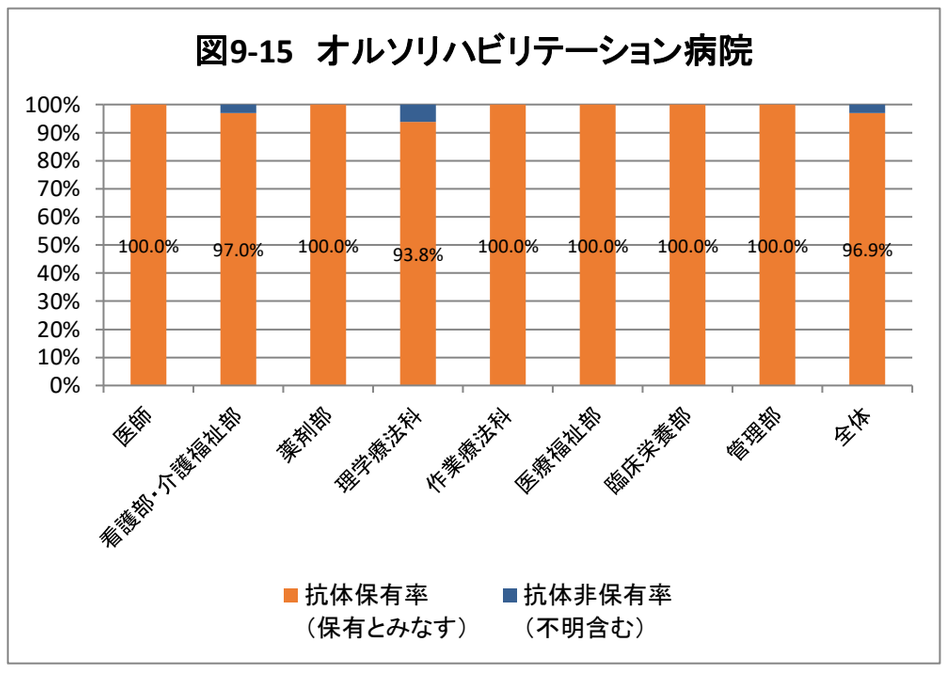
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	6	1	7	85.7%	14.3%
看護部・介護福祉部	115	9	124	92.7%	7.3%
臨床心理士	1	1	2	50.0%	50.0%
薬剤部	4	1	5	80.0%	20.0%
理学療法科	54	3	57	94.7%	5.3%
作業療法科	42	4	46	91.3%	8.7%
言語療法科	23	1	24	95.8%	4.2%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	5	0	5	100.0%	0.0%
管理部	4	0	4	100.0%	0.0%
全体	260	20	280	92.9%	7.1%



● オルソリハビリテーション病院

表8-15

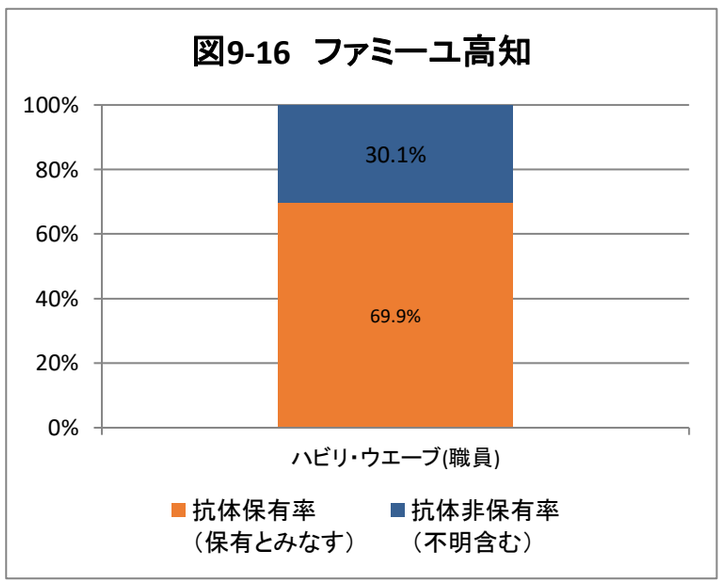
	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率（保有とみなす）	抗体非保有率（不明含む）
医師	4	0	4	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	65	2	67	97.0%	3.0%
薬剤部	1	0	1	100.0%	0.0%
理学療法科	30	2	32	93.8%	6.3%
作業療法科	9	0	9	100.0%	0.0%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	12	0	12	100.0%	0.0%
全体	125	4	129	96.9%	3.1%



● ファミーユ高知

表8-16

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認	抗体保有率（保有とみな	抗体非保有率（不明含む）
ハビリ・ウエーブ(職員)	58	25	83	69.9%	30.1%
全体	58	25	83	69.9%	30.1%



補足

2023年2月16日時点在職者対象

抗体保有とは・・・抗体価陽性（基準を満たす）または規定のワクチン接種回数を満たしている

2015年9月1日～2017年10月31日のファミーユ入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

■ T-SPOT.TB検査(IGRA) ■

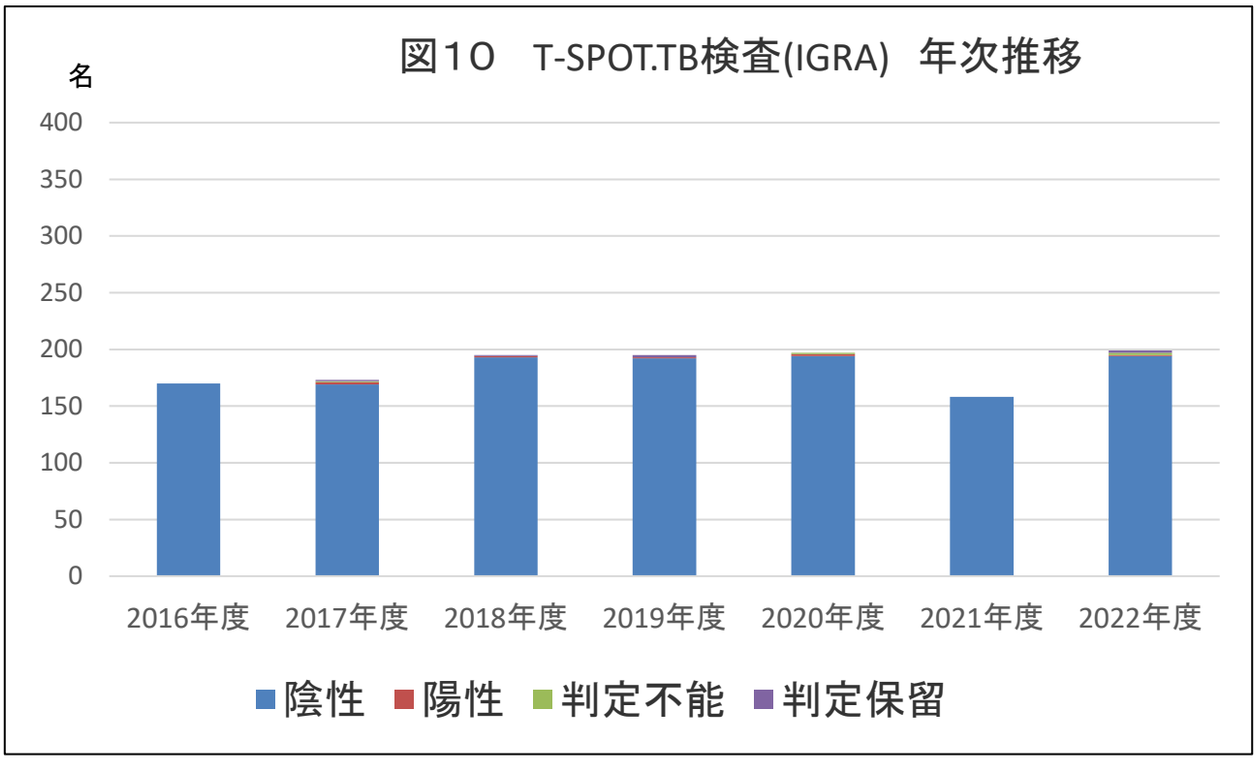


表9

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
陰性	170	169	193	192	194	158	194
陽性	0	2	1	1	2	0	1
判定不能	0	1	0	0	1	0	2
判定保留	0	1	1	2	0	0	2

■子宮頸がんワクチン接種■（2023年3月現在）

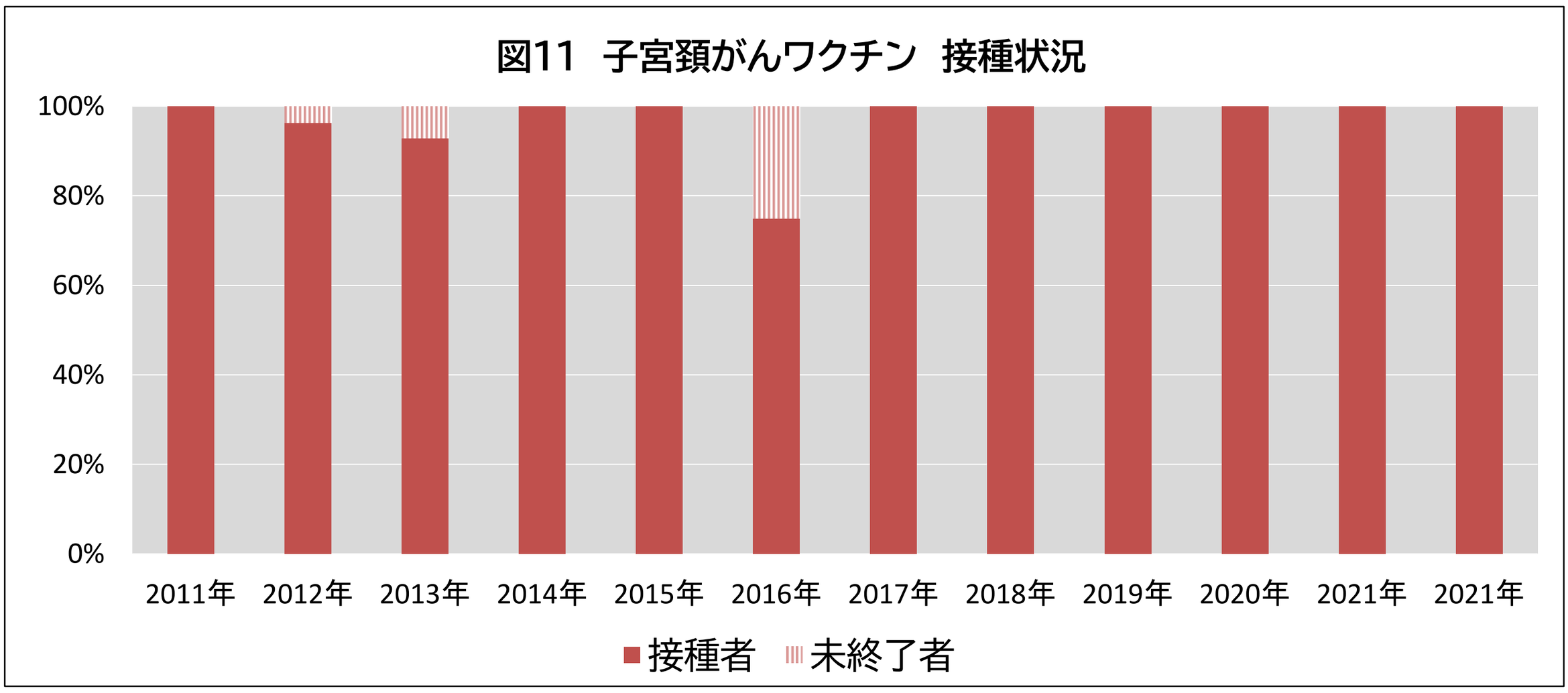


表10

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2021年
未終了者	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
接種者	94	52	13	2	3	3	1	6	1	2	2	1
申し込み者数	94	54	14	3	3	4	1	6	1	2	2	1
接種終了率	100.0	96.3	92.9	66.7	100.0	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※未終了者
…退職・妊娠・体調不良のためキャンセルを含む。
接種が延期となった方については、次年度以降の接種時に対応中。

■ 2022年度 近森会グループ 職員の喫煙率 ■

2022年12月時点　※全国平均：2019年国民健康栄養調査の値を使用

表11-1 男性喫煙者数（名）＊（ ）内は問診回答者数：無回答者除く

男性	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2011年	55(153)	31(109)	7(37)	3(14)	2(9)	**98(322)**
2012年	55(164)	26(96)	9(41)	3(17)	2(15)	**95(333)**
2013年	52(176)	32(118)	12(58)	5(22)	4(19)	**105(393)**
2014年	58(198)	32(117)	13(59)	9(29)	6(28)	**118(431)**
2015年	60(230)	39(161)	25(99)	9(43)	6(39)	**139(572)**
2016年	57(218)	51(190)	25(96)	8(49)	6(42)	**147(595)**
2017年	40(192)	54(182)	22(109)	9(49)	9(50)	**134(582)**
2018年	32(188)	44(190)	25(108)	6(45)	7(53)	**114(584)**
2019年	27(177)	40(195)	23(108)	4(43)	9(65)	**103(588)**
2020年	29(177)	32(181)	23(109)	6(44)	5(59)	**95(570)**
2021年	26(175)	26(174)	25(121)	5(46)	5(59)	**87(575)**
2022年	28(165)	28(180)	28(122)	11(62)	7(59)	**103(588)**

表11-2 女性喫煙者数（名）

女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2011年	44(377)	38(308)	18(136)	5(54)	0(17)	**105(892)**
2012年	35(372)	44(327)	26(154)	4(60)	1(16)	**110(929)**
2013年	34(394)	42(334)	29(176)	6(69)	1(32)	**112(1005)**
2014年	31(425)	37(366)	29(203)	9(81)	1(34)	**107(1109)**
2015年	32(488)	39(413)	54(260)	13(107)	0(33)	**138(1301)**
2016年	28(474)	40(425)	50(270)	12(113)	1(38)	**131(1320)**
2017年	23(452)	30(412)	46(280)	16(124)	2(40)	**117(1308)**
2018年	16(419)	22(404)	39(291)	15(144)	2(34)	**94(1292)**
2019年	14(425)	20(405)	37(288)	15(144)	1(35)	**87(1297)**
2020年	9(400)	21(396)	28(297)	21(155)	2(40)	**81(1289)**
2021年	13(378)	14(372)	25(304)	21(157)	3(46)	**76(1258)**
2022年	9(368)	9(366)	28(322)	17(160)	2(55)	**65(1272)**

表11-3 全体喫煙者数（名）

全体	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2011年	99(530)	69(417)	25(173)	8(68)	2(26)	**203(1214)**
2012年	90(536)	70(423)	35(195)	7(77)	3(31)	**205(1262)**
2013年	86(570)	74(452)	41(234)	11(91)	5(51)	**217(1398)**
2014年	89(623)	69(483)	42(262)	18(110)	7(62)	**225(1540)**
2015年	92(718)	78(574)	79(359)	22(150)	6(72)	**277(1873)**
2016年	85(692)	91(615)	75(366)	20(162)	7(80)	**278(1915)**
2017年	63(644)	84(594)	68(389)	25(173)	11(90)	**251(1890)**
2018年	48(607)	66(594)	64((399)	21(189)	9(87)	**208(1876)**
2019年	41(602)	60(600)	60(396)	19(187)	10(100)	**190(1885)**
2020年	38(577)	53(577)	51(406)	27(199)	7(99)	**176(1859)**
2021年	39(553)	40(546)	50(425)	26(203)	8(105)	**163(1833)**
2022年	38(533)	37(533)	56(444)	28(222)	9(114)	**168(1860)**

表11-4 男性喫煙率（%）＊問診回答者より集計

男性	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2011年	35.9%	28.4%	18.9%	21.4%	22.2%	30.4%
2012年	33.5%	27.1%	22.0%	17.6%	13.3%	28.5%
2013年	29.5%	27.1%	20.7%	22.7%	13.3%	26.7%
2014年	29.3%	27.4%	22.0%	31.0%	21.4%	27.4%
2015年	26.1%	24.2%	25.3%	20.9%	15.4%	24.3%
2016年	26.1%	26.8%	26.0%	16.3%	14.3%	24.7%
2017年	20.8%	29.7%	20.2%	18.4%	18.0%	23.0%
2018年	17.0%	23.2%	23.1%	13.3%	13.2%	19.5%
2019年	15.3%	20.5%	21.3%	9.3%	13.8%	17.5%
2020年	16.4%	17.7%	21.1%	13.6%	8.5%	16.7%
2021年	14.9%	14.9%	20.7%	10.9%	8.5%	15.1%
2022年	**17.0%**	**15.6%**	**23.0%**	**17.7%**	**11.9%**	**17.5%**
※全国平均（2019年）	25.5%	33.2%	36.5%	31.8%	21.8%	27.1%

表11-5 女性喫煙率（%）

女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2011年	11.7%	12.3%	13.2%	9.3%	0.0%	11.8%
2012年	9.4%	13.5%	16.9%	6.7%	6.3%	11.8%
2013年	8.6%	12.6%	16.5%	8.7%	3.1%	11.1%
2014年	7.3%	10.1%	14.3%	11.1%	2.9%	9.6%
2015年	6.6%	9.4%	20.8%	12.1%	0.0%	10.6%
2016年	5.9%	9.4%	18.5%	10.6%	2.6%	9.9%
2017年	5.1%	7.3%	16.4%	12.9%	5.0%	8.9%
2018年	3.8%	5.4%	13.4%	10.4%	5.9%	7.3%
2019年	3.3%	4.9%	12.8%	10.4%	2.9%	6.7%
2020年	2.3%	5.3%	9.4%	13.5%	5.0%	6.3%
2021年	3.4%	3.8%	8.2%	13.4%	6.5%	6.0%
2022年	**2.4%**	**2.5%**	**8.7%**	**10.6%**	**3.6%**	**5.1%**
※全国平均（2019年）	7.6%	7.4%	10.3%	12.9%	5.2%	7.6%

表11-6 全体喫煙率（%）

全体	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2011年	18.7%	16.5%	14.5%	11.8%	7.7%	16.7%
2012年	16.8%	16.5%	17.9%	9.1%	9.7%	16.2%
2013年	15.1%	16.4%	17.5%	12.1%	9.8%	15.5%
2014年	14.0%	13.9%	15.9%	15.5%	9.8%	14.6%
2015年	12.8%	13.2%	21.8%	13.6%	6.9%	14.8%
2016年	12.2%	14.7%	20.7%	12.3%	6.9%	14.5%
2017年	9.8%	14.1%	17.5%	14.5%	12.2%	13.3%
2018年	7.8%	10.8%	16.2%	11.0%	10.1%	11.1%
2019年	6.8%	10.0%	15.2%	10.2%	10.0%	10.1%
2020年	6.6%	9.2%	12.6%	13.6%	7.1%	9.5%
2021年	7.1%	7.3%	11.8%	12.8%	7.6%	8.9%
2022年	**7.1%**	**6.9%**	**12.6%**	**12.6%**	**7.9%**	**9.0%**
※全国平均（2019年）	16.4%	19.2%	22.7%	21.6%	12.9%	16.7%

図12-1喫煙率 全国との比較（男性）

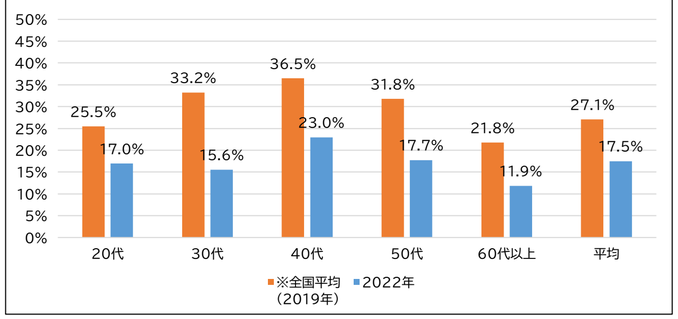


図12-2喫煙率 全国との比較（女性）

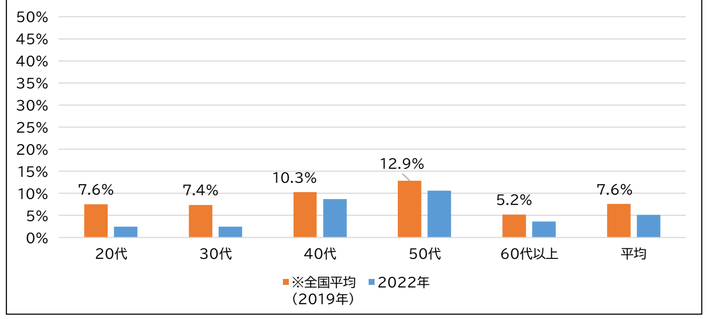


図12-3喫煙率 全国との比較（全体）

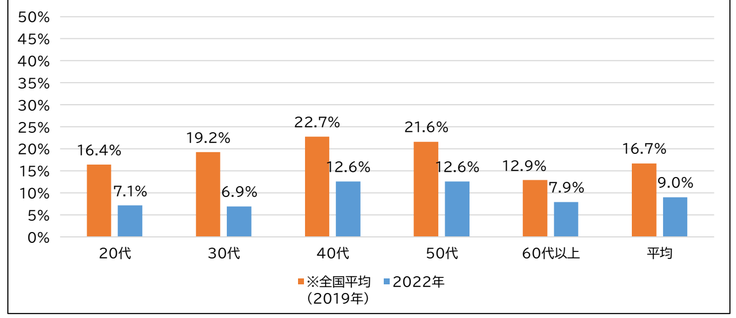


図12-4喫煙率 年代別時系列（男性）

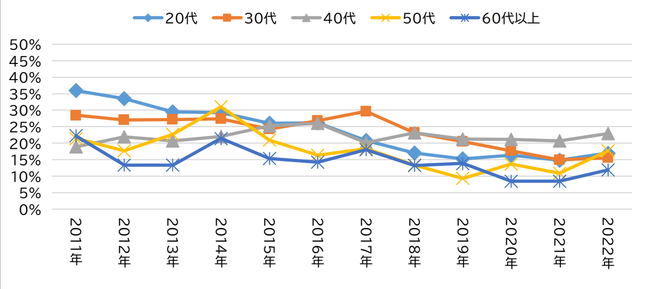


図12-5喫煙率 年代別時系列（女性）

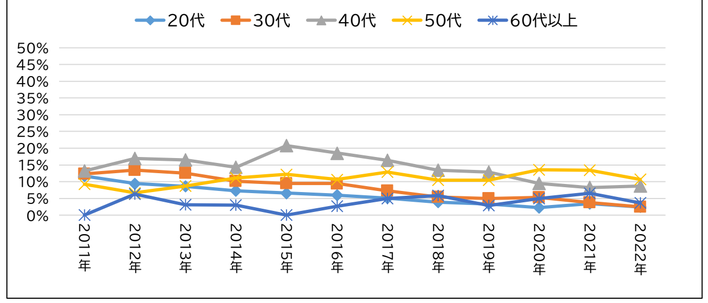
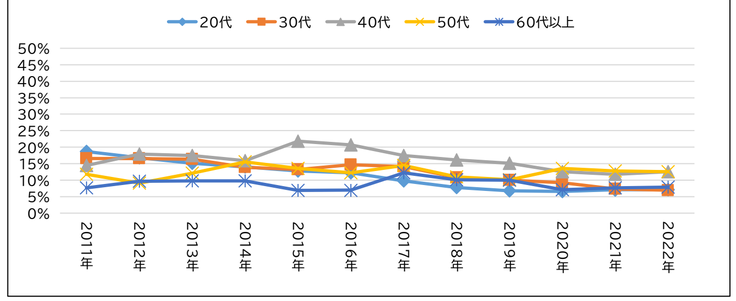


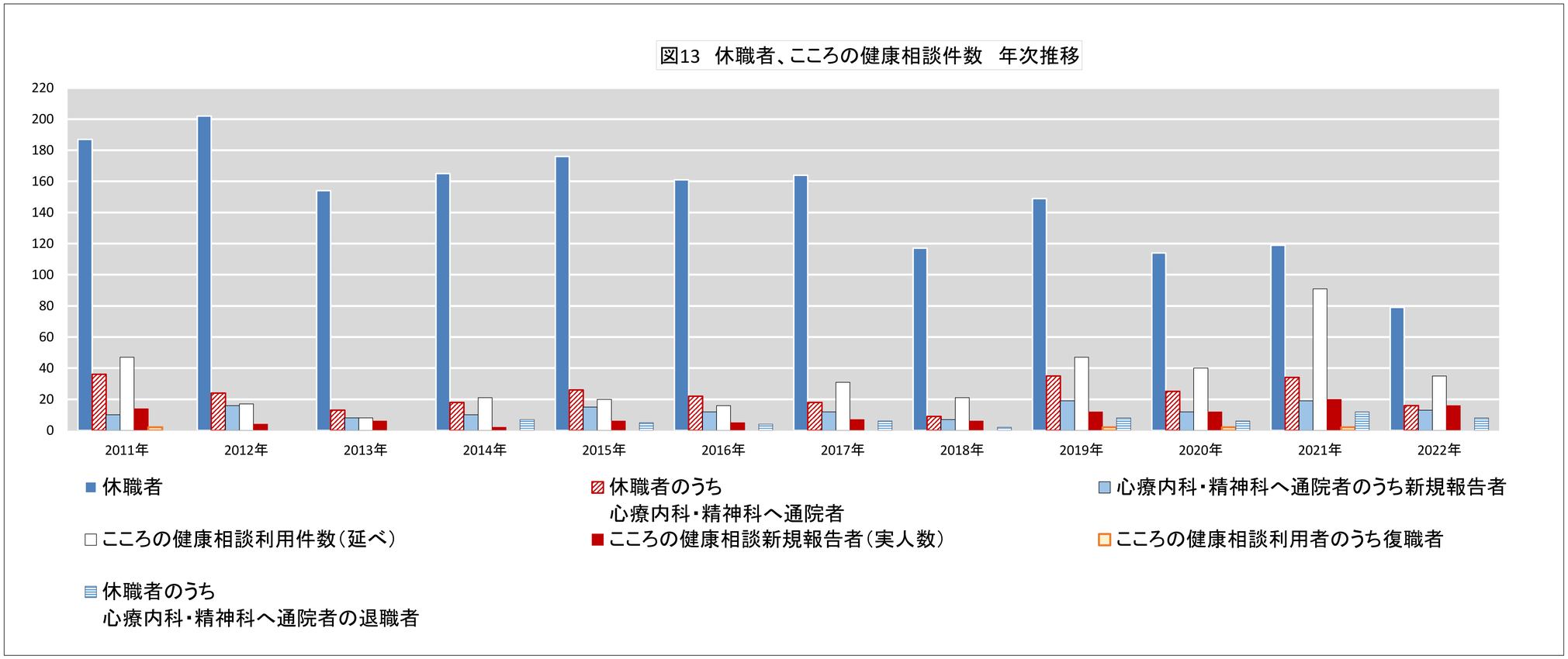
図12-6喫煙率 年代別時系列（全体）



■休職者、こころの健康相談件数　年次推移（2023年3月1日時点）■

表12

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計
休職者	187	202	154	165	176	161	164	117	149	114	119	79	1165
休職者のうち 心療内科・精神科へ通院者	36	24	13	18	26	22	18	9	35	25	34	16	187
心療内科・精神科へ通院者のうち新規報告者	10	16	8	10	15	12	12	7	19	12	19	13	106
こころの健康相談利用件数（延べ）	47	17	8	21	20	16	31	21	47	40	91	35	287
こころの健康相談新規報告者（実人数）	14	4	6	2	6	5	7	6	12	12	20	16	110
こころの健康相談利用者のうち復職者	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	6
休職者のうち 心療内科・精神科へ通院者の退職者				7	5	4	6	2	8	6	12	8	58



＊休職者数に関しては月に出た診断書の合計で1ヶ月に2通以上出た人は重ならないようにしています。
＊休職者のうち心療内科・精神科へ通院者の退職者は2014年度より統計へ追加

■産業医面談・保健指導実施件数■

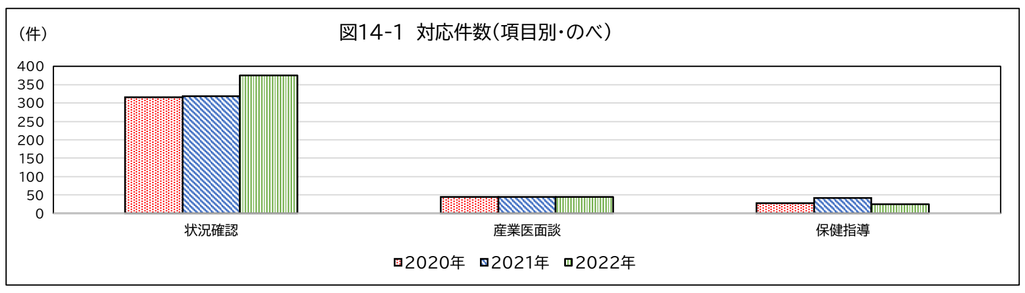


表13-1 対応件数 年次推移

	2020年	2021年	2022年
状況確認	316	318	375
産業医面談	45	45	44
保健指導	28	42	24

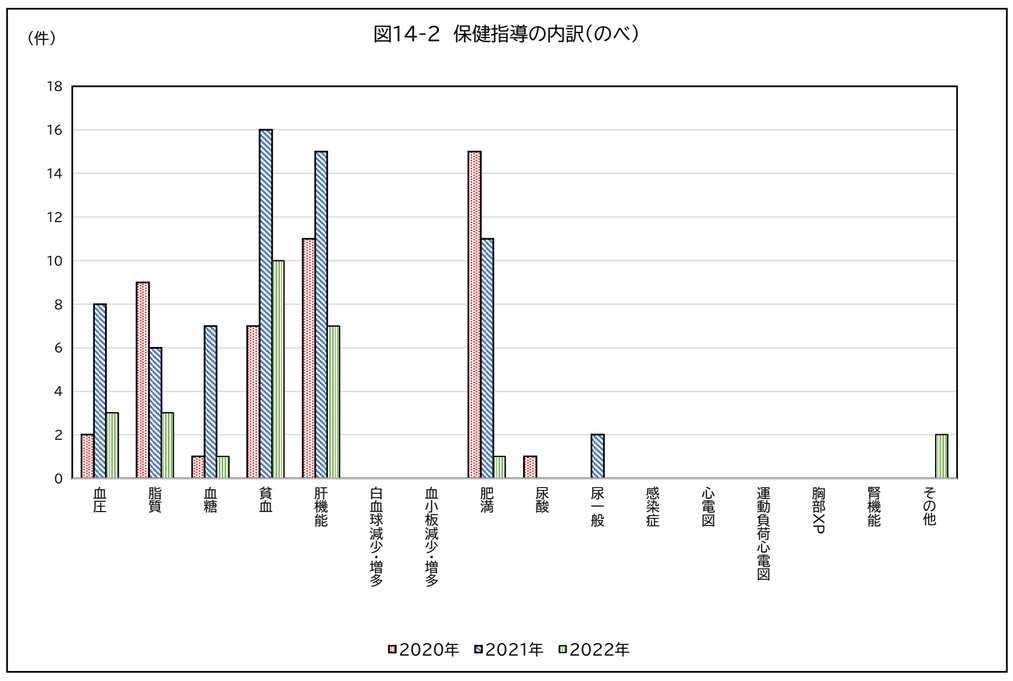


表13-2 保健指導の内訳

	2020年	2021年	2022年
血圧	2	8	3
脂質	9	6	3
血糖	1	7	1
貧血	7	16	10
肝機能	11	15	7
白血球減少・増多	0	0	0
血小板減少・増多	0	0	0
肥満	15	11	1
尿酸	1	0	0
尿一般	0	2	0
感染症	0	0	0
心電図	0	0	0
運動負荷心電図	0	0	0
胸部XP	0	0	0
腎機能	0	0	0
その他	0	0	2
計	46	65	27

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

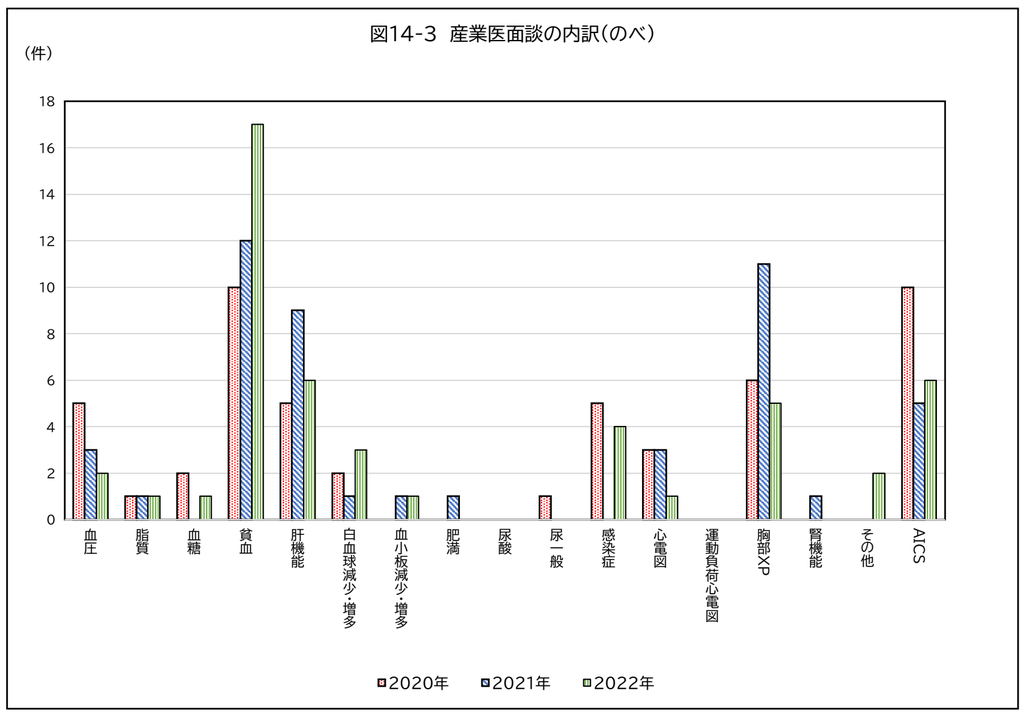


表13-3 面談項目の内訳

	2020年	2021年	2022年
血圧	5	3	2
脂質	1	1	1
血糖	2	0	1
貧血	10	12	17
肝機能	5	9	6
白血球減少・増多	2	1	3
血小板減少・増多	0	1	1
肥満	0	1	0
尿酸	0	0	0
尿一般	1	0	0
感染症	5	0	4
心電図	3	3	1
運動負荷心電図	0	0	0
胸部XP	6	11	5
腎機能	0	1	0
その他	0	0	2
AICS	10	5	6
計	50	48	49

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

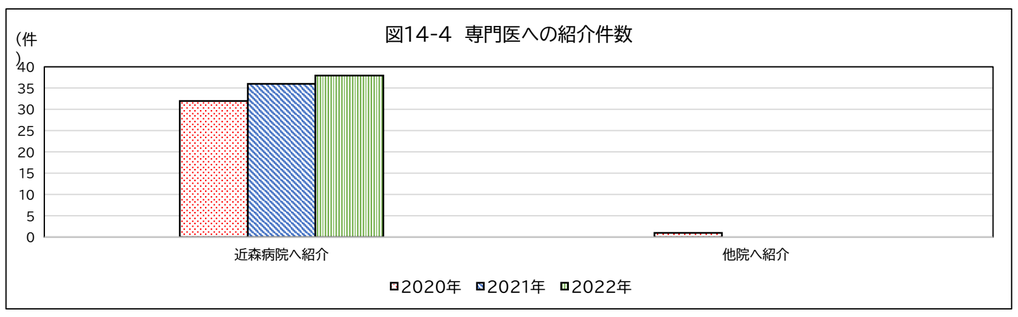


表-13-4 専門医への紹介件数 年次推移

	2020年	2021年	2022年
近森病院へ紹介	32	36	38
他院へ紹介	1	0	0
計	33	36	38

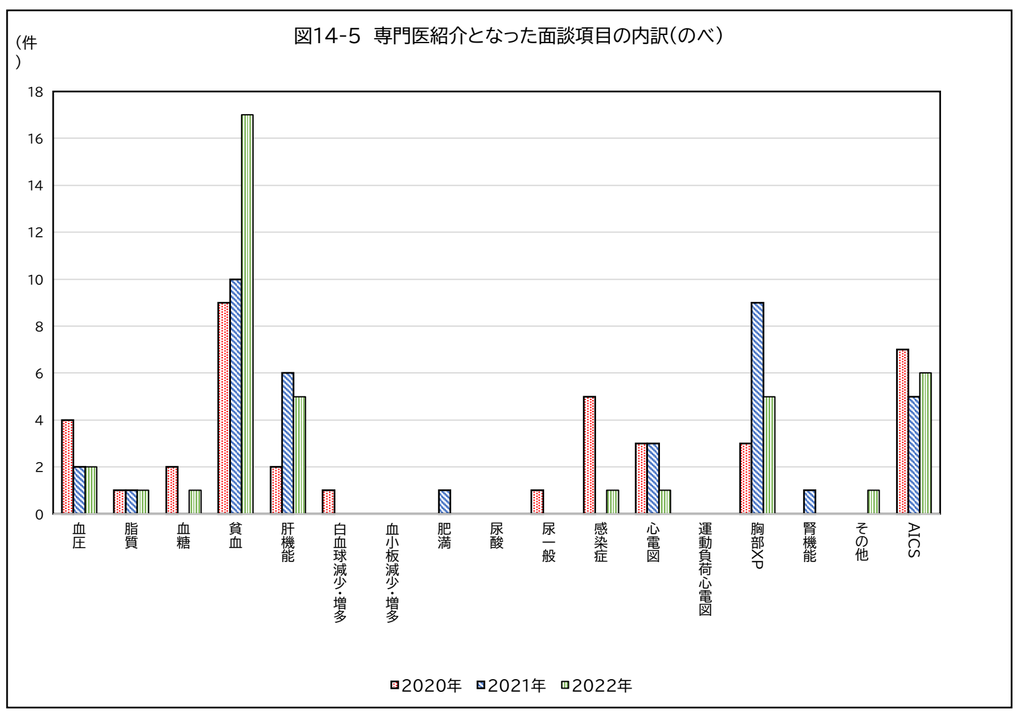


表13-5 専門医へ紹介となった面談項目の内訳

	2020年	2021年	2022年
血圧	4	2	2
脂質	1	1	1
血糖	2	0	1
貧血	9	10	17
肝機能	2	6	5
白血球減少・増多	1	0	0
血小板減少・増多	0	0	0
肥満	0	1	0
尿酸	0	0	0
尿一般	1	0	0
感染症	5	0	1
心電図	3	3	1
運動負荷心電図	0	0	0
胸部XP	3	9	5
腎機能	0	1	0
その他	0	0	1
AICS	7	5	6
計	38	38	40

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

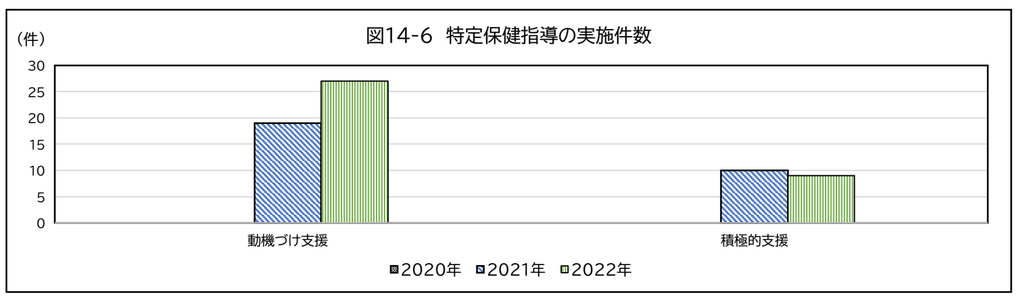


表13-6 特定保健指導実施件数

	2020年	2021年	2022年
動機づけ支援	0	19	27
積極的支援	0	10	9
計	0	29	36

※2023.3.1時点:実施中(最終評価未)含む
※2020年はコロナウイルス感染対策のため特定保健指導は休止とした

ストレスチェック受検率　年次推移（全体・施設別）

表14-1　近森会G（全体）

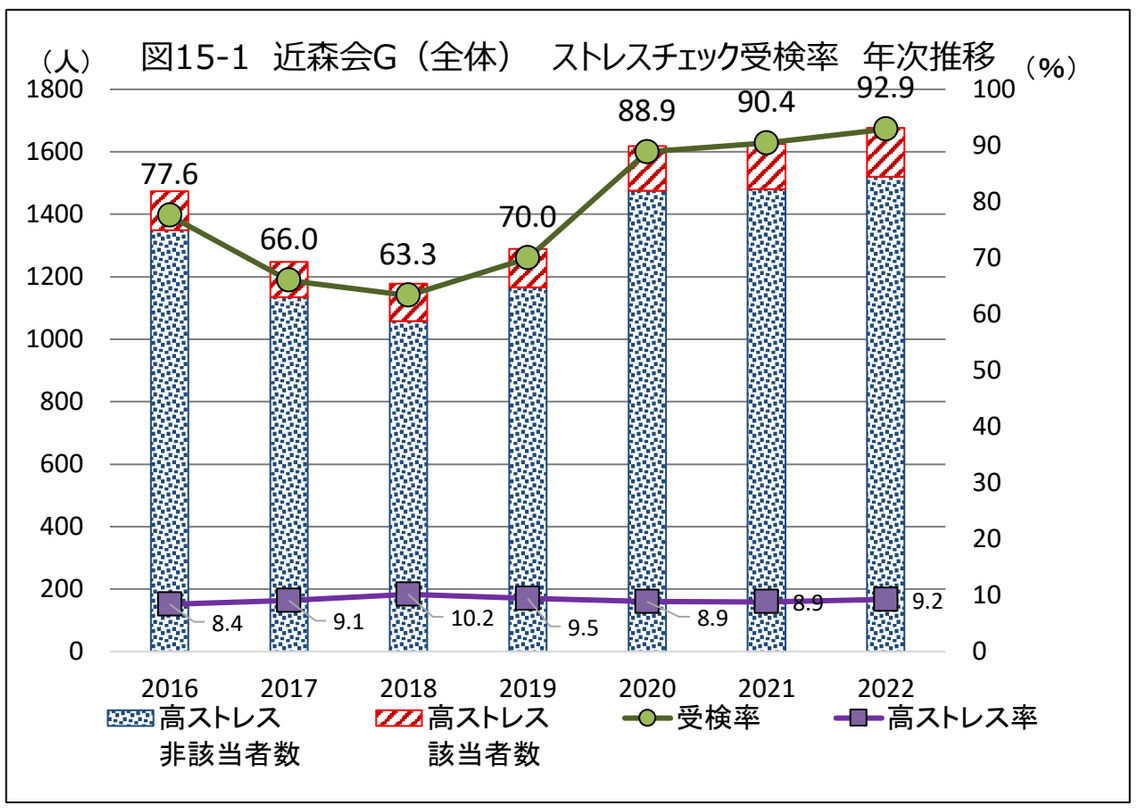
*労基への報告数

	対象者数*	受検者数*	高ストレス非該当者数	高ストレス該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち面談申出	受検者のうち医師面接の実施者数*
2016	1899	1473	1349	124	77.6	8.4	2（0.1%）	1（0.1%）
2017	1890	1248	1135	113	66.0	9.1	5（0.4%）	1（0.1%）
2018	1860	1178	1058	120	63.3	10.2	3（0.3%）	1（0.1%）
2019	1842	1289	1167	122	70.0	9.5	3（0.2%）	2（0.2%）
2020	1822	1619	1475	144	88.9	8.9	4（0.2%）	1（0.1%）
2021	1797	1625	1481	144	90.4	8.9	5（0.3%）	5（0.3%）
2022	1804	1676	1521	155	92.9	9.2	6（0.4%）	4（0.2%）

表14-2　近森会（本院、リハ病院）

*労基への報告数

	対象者数*	受検者数*	高ストレス非該当者数	高ストレス該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち面談申出	受検者のうち医師面接の実施者数*
2016	1672	1318	1204	114	78.8	8.6	1（0.1%）	1（0.1%）
2017	1654	1072	970	102	64.8	9.5	4（0.4%）	0
2018	1643	1038	934	104	63.2	10.0	1（0.1%）	1（0.1%）
2019	1609	1114	1004	110	69.2	9.9	3（0.3%）	2（0.2%）
2020	1600	1433	1300	133	89.6	9.3	4（0.3%）	1（0.1%）
2021	1585	1422	1292	130	89.7	9.1	5（0.4%）	5（0.4%）
2022	1604	1483	1340	143	92.5	9.6	6（0.4%）	4（0.3%）



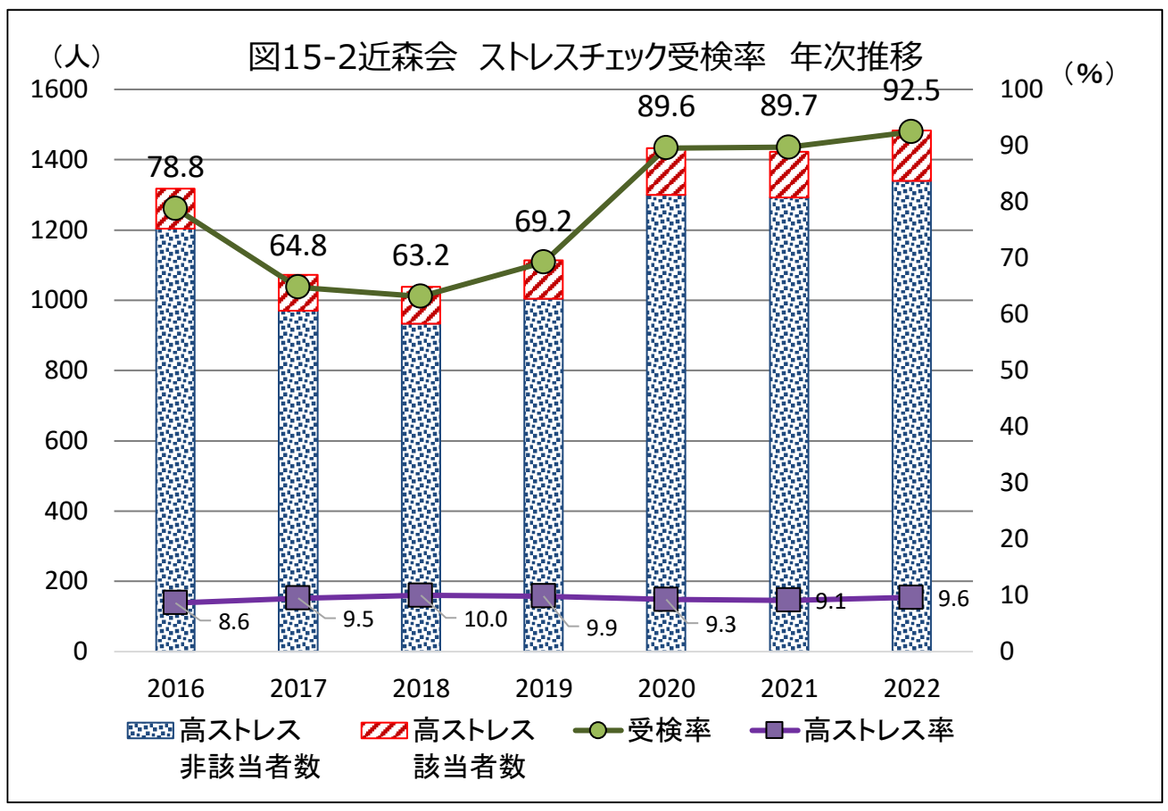


表14-3　松田会

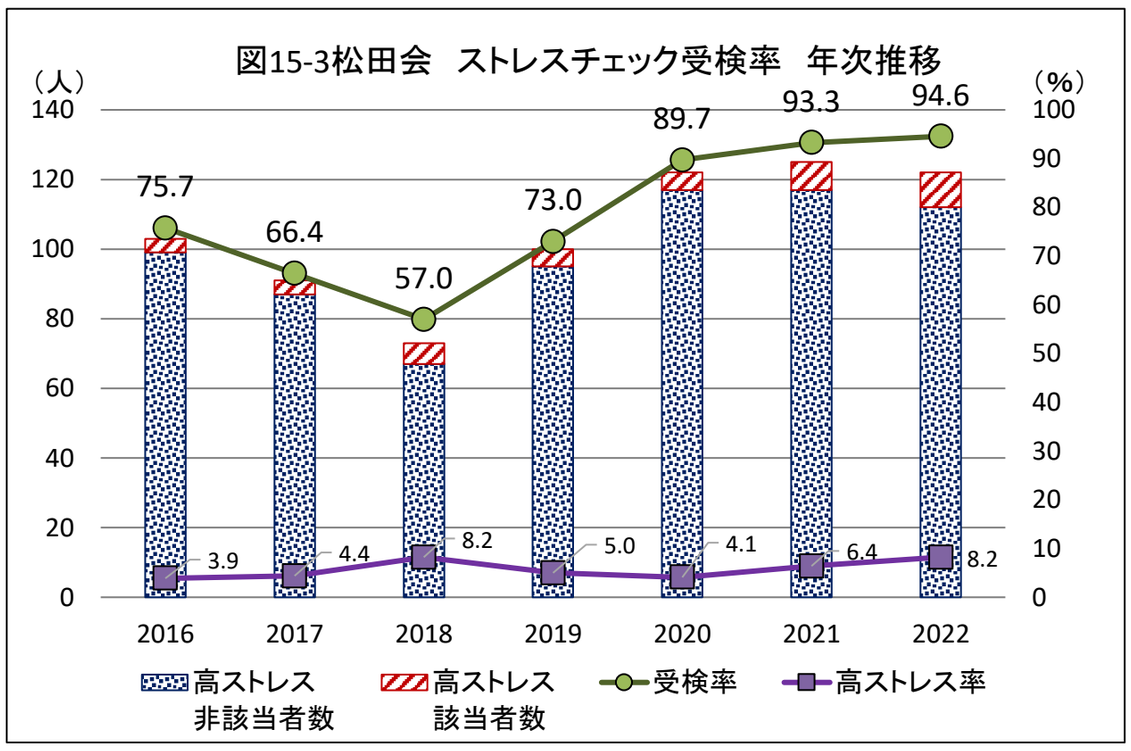
*労基への報告数

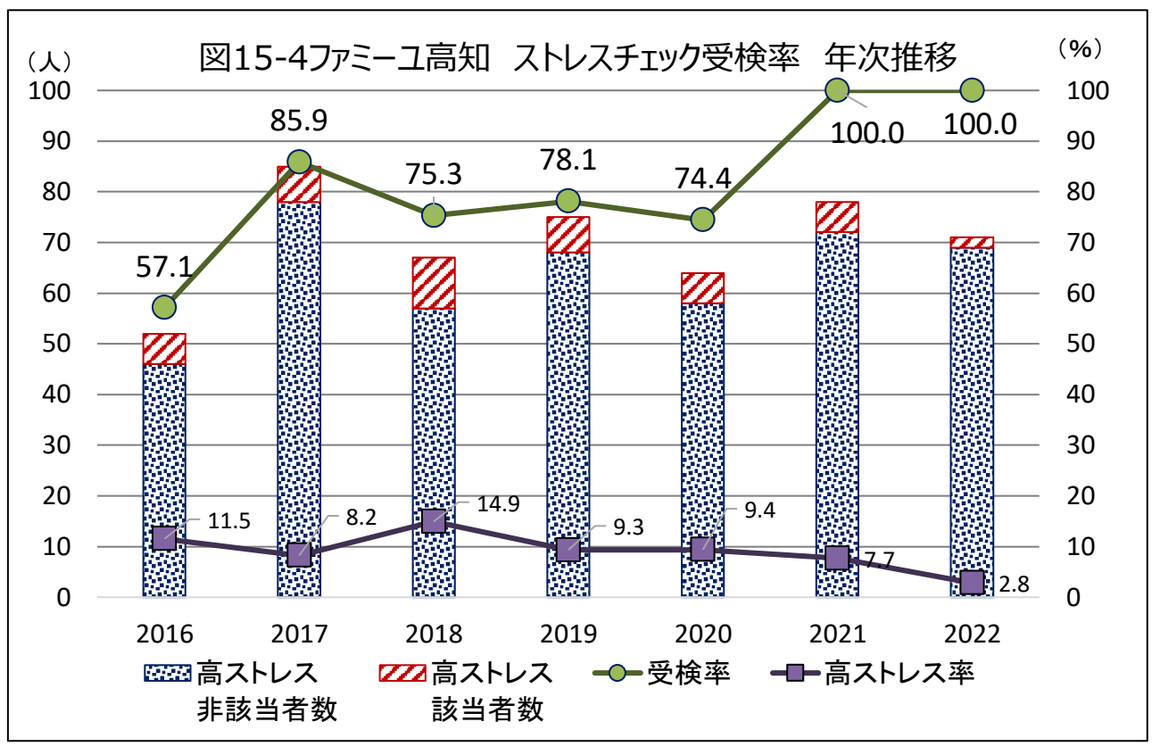
	対象者数*	受検者数*	高ストレス非該当者数	高ストレス該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち面談申出	受検者のうち医師面接の実施者数*
2016	136	103	99	4	75.7	3.9	0	0
2017	137	91	87	4	66.4	4.4	1（1.1%）	1（1.1%）
2018	128	73	67	6	57.0	8.2	1（1.4%）	0
2019	137	100	95	5	73.0	5.0	0	0
2020	136	122	117	5	89.7	4.1	0	0
2021	134	125	117	8	93.3	6.4	0	0
2022	129	122	112	10	94.6	8.2	0	0

表14-4　ファミーユ高知

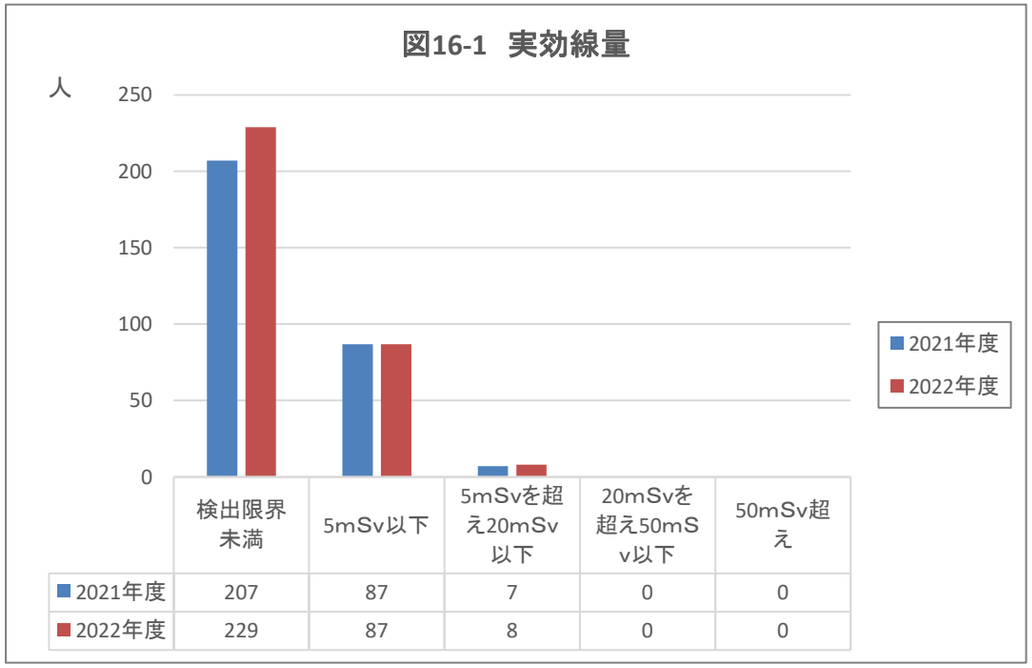
*労基への報告数

	対象者数*	受検者数*	高ストレス非該当者数	高ストレス該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち面談申出	受検者のうち医師面接の実施者数*
2016	91	52	46	6	57.1	11.5	1（1.9%）	0
2017	99	85	78	7	85.9	8.2	0	0
2018	89	67	57	10	75.3	14.9	1（1.5%）	0
2019	96	75	68	7	78.1	9.3	0	0
2020	86	64	58	6	74.4	9.4	0	0
2021	78	78	72	6	100.0	7.7	0	0
2022	71	71	69	2	100.0	2.8	0	0

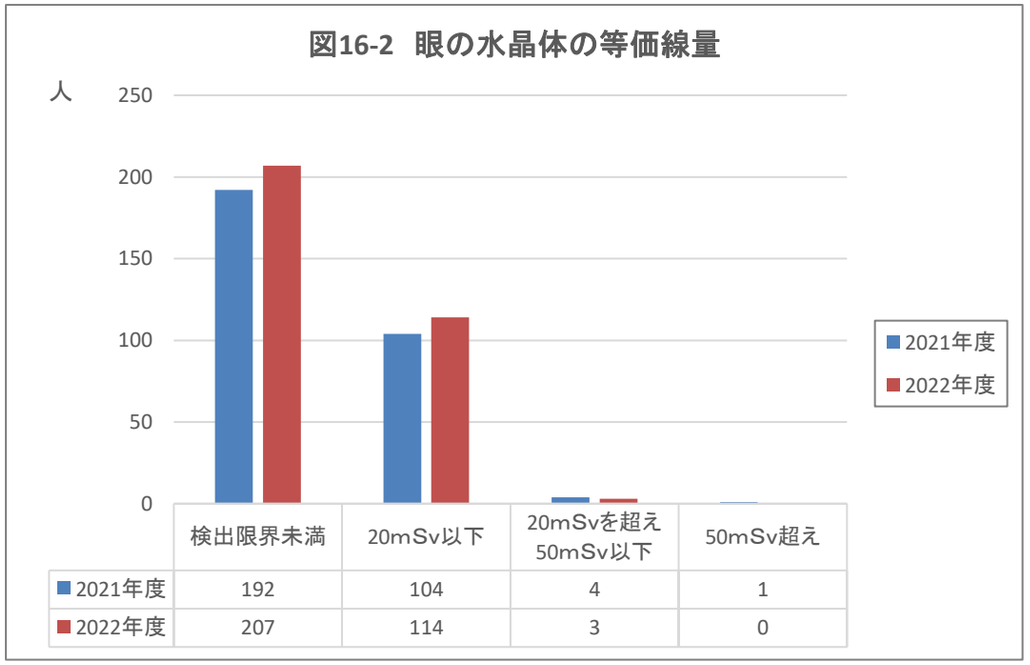




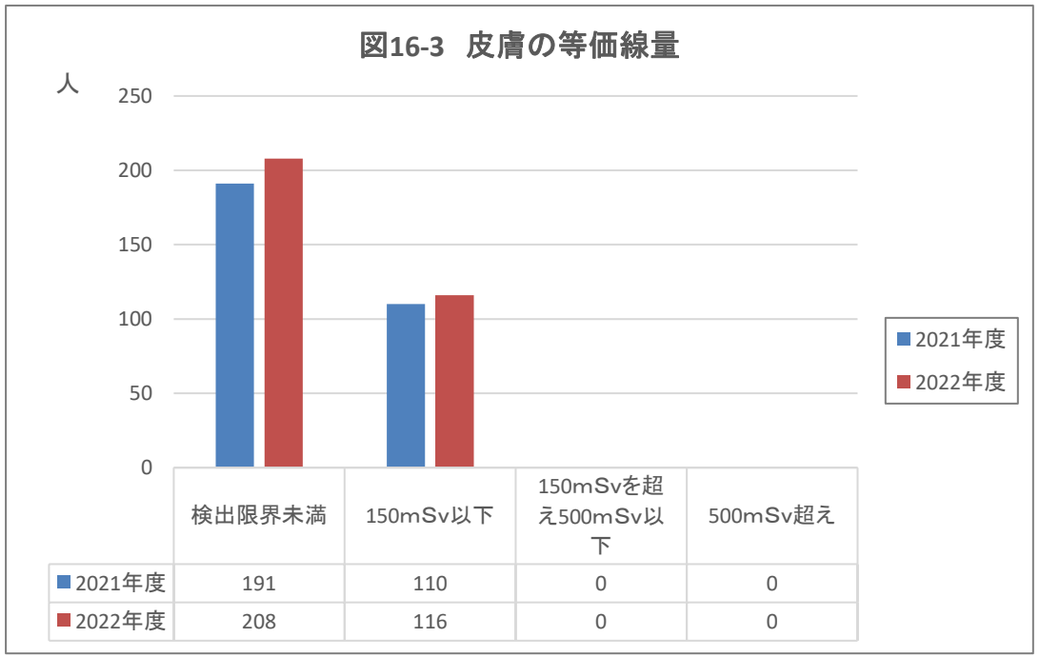
■電離放射線健康診断結果年次推移（線量による区分）*近森会のみ



	検出限界未満	5mSv以下	5mSvを超え20mSv以下	20mSvを超え50mSv以下	50mSv超え
2021年度	207	87	7	0	0
2022年度	229	87	8	0	0



	検出限界未満	20mSv以下	20mSvを超え50mSv以下	50mSv超え
2021年度	192	104	4	1
2022年度	207	114	3	0



	検出限界未満	150mSv以下	150mSvを超え500mSv以下	500mSv超え
2021年度	191	110	0	0
2022年度	208	116	0	0

＊線量による区分は、今回の健康診断を行った日の属する年の前年一年間に受けた線量

放射線業務従事者の被ばく限度

実効線量限度
・100mSv/5年→平均20mSv/年
・50mSv/年
・5mSv/3月（女子）
・1mSv（妊娠中女子の内部被ばく）

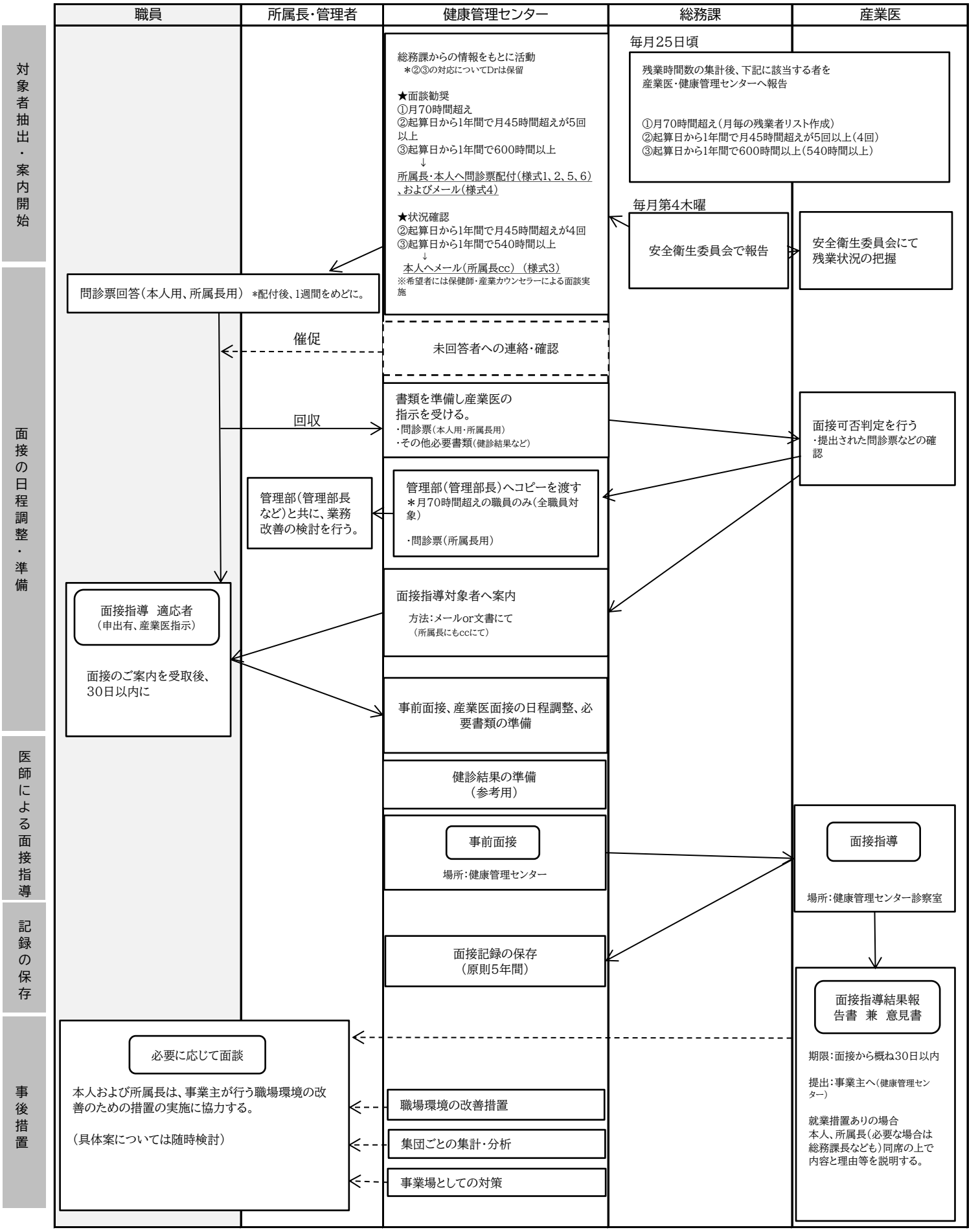
等価線量限度
・眼の水晶体　50mSv/年、100mSv/5年→平均20mSv/年　***2021.4.1～改正**
・皮膚　500mSv/年
・妊娠中の女子　2mSv（腹部表面）

★5年間とは・・法改正に伴い、2001年4月1日前後で5年毎に区切られている。

■過重労働対策　対応マニュアル■

作成日：2019.4.16
更新　：2023.3.1

図17



■2022年度 労災発生状況

＊2022.3.17現在

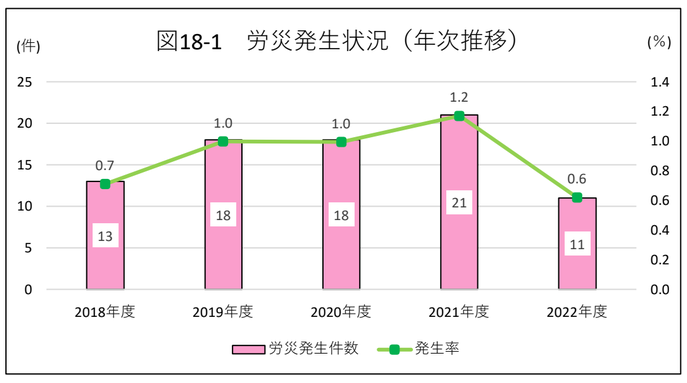
◎労災発生件数と介入件数

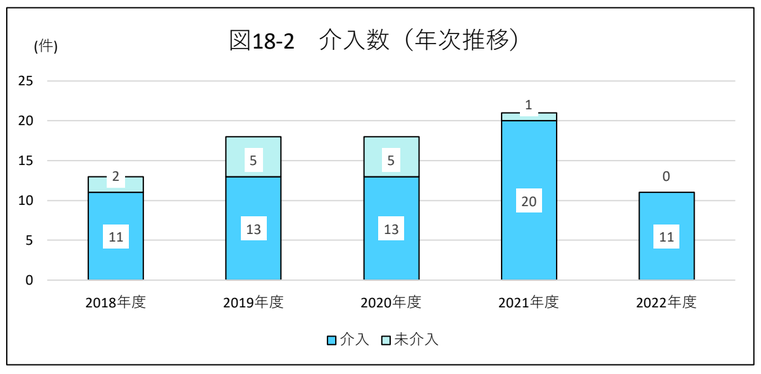
表15-1　　近森会G（ファミーユ除く）労災発生割合

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
職員数	1831	1804	1812	1794	1779
労災発生件数	13	18	18	21	11
発生率	0.7	1.0	1.0	1.2	0.6

表15-2　介入件数

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
介入	11	13	13	20	11
未介入	2	5	5	1	0
合計	13	18	18	21	11





◎各項目別労災発生件数

表15-3【年代別】

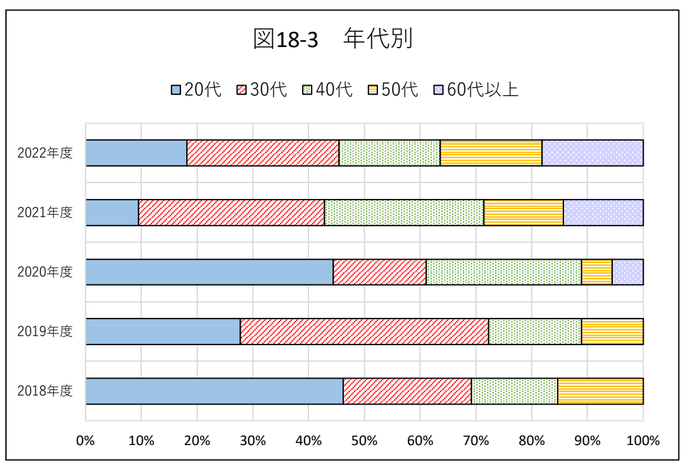
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
20代	6	5	8	2	2
30代	3	8	3	7	3
40代	2	3	5	6	2
50代	2	2	1	3	2
60代以上	0	0	1	3	2
合計	13	18	18	21	11

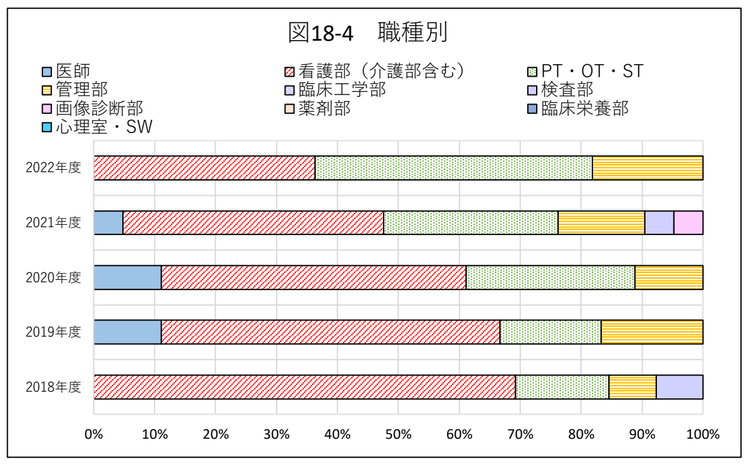
表15-4【職種別】

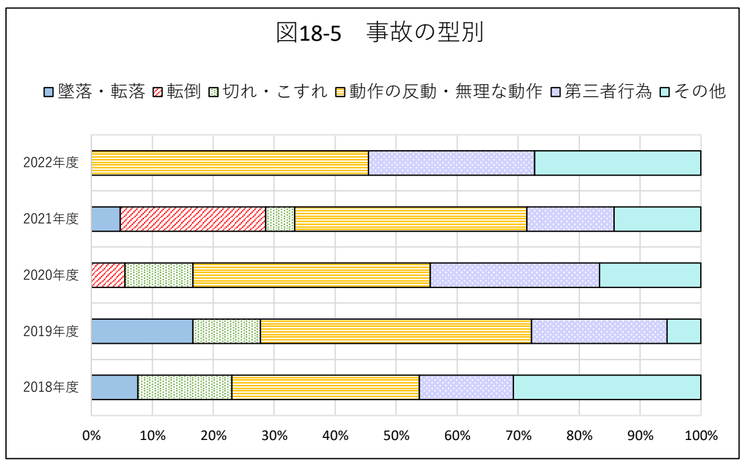
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
医師	0	2	2	1	0
看護部（介護部含む）	9	10	9	9	4
PT・OT・ST	2	3	5	6	5
管理部	1	3	2	3	2
臨床工学部	0	0	0	0	0
検査部	1	0	0	1	0
画像診断部	0	0	0	1	0
薬剤部	0	0	0	0	0
臨床栄養部	0	0	0	0	0
心理室・SW	0	0	0	0	0
合計	13	18	18	21	11

表15-5【事故の型別】

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
墜落・転落	1	3	0	1	0
転倒	0	0	1	5	0
切れ・こすれ	2	2	2	1	0
動作の反動・無理な動作	4	8	7	8	5
第三者行為	2	4	5	3	3
その他	4	1	3	3	3
合計	13	18	18	21	11



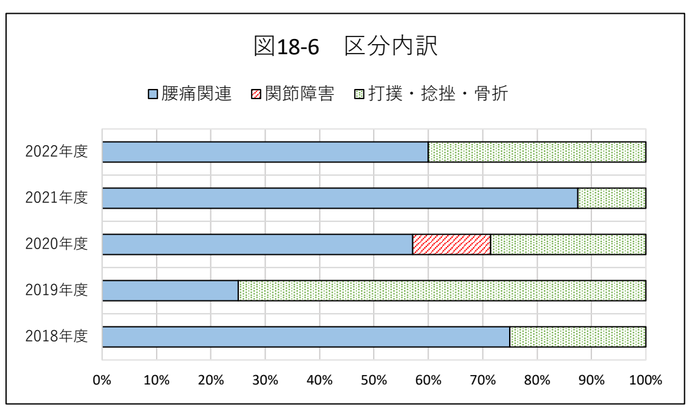
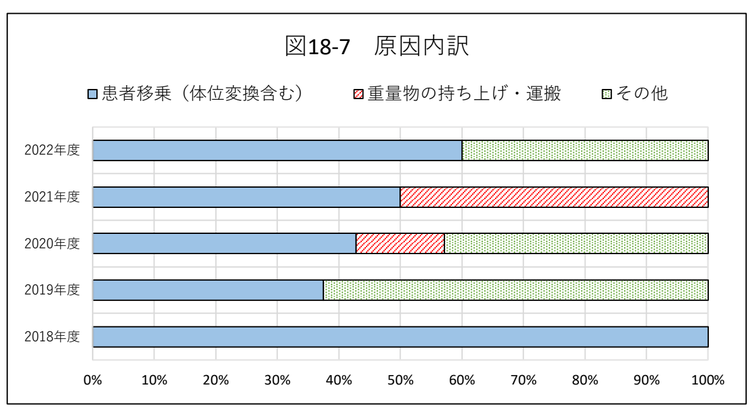




◎動作の反動・無理な動作の内訳

表15-6　区分内訳

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
腰痛関連	3	2	4	7	3
関節障害	0	0	1	0	0
打撲・捻挫・骨折	1	6	2	1	2
合計	4	8	7	8	5

表15-7　原因内訳

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
患者移乗（体位変換含む）	4	3	3	4	3
重量物の持ち上げ・運搬	0	0	1	4	0
その他	0	5	3	0	2
合計	4	8	7	8	5